

横手市まちづくりアンケート

2018

第2次横手市総合計画の進行管理と行政評価制度の導入による新たな行財政マネジメントサイクルの一環として、各施策の成果や達成の度合い、また、市民からみた各施策の重要度・満足度を把握することを目的としたアンケートです。

結果報告書

平成 30 年 10 月

内容

I 調査の概要	3
1 調査の概要	3
2 回答者の属性	4
3 その他	6
II アンケートの結果	7
1 災害時の避難について	7
2 男女共同参画について	15
3 公共施設やまちなぎわいについて	17
4 地産地消に関する意識について	24
5 農業の振興について	32
6 移動・公共交通について	37
7 各分野への「重要度」「満足度」	56
8 自由記載欄で寄せられたご意見等	70
(1-1 子育て支援の充実).....	70
(1-2 健康な心と体づくりの推進).....	72
(1-3 健康でいきいきとした高齢社会の推進).....	73
(1-4 障がい者(児)福祉の充実).....	74
(1-5 低所得者福祉の充実).....	75
(1-6 福祉を支える人材の確保と育成).....	75
(2-1 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実).....	76
(2-2 安全で安心して学べる教育環境の整備).....	76
(2-3 元気なまちを築く生涯スポーツの促進).....	77
(2-4 活力ある地域と心豊かな人を創る生涯学習の推進).....	78
(2-5 よこての伝統文化の継承と再発見).....	79
(3-1 安心して暮らすことのできるまちづくりの推進).....	80
(3-2 美しい自然環境と快適な生活環境の保全).....	81
(3-3 災害に強いまちづくりの推進).....	82
(3-4 循環型社会の一層の推進).....	83
(4-1 魅力ある農林業の振興).....	83
(4-2 活気ある商業の振興).....	84
(4-4 観光・物産資源の発掘と発信).....	84
(4-5 企業誘致の推進、企業留置と雇用対策).....	86
(5-1 雪国の快適な暮らしの実現).....	87
(5-2 快適な移動空間の実現).....	89
(5-3 市民が利用しやすい公共交通の充実).....	91
(5-4 地域拠点整備による市街地の活性化).....	92
(5-5 安全で安心した水道水の供給と生活排水の適正処理).....	94

(5-6 市民がくつろげる公共空間の整備)	94
(6-1 市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実)	95
(6-2 男女が尊重し合う社会づくり)	95
(6-3 情報を共有する環境の整備)	95
(7-1 市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進)	97
(7-2 財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進)	98
(7-3 戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実)	98
(横手市の取り組み全般について)	101
(アンケートについて)	109
(その他)	111
III 巻末資料	116
1 アンケート調査票	116

I 調査の概要

1 調査の概要

■ 調査の目的

第2次横手市総合計画の進行管理と行政評価制度の導入による新たな行財政マネジメントサイクルの一環として、総合計画に位置付けられている各施策の成果や達成の度合い、また、市民からみた各施策の重要度・満足度の把握を行うことを目的とします。

■ 調査の設計

- ・調査対象：横手市在住の満18才以上の市民（平成30年5月31日現在）
- ・抽出方法：住民基本台帳による無作為抽出（地域・男女・年代の層別サンプリング）
- ・標本数：3,000人（想定回収率36.5%）
- ・調査方法：郵送による無記名回答調査
- ・調査時期：平成30年6月15日から7月1日まで
（ただし、7月6日到着分までを集計対象としています）

■ 回収の状況

- ・発送数：3,000通
- ・回収数：1,160通
- ・回収率：38.7%

2 回答者の属性

ア. 性別

	発送数	回答者数	(回答率)	回答者比率
男 性	1,500人	504人	(33.6%)	43.4%
女 性	1,500人	633人	(42.2%)	54.6%
無回答		23人	(-)	2.0%
合 計	3,000人	1,160人	(38.7%)	100.0%

イ. 年齢

	発送数	回答者数	(回答率)	回答者比率
10歳代	91人	13人	(14.3%)	1.1%
20歳代	279人	63人	(22.6%)	5.4%
30歳代	450人	130人	(28.9%)	11.2%
40歳代	519人	176人	(33.9%)	15.2%
50歳代	570人	241人	(42.3%)	20.8%
60歳代	790人	357人	(45.2%)	30.8%
70歳代以上	301人	163人	(54.2%)	14.1%
無回答		17人	(-)	1.5%
合 計	3,000人	1,160人	(38.7%)	100.0%

ウ. 現在お住まいの地域

	発送数	回答者数	(回答率)	回答者比率
横手	1,196人	466人	(39.0%)	40.2%
増田	228人	88人	(38.6%)	7.6%
平鹿	399人	143人	(35.8%)	12.3%
雄物川	299人	112人	(37.5%)	9.7%
大森	196人	72人	(36.7%)	6.2%
十文字	415人	162人	(39.0%)	14.0%
山内	107人	47人	(43.9%)	4.1%
大雄	160人	52人	(32.5%)	4.5%
無回答		18人	(-)	1.6%
合 計	3,000人	1,160人	(38.7%)	100.0%

エ. 職業

	回答数	回答比率
1. 農林業	96	8.3%
2. 自営業（商工業、サービス業など）	68	5.9%
3. 会社員（常勤）	280	24.1%
4. 会社員（パート、アルバイトなど）	182	15.7%
5. 専業主婦（夫）	121	10.4%
6. 公務員、団体職員	113	9.7%
7. 学生	18	1.6%
8. 無職	227	19.6%
9. その他	32	2.8%
無回答	23	2.0%
合 計	1,160	100.0%

オ. 家族構成

	回答数	回答比率
1. 一人暮らし	157	13.5%
2. 夫婦のみ	261	22.5%
3. 二世帯同居（親と同居）	267	23.0%
4. 二世帯同居（子と同居）	256	22.1%
5. 三世帯同居	163	14.1%
6. その他	32	2.8%
無回答	24	2.1%
合 計	1,160	100.0%

カ. 同居家族内における高校生以下の子どもの有無

	回答数	回答比率
1. いる	283	24.4%
2. いない	813	70.1%
無回答	64	5.5%
合 計	1,160	100.0%

キ. 同居家族（自身を含む）における 65 歳以上の方の有無

	回答数	回答比率
1. いる	636	54.8%
2. いない	458	39.5%
無回答	66	5.7%
合 計	1,160	100.0%

3 その他

ク. 市の情報を知る手段（主なもの3つまで選択）

	回答者数	回答率
1. 市報よこて	1,049人	90.4%
2. 市のホームページ	183人	15.8%
3. 市議会議員や市職員など市政運営に関わりのある人	108人	9.3%
4. 市発行のチラシや回覧	592人	51.0%
5. 横手かまくらFM（ラジオ）	147人	12.7%
6. 市のフェイスブック	37人	3.2%
無回答	8人	0.7%
回答実人数	1,160人	

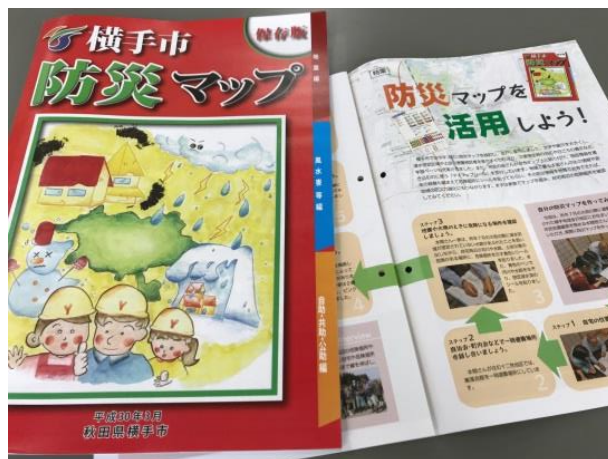
※複数回答のため回答率の合計は 100%を超えます。

II アンケートの結果

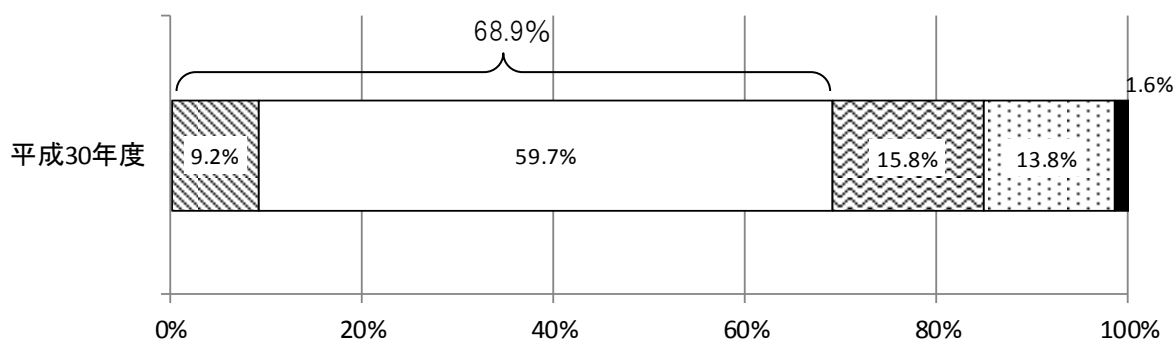
1 災害時の避難について

問1 横手市では今年3月に「防災マップ」を改訂しました。市報とあわせて全世帯に配布しましたが、その活用状況についておたずねします。(〇は1つ)

- 全体の68.9%が「詳しく見た」または「簡単に目を通した」と回答。
- 「詳しく見た」は9.2%に留まる。
- 全体の13.8%が配布されていることを知らないと回答。



(回答数=1,160)



- ▣ 1. 詳しく見た
- ▣ 2. 簡単に目を通した
- ▣ 3. 手元にはあるが、まだ見ていない
- ▣ 4. 配布されていることを知らない
- 0. 無回答

【表の読み方】
 男性の10.9%（男性504人中55人）が
 「1.詳しく見た」と回答

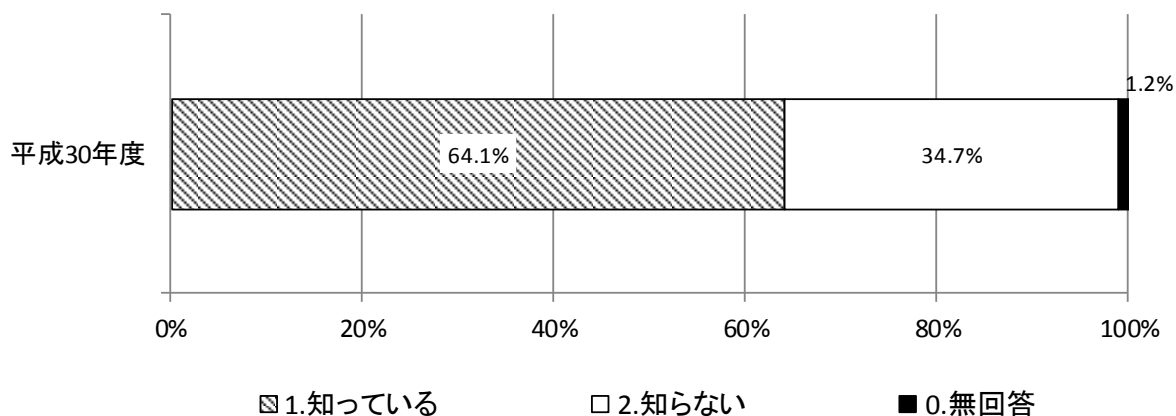
(単位:「人」「%」)

問1		1.詳しく見た		2.簡単に目を通した		3.手元にはあるが、まだ見えていない		4.配布されていることを知らない		無回答		総計
性別	男性	55	10.9	280	55.6	82	16.3	84	16.7	3	0.6	504
	女性	51	8.1	404	63.8	100	15.8	75	11.8	3	0.5	633
	無回答	1	4.3	8	34.8	1	4.3	1	4.3	12	52.2	23
	総計	107	9.2	692	59.7	183	15.8	160	13.8	18	1.6	1,160
年齢	10歳代		0.0	3	23.1	4	30.8	6	46.2		0.0	13
	20歳代	2	3.2	24	38.1	14	22.2	22	34.9	1	1.6	63
	30歳代	6	4.6	57	43.8	33	25.4	34	26.2		0.0	130
	40歳代	8	4.5	101	57.4	33	18.8	33	18.8	1	0.6	176
	50歳代	15	6.2	155	64.3	39	16.2	31	12.9	1	0.4	241
	60歳代	43	12.0	243	68.1	48	13.4	21	5.9	2	0.6	357
	70歳代以上	31	19.0	106	65.0	12	7.4	12	7.4	2	1.2	163
	無回答	2	11.8	3	17.6		0.0	1	5.9	11	64.7	17
総計	107	9.2	692	59.7	183	15.8	160	13.8	18	1.6	1,160	
地域	横手	49	10.5	269	57.7	80	17.2	67	14.4	1	0.2	466
	増田	8	9.1	51	58.0	16	18.2	12	13.6	1	1.1	88
	平鹿	7	4.9	91	63.6	19	13.3	25	17.5	1	0.7	143
	雄物川	11	9.8	76	67.9	11	9.8	14	12.5		0.0	112
	大森	10	13.9	42	58.3	8	11.1	11	15.3	1	1.4	72
	十文字	13	8.0	97	59.9	29	17.9	22	13.6	1	0.6	162
	山内	6	12.8	29	61.7	9	19.1	2	4.3	1	2.1	47
	大雄	3	5.8	32	61.5	9	17.3	7	13.5	1	1.9	52
	無回答		0.0	5	27.8	2	11.1		0.0	11	61.1	18
	総計	107	9.2	692	59.7	183	15.8	160	13.8	18	1.6	1,160

問2 災害時にどこに避難すれば良いか知っていますか。(〇は1つ)

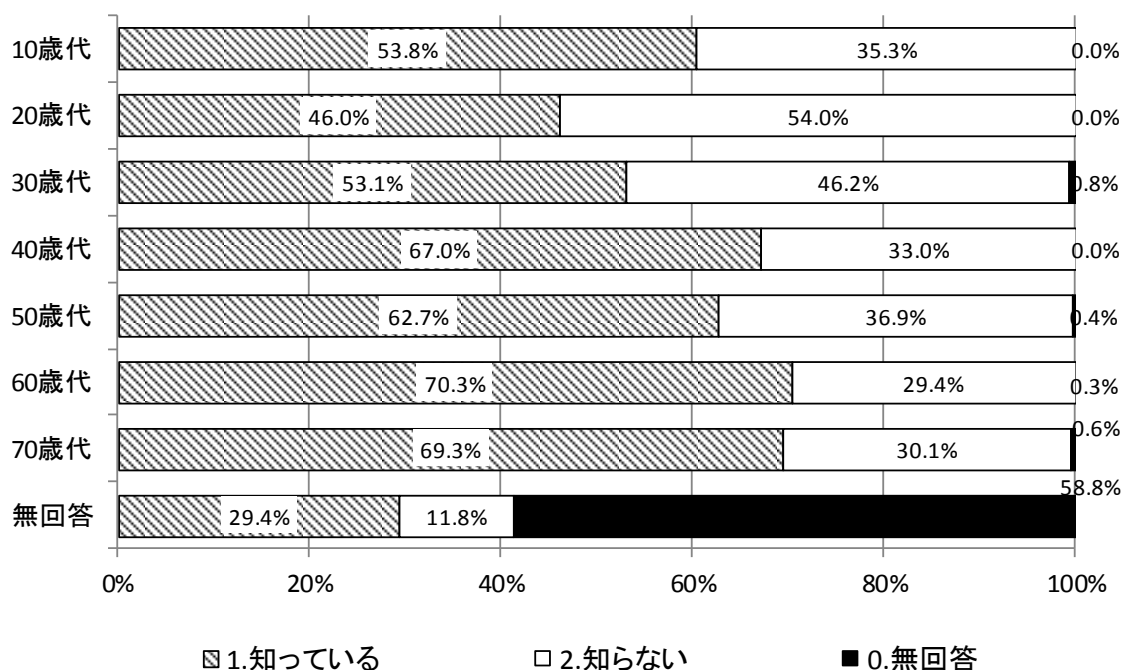
- 全体の64.1%が「知っている」と回答しているが、年代別では20歳代と30歳代の割合が相対的に低い。
- 地域別では最も低い平鹿地域と最も高い山内地域の差は30%以上。

(回答数=1,160)



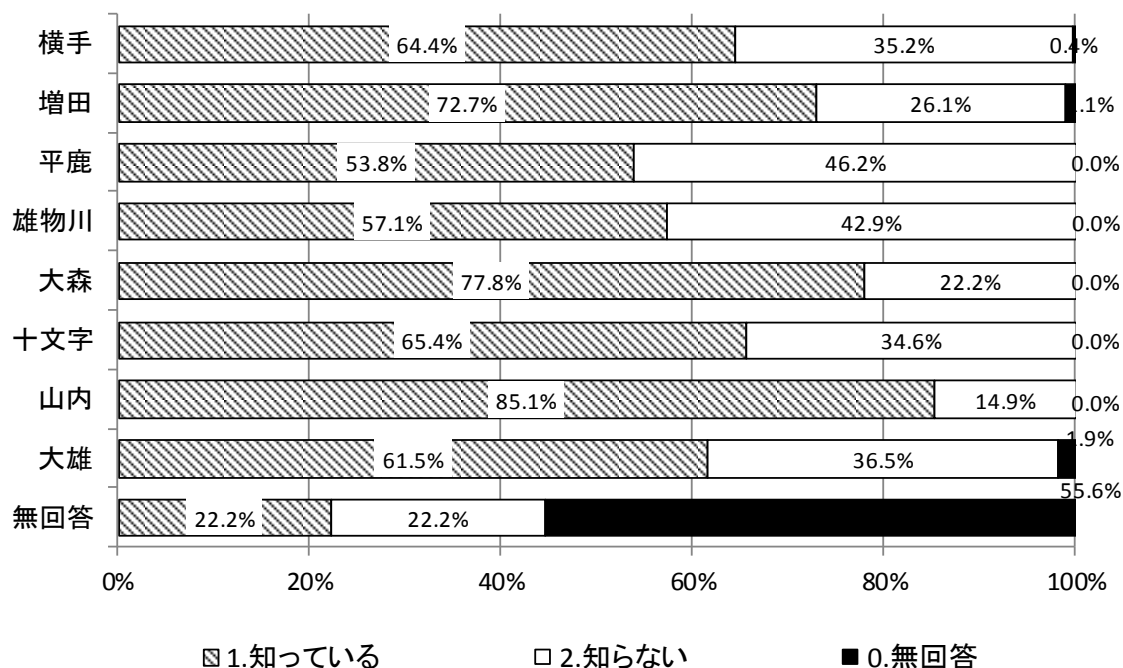
【年代別の回答の割合】

(回答数=1,160)



【地域別の回答の割合】

(回答数=1,160)



■ 1.知っている

□ 2.知らない

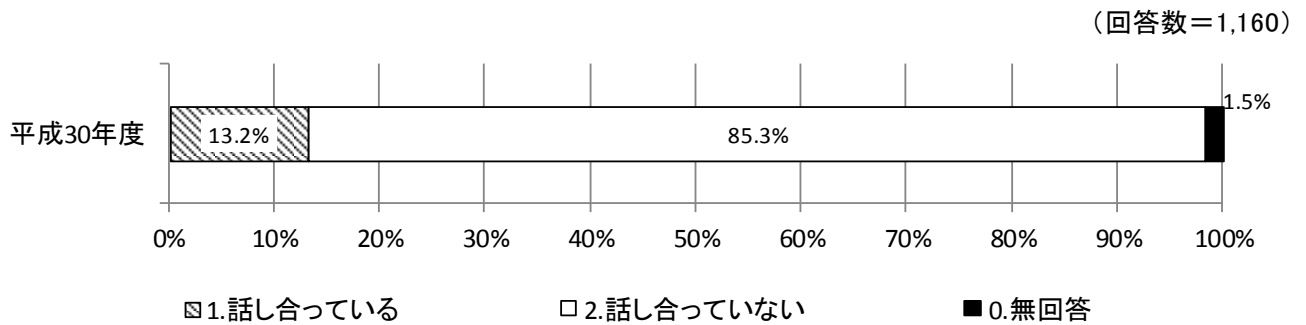
■ 0.無回答

(単位:「人」「%」)

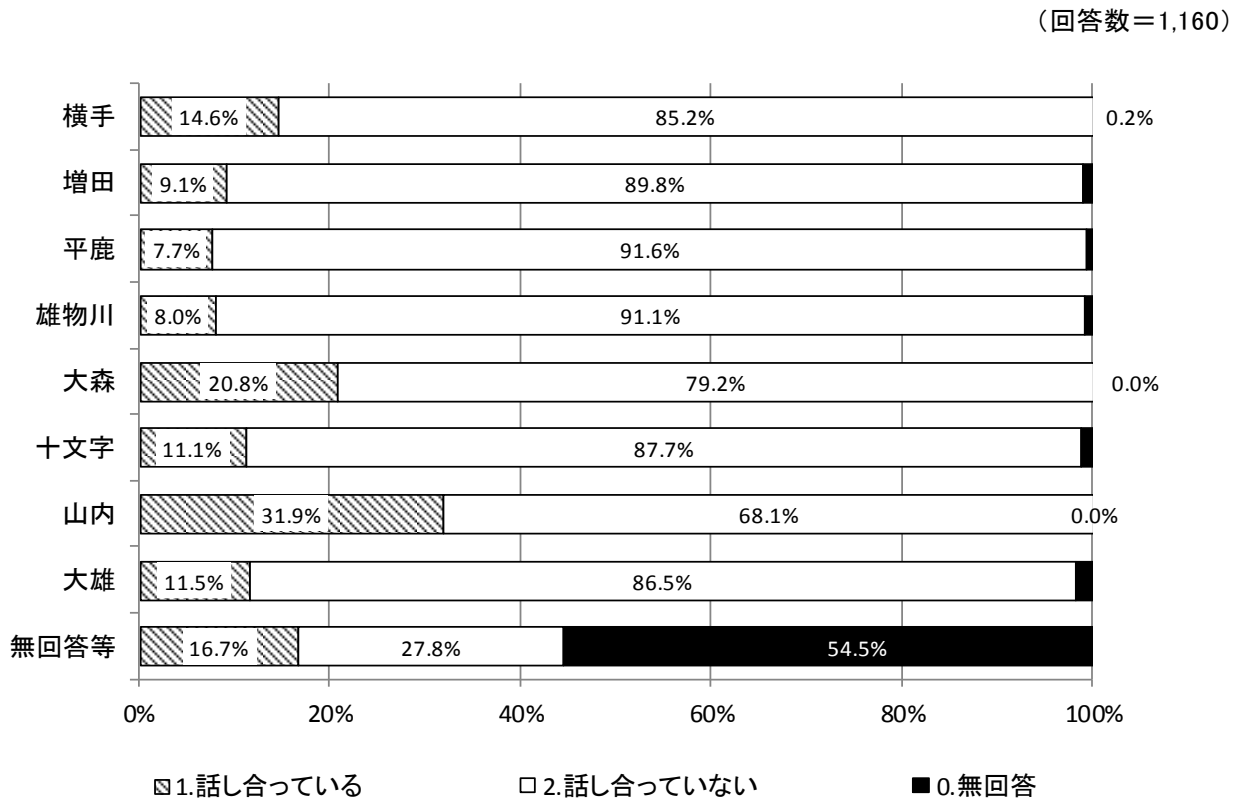
問2		1.知っている		2.知らない		無回答		総計
性別	男性	331	65.7	172	34.1	1	0.2	504
	女性	404	63.8	227	35.9	2	0.3	633
	無回答	8	34.8	4	17.4	11	47.8	23
	総計	743	64.1	403	34.7	14	1.2	1,160
年齢	10歳代	7	53.8	6	46.2		0.0	13
	20歳代	29	46.0	34	54.0		0.0	63
	30歳代	69	53.1	60	46.2	1	0.8	130
	40歳代	118	67.0	58	33.0		0.0	176
	50歳代	151	62.7	89	36.9	1	0.4	241
	60歳代	251	70.3	105	29.4	1	0.3	357
	70歳代以上	113	69.3	49	30.1	1	0.6	163
	無回答	5	29.4	2	11.8	10	58.8	17
総計	743	64.1	403	34.7	14	1.2	1,160	
地域	横手	300	64.4	164	35.2	2	0.4	466
	増田	64	72.7	23	26.1	1	1.1	88
	平鹿	77	53.8	66	46.2		0.0	143
	雄物川	64	57.1	48	42.9		0.0	112
	大森	56	77.8	16	22.2		0.0	72
	十文字	106	65.4	56	34.6		0.0	162
	山内	40	85.1	7	14.9		0.0	47
	大雄	32	61.5	19	36.5	1	1.9	52
	無回答	4	22.2	4	22.2	10	55.6	18
	総計	743	64.1	403	34.7	14	1.2	1,160

問3 避難する場所や方法について、ご近所や町内会等で話し合っていますか。
(〇は1つ)

- 「1. 話し合っている」と回答した人は、全体の13.2%。
- 地域別で「1. 話し合っている」の割合が高いのは山内地域で31.9%。
- 次いで大森地域の20.8%。



【地域別の回答の割合】



横手市まちづくりアンケート

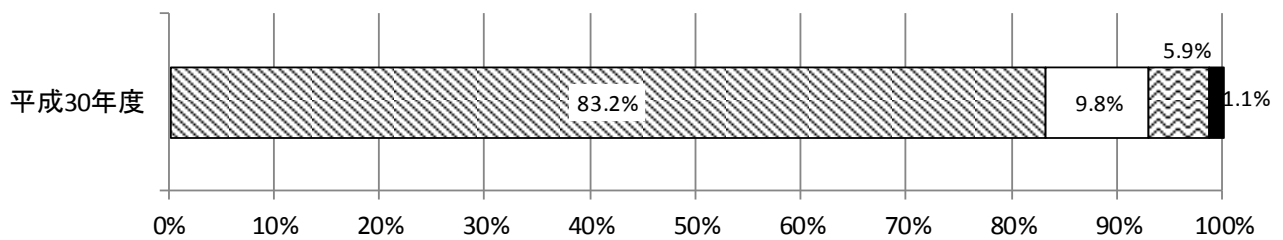
(単位:「人」「%」)

問3		1.話している		2.話していない		無回答		総計
性別	男性	73	14.5	429	85.1	2	0.4	504
	女性	73	11.5	555	87.7	5	0.8	633
	無回答	7	30.4	6	26.1	10	43.5	23
	総計	153	13.2	990	85.3	17	1.5	1,160
年齢	10歳代	2	15.4	11	84.6		0.0	13
	20歳代	6	9.5	56	88.9	1	1.6	63
	30歳代	12	9.2	116	89.2	2	1.5	130
	40歳代	13	7.4	163	92.6		0.0	176
	50歳代	31	12.9	210	87.1		0.0	241
	60歳代	55	15.4	299	83.8	3	0.8	357
	70歳代以上	31	19.0	131	80.4	1	0.6	163
	無回答	3	17.6	4	23.5	10	58.8	17
総計	153	13.2	990	85.3	17	1.5	1,160	
地域	横手	68	14.6	397	85.2	1	0.2	466
	増田	8	9.1	79	89.8	1	1.1	88
	平鹿	11	7.7	131	91.6	1	0.7	143
	雄物川	9	8.0	102	91.1	1	0.9	112
	大森	15	20.8	57	79.2		0.0	72
	十文字	18	11.1	142	87.7	2	1.2	162
	山内	15	31.9	32	68.1		0.0	47
	大雄	6	11.5	45	86.5	1	1.9	52
	無回答	3	16.7	5	27.8	10	55.6	18
	総計	153	13.2	990	85.3	17	1.5	1,160

問4 災害時の避難について、近いものを選んでください。(〇は1つ)

- 5. 9%が「3. 自力での避難に不安があるうえ、支援してくれる人もいない」。
- 支援者がいない割合が最も高いのは横手地域。

(回答数=1,160)



- ☑ 1.自力で避難できるので、今のところ支援は必要ない
- 2.自力での避難に不安があるが、支援してくれる人がいる
- ☑ 3.自力での避難に不安があるうえ、支援してくれる人もいない
- 0.無回答

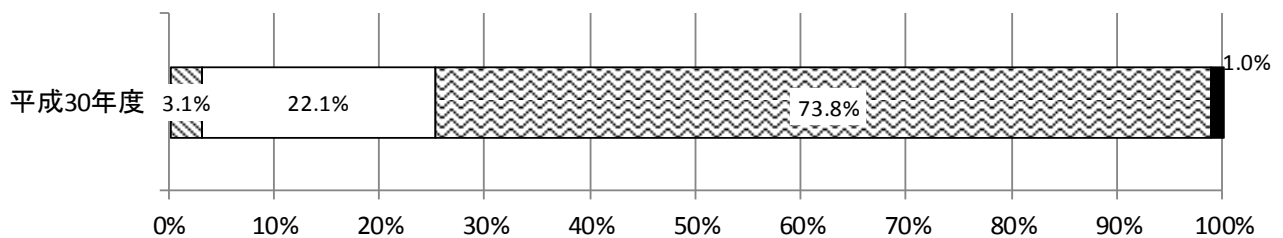
(単位:「人」「%」)

問4		1.自力で避難できるので、今のところ支援は必要ない		2.自力での避難に不安があるが、支援してくれる人がいる		3.自力での避難に不安があるうえ、支援してくれる人もいない		無回答		総計
性別	男性	440	87.3	36	7.1	24	4.8	4	0.8	504
	女性	511	80.7	74	11.7	43	6.8	5	0.8	633
	無回答	14	60.9	4	17.4	1	4.3	4	17.4	23
	総計	965	83.2	114	9.8	68	5.9	13	1.1	1,160
年齢	10歳代	12	92.3	1	7.7		0.0		0.0	13
	20歳代	43	68.3	16	25.4	4	6.3		0.0	63
	30歳代	113	86.9	12	9.2	5	3.8		0.0	130
	40歳代	149	84.7	17	9.7	10	5.7		0.0	176
	50歳代	213	88.4	12	5.0	13	5.4	3	1.2	241
	60歳代	306	85.7	23	6.4	23	6.4	5	1.4	357
	70歳代以上	117	71.8	32	19.6	13	8.0	1	0.6	163
	無回答	12	70.6	1	5.9		0.0	4	23.5	17
総計	965	83.2	114	9.8	68	5.9	13	1.1	1,160	
地域	横手	383	82.2	43	9.2	36	7.7	4	0.9	466
	増田	77	87.5	7	8.0	4	4.5		0.0	88
	平鹿	121	84.6	16	11.2	4	2.8	2	1.4	143
	雄物川	97	86.6	11	9.8	3	2.7	1	0.9	112
	大森	58	80.6	9	12.5	4	5.6	1	1.4	72
	十文字	141	87.0	11	6.8	10	6.2		0.0	162
	山内	36	76.6	8	17.0	3	6.4		0.0	47
	大雄	41	78.8	7	13.5	3	5.8	1	1.9	52
	無回答	11	61.1	2	11.1	1	5.6	4	22.2	18
総計	965	83.2	114	9.8	68	5.9	13	1.1	1,160	

問5 横手市ではご本人の申し出により、災害時の避難に支援が必要な方の名簿を作成し、円滑な支援に役立てる仕組みがありますが、ご存知ですか。(〇は1つ)

- 若い年代ほど「3. 知らない」と回答する割合が高い。
- 地域別では山内地域と大雄地域での認知度が若干高い。

(回答数=1,160)



- ▣ 1. 仕組みを知っていて、すでに名簿に登録している
- 2. 名簿には登録していないが、仕組みは知っている
- ▤ 3. 知らない
- 0. 無回答

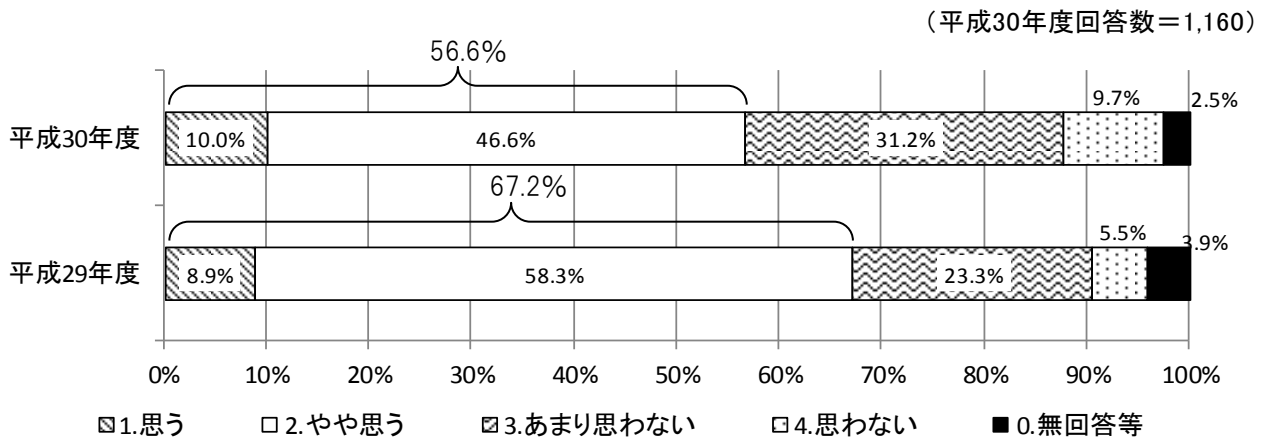
(単位:「人」「%」)

問5		1. 仕組みを知っていて、すでに名簿に登録している		2. 名簿に登録していないが、仕組みは知っている		3. 知らない		無回答		総計
性別	男性	13	2.6	116	23.0	370	73.4	5	1.0	504
	女性	22	3.5	133	21.0	475	75.0	3	0.5	633
	無回答	1	4.3	7	30.4	11	47.8	4	17.4	23
	総計	36	3.1	256	22.1	856	73.8	12	1.0	1,160
年齢	10歳代		0.0	1	7.7	12	92.3		0.0	13
	20歳代	1	1.6	6	9.5	56	88.9		0.0	63
	30歳代	1	0.8	17	13.1	112	86.2		0.0	130
	40歳代	3	1.7	19	10.8	154	87.5		0.0	176
	50歳代	6	2.5	55	22.8	178	73.9	2	0.8	241
	60歳代	12	3.4	107	30.0	235	65.8	3	0.8	357
	70歳代以上	13	8.0	46	28.2	101	62.0	3	1.8	163
	無回答		0.0	5	29.4	8	47.1	4	23.5	17
総計	36	3.1	256	22.1	856	73.8	12	1.0	1,160	
地域	横手	15	3.2	103	22.1	345	74.0	3	0.6	466
	増田	3	3.4	19	21.6	66	75.0		0.0	88
	平鹿	6	4.2	26	18.2	109	76.2	2	1.4	143
	雄物川	1	0.9	25	22.3	85	75.9	1	0.9	112
	大森		0.0	15	20.8	56	77.8	1	1.4	72
	十文字	6	3.7	36	22.2	120	74.1		0.0	162
	山内	3	6.4	13	27.7	31	66.0		0.0	47
	大雄	2	3.8	13	25.0	36	69.2	1	1.9	52
	無回答		0.0	6	33.3	8	44.4	4	22.2	18
	総計	36	3.1	256	22.1	856	73.8	12	1.0	1,160

2 男女共同参画について

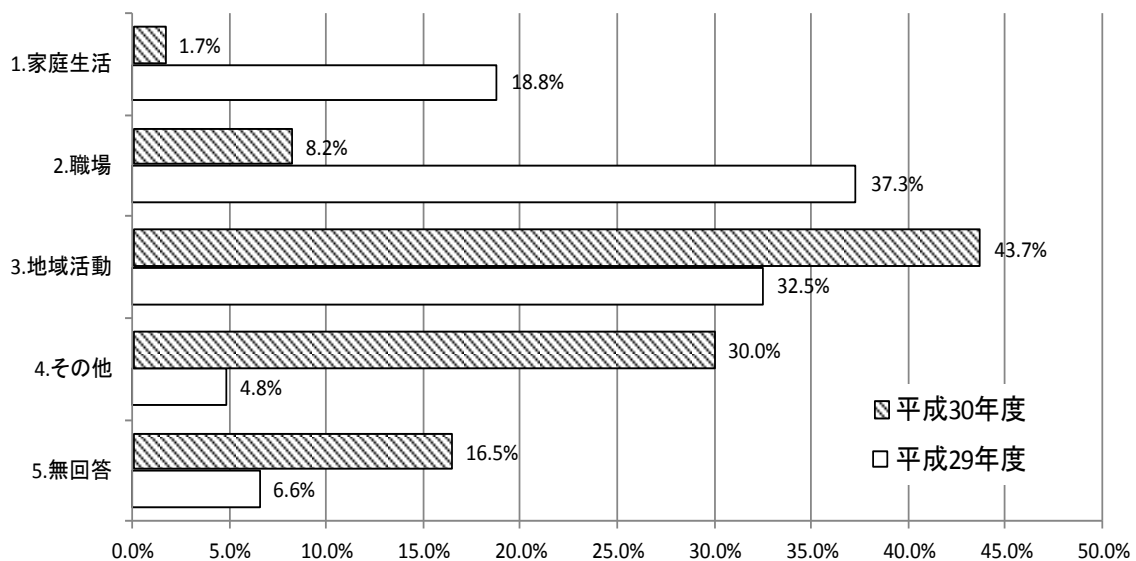
問6 ご自身の実感として、横手市が性別に関係なくみんなが活躍できる「男女共同参画社会」になってきていると思いますか。(〇は1つ)

- 「1. 思う」「2. やや思う」と回答した方の割合が約10%減少。
- 「地域活動」において参画が進んでいないと感じる人が増加。



【「3. あまり思わない」「4. 思わない」と回答した人が「思わない」場面】

(「3. あまり思わない」「4. 思わない」と回答した人数・平成30年度=474)



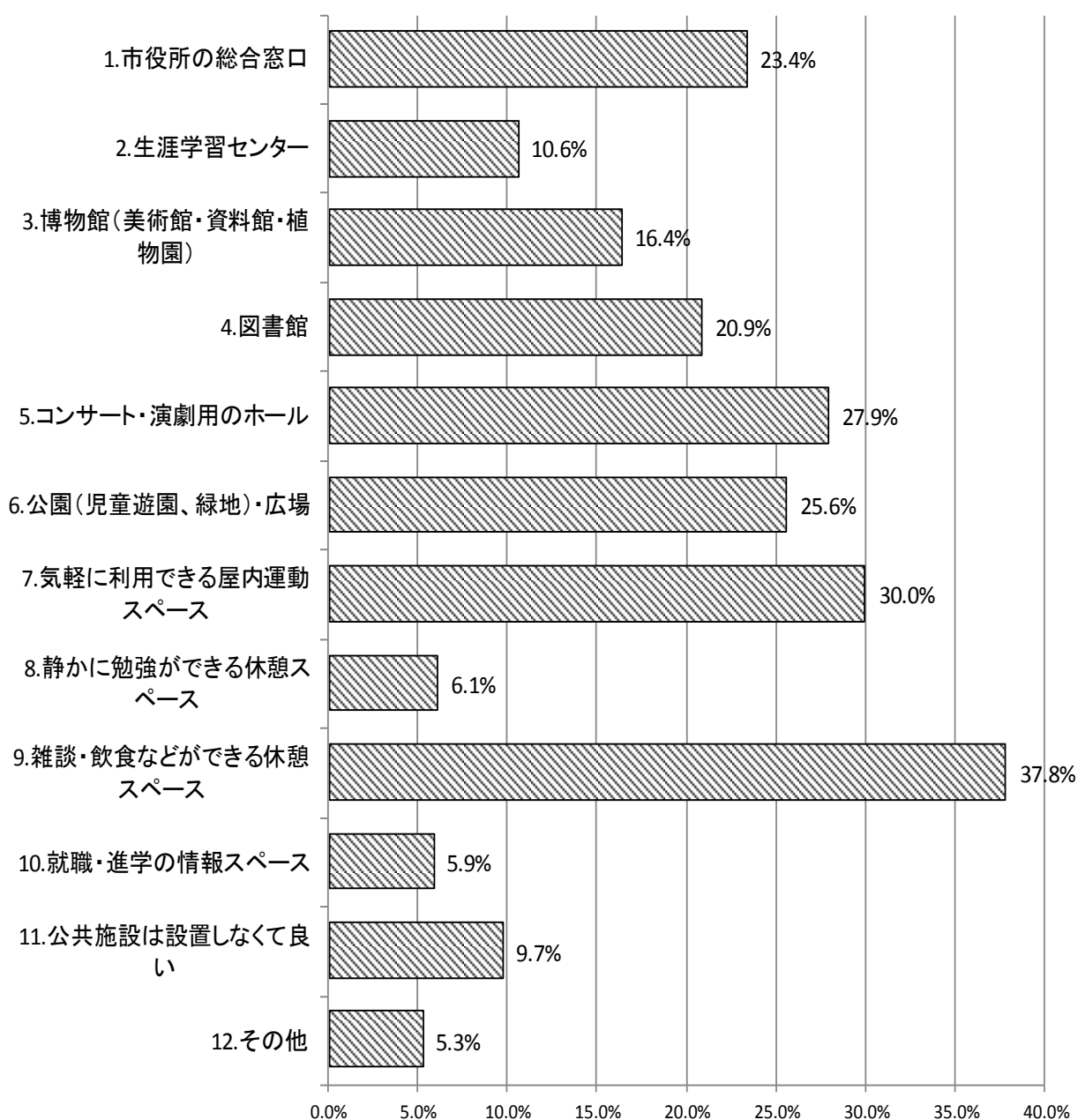
【「その他」に挙げられたご意見】

- ・意識したことがないから
- ・活躍できる場所かわからない
- ・議員の女性比率が低い
- ・議員や管理職の男女比
- ・求人の数や内容（正社員）
- ・市議会議員女性が少なすぎる
- ・仕事ありません秋田県は
- ・施設に入所中
- ・自宅での仕事なので外の活動に参加することがないので
- ・実態がわからない
- ・自分が30年前と変わらないから
- ・親戚関係
- ・すこし男性に対して少なすぎる。市会議員等の女性の(数)人員の
- ・全ての場面ですよ。ひとつに絞れるわけじゃないですよ。
- ・全体的に実感がわからない
- ・そのような場所をあまり見ない
- ・男女共同といってもハローワークに行かないと女性ばかりの仕事であって、男性では「ない」と言われた(夫)はじめから女・男と書いてほしい！！
- ・出ることもないし考えた事もない
- ・どの様な事か具体的にわからない。

3 公共施設やまちのにぎわいについて

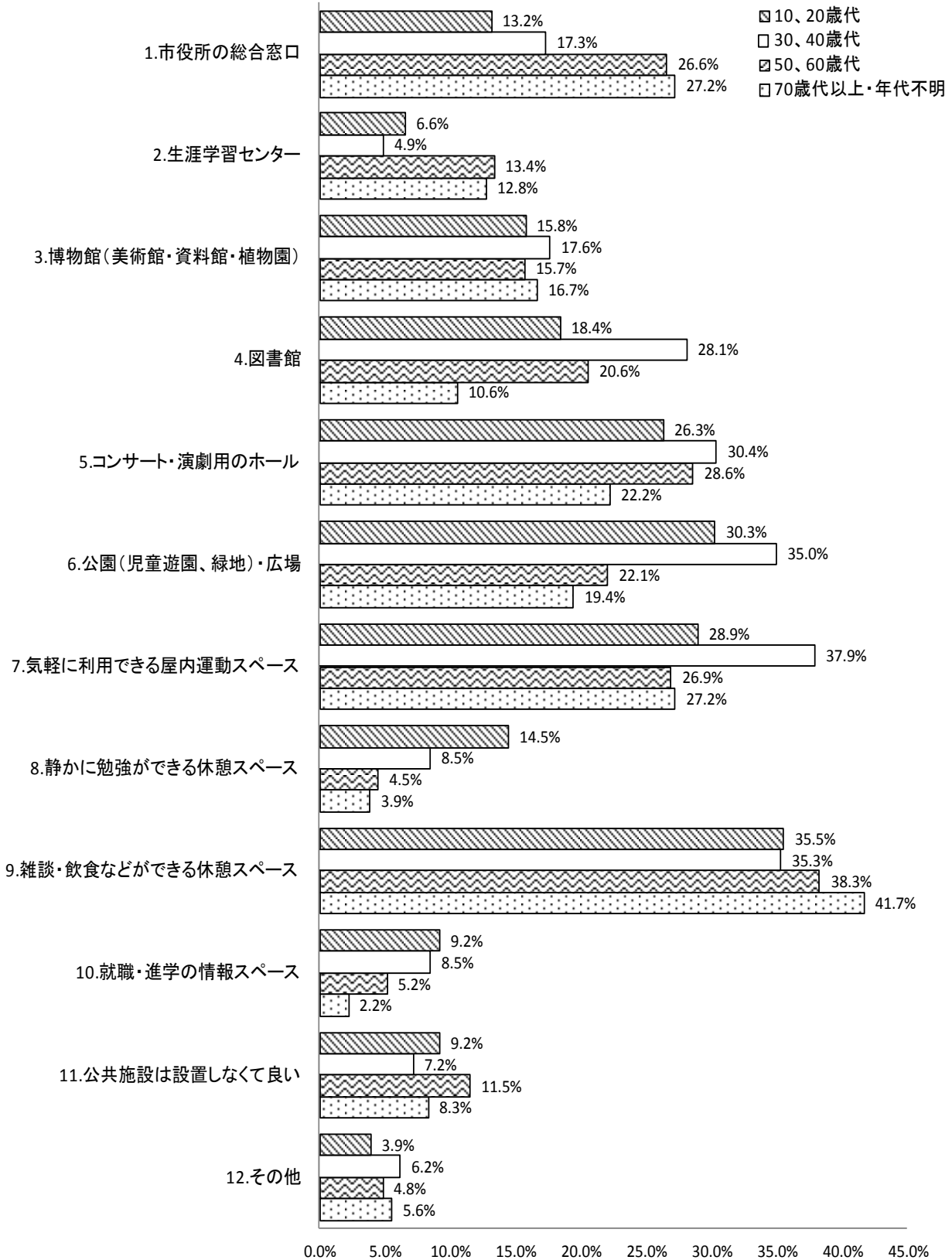
問7 JR横手駅周辺において、利用しやすい、利用したくなる公共機能として、どのような施設やスペースがあれば良いですか。(〇は3つまで)

(回答数=1,160)



【年代別の結果】

(回答数=1,160)



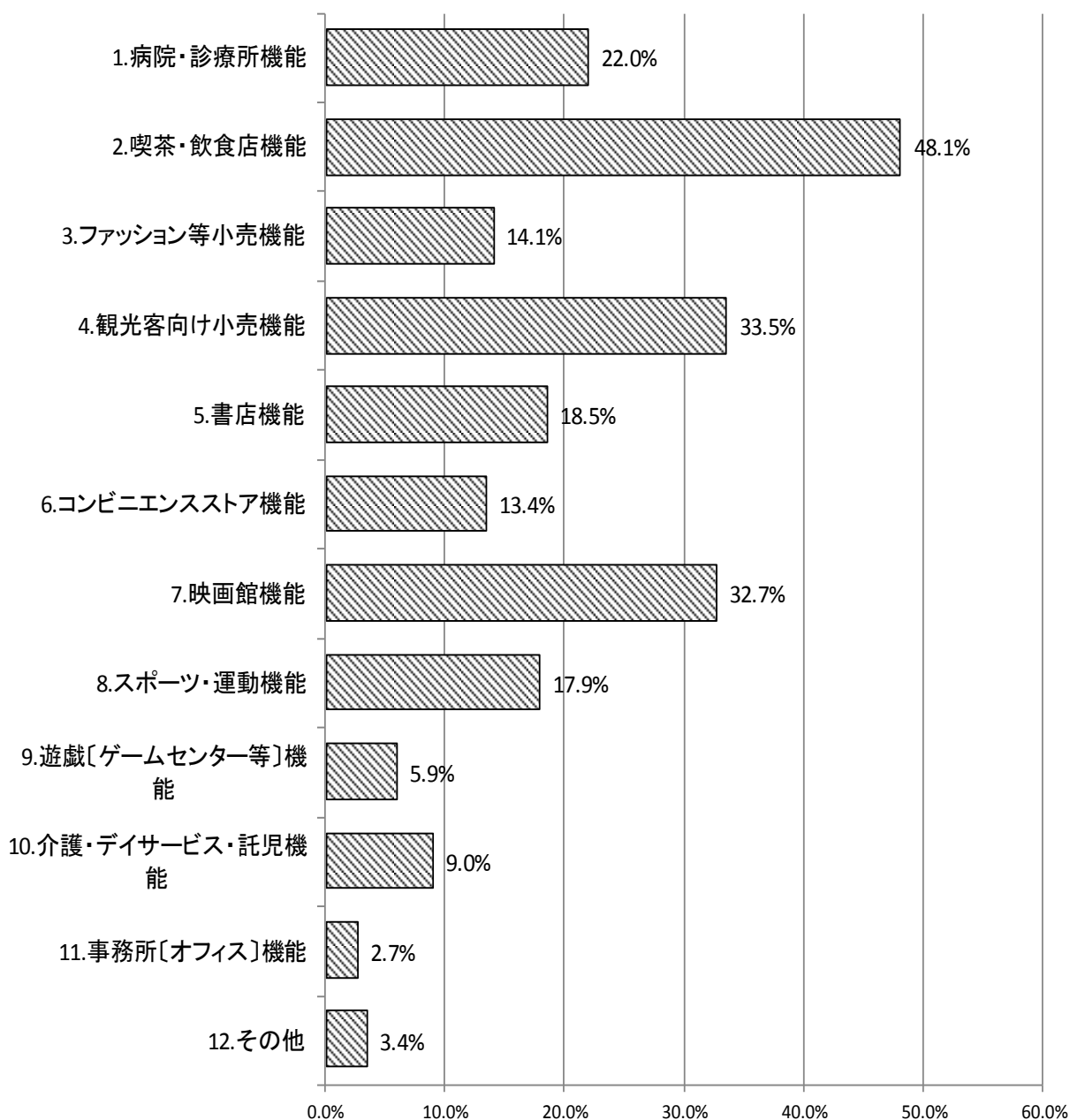
(単位：「人

問7	1. 市役所 総合窓口		2. 生涯学 センター		3. 博物館 術館・資料 館(植物園)		4. 図書館		5. コンサ र्टホール		6. 公園(遊 園、緑地 広場)		7. 気軽に 利用できる 運動ス ペース		8. 静かに 読書が できる スペース		9. 雑談・ 憩いなど が できる スペース		10. 就職 の 情 報 ス ペ ー ス		11. 公共 施設 は 設 置 し て よ い		12. その 母 数		
	総 計	母 数	総 計	母 数	総 計	母 数	総 計	母 数	総 計	母 数	総 計	母 数	総 計	母 数	総 計	母 数	総 計	母 数	総 計	母 数	総 計	母 数			
性別	127	25.2	45	8.9	80	15.9	95	18.8	138	27.4	123	24.4	150	29.8	27	5.4	161	31.9	25	5.0	72	14.3	28	5.6	504
男性	141	22.3	76	12.0	107	16.9	145	22.9	181	28.6	171	27.0	193	30.5	42	6.6	269	42.5	41	6.5	39	6.2	32	5.1	633
女性	3	13.0	2	8.7	3	13.0	2	8.7	5	21.7	3	13.0	5	21.7	2	8.7	9	39.1	2	8.7	2	8.7	1	4.3	23
無回答	271	23.4	123	10.6	190	16.4	242	20.9	324	27.9	297	25.6	348	30.0	71	6.1	439	37.8	68	5.9	113	9.7	61	5.3	1,160
年齢	2	15.4	1	7.7	1	7.7	4	30.8	6	46.2	2	15.4	2	15.4	4	30.8	4	30.8	3	23.1	0	0.0	0	0.0	13
10歳代	8	12.7	4	6.3	11	17.5	10	15.9	14	22.2	21	33.3	20	31.7	7	11.1	23	36.5	4	6.3	7	11.1	3	4.8	63
20歳代	21	16.2	7	5.4	25	19.2	38	29.2	36	27.7	65	50.0	50	38.5	8	6.2	39	30.0	9	6.9	7	5.4	10	7.7	130
30歳代	32	18.2	8	4.5	29	16.5	48	27.3	57	32.4	42	23.9	66	37.5	18	10.2	69	39.2	17	9.7	15	8.5	9	5.1	176
40歳代	64	26.6	30	12.4	42	17.4	61	25.3	81	33.6	60	24.9	76	31.5	14	5.8	84	34.9	15	6.2	18	7.5	13	5.4	241
50歳代	95	26.6	50	14.0	52	14.6	62	17.4	90	25.2	72	20.2	85	23.8	13	3.6	145	40.6	16	4.5	51	14.3	16	4.5	357
60歳代	48	29.4	22	13.5	27	16.6	19	11.7	36	22.1	32	19.6	43	26.4	7	4.3	67	41.1	2	1.2	13	8.0	9	5.5	163
70歳代以上	1	5.9	1	5.9	3	17.6	0	0.0	4	23.5	3	17.6	6	35.3	0	0.0	8	47.1	2	11.8	2	11.8	1	5.9	17
無回答	271	23.4	123	10.6	190	16.4	242	20.9	324	27.9	297	25.6	348	30.0	71	6.1	439	37.8	68	5.9	113	9.7	61	5.3	1,160
地域	108	23.2	46	9.9	77	16.5	109	23.4	143	30.7	135	29.0	161	34.5	34	7.3	174	37.3	25	5.4	33	7.1	27	5.8	466
機手	19	21.6	15	17.0	15	17.0	19	21.6	23	26.1	18	20.5	20	22.7	3	3.4	33	37.5	4	4.5	11	12.5	6	6.8	88
増田	34	23.8	14	9.8	22	15.4	23	16.1	40	28.0	42	29.4	41	28.7	4	2.8	53	37.1	9	6.3	18	12.6	5	3.5	143
平鹿	26	23.2	11	9.8	16	14.3	20	17.9	24	21.4	30	26.8	36	32.1	6	5.4	36	32.1	8	7.1	16	14.3	8	7.1	112
雄物川	19	26.4	5	6.9	14	19.4	16	22.2	17	23.6	13	18.1	23	31.9	4	5.6	30	41.7	4	5.6	5	6.9	3	4.2	72
大森	40	24.7	15	9.3	27	16.7	32	19.8	52	32.1	37	22.8	38	23.5	12	7.4	67	41.4	11	6.8	16	9.9	6	3.7	162
十文字	17	36.2	8	17.0	10	21.3	10	21.3	12	25.5	7	14.9	9	19.1	3	6.4	19	40.4	4	8.5	4	8.5	3	6.4	47
山内	6	11.5	6	11.5	7	13.5	11	21.2	11	21.2	12	23.1	17	32.7	5	9.6	21	40.4	2	3.8	8	15.4	2	3.8	52
大雄	2	11.1	3	16.7	2	11.1	2	11.1	2	11.1	3	16.7	3	16.7	0	0.0	6	33.3	1	5.6	2	11.1	1	5.6	18
無回答	271	23.4	123	10.6	190	16.4	242	20.9	324	27.9	297	25.6	348	30.0	71	6.1	439	37.8	68	5.9	113	9.7	61	5.3	1,160
総計	271	23.4	123	10.6	190	16.4	242	20.9	324	27.9	297	25.6	348	30.0	71	6.1	439	37.8	68	5.9	113	9.7	61	5.3	1,160

問8 公共施設以外にJR横手駅周辺にはどのような機能やサービスがあれば良いですか。(〇は3つまで)

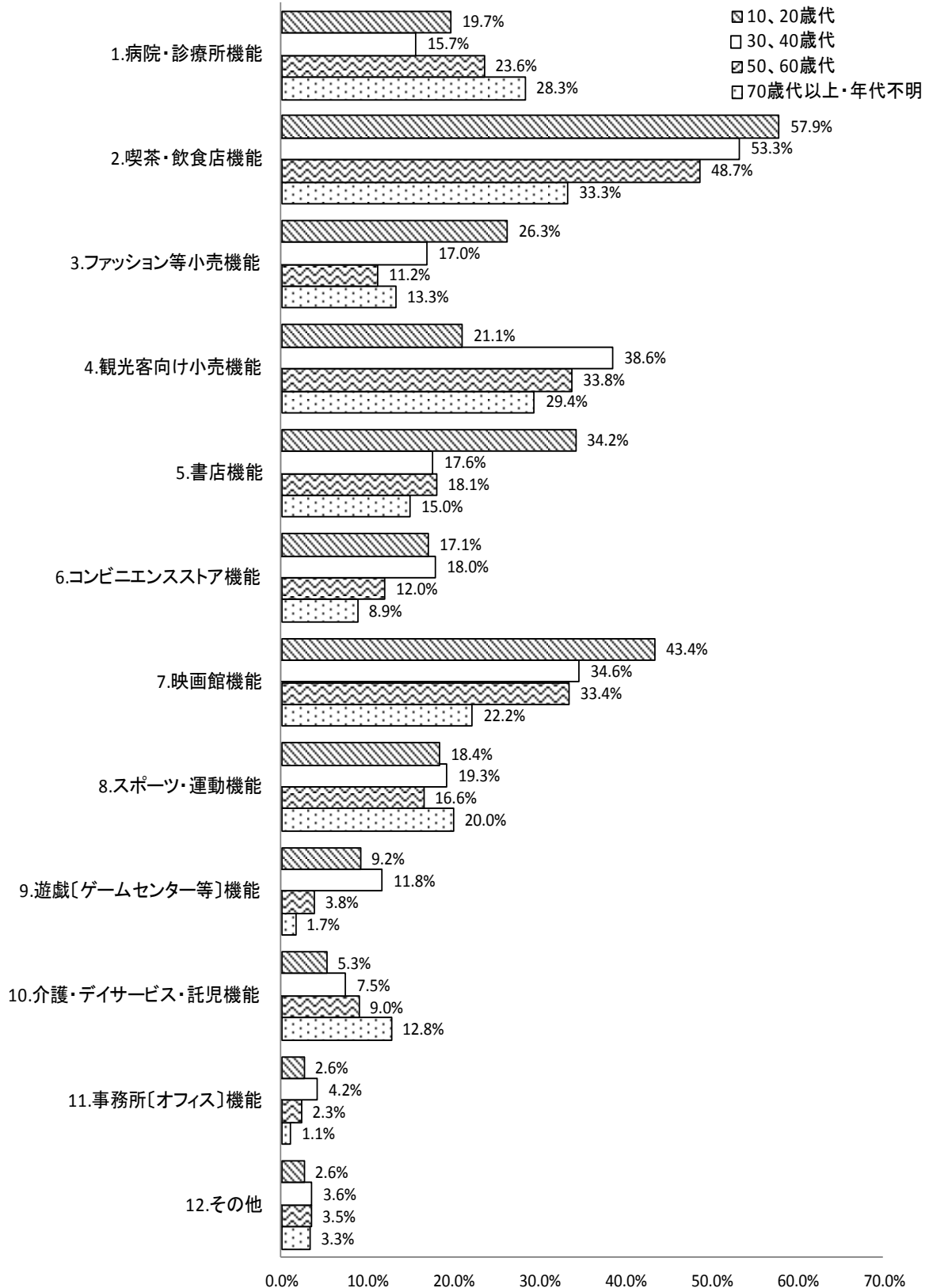
- 半数が「2. 喫茶・飲食店機能」と回答。
- 次いで「4. 観光客向け小売機能」「7. 映画館機能」「1. 病院・診療所機能」。

(回答数=1,160)



【年代別の結果】

(回答数=1,160)



横手市まちづくりアンケート

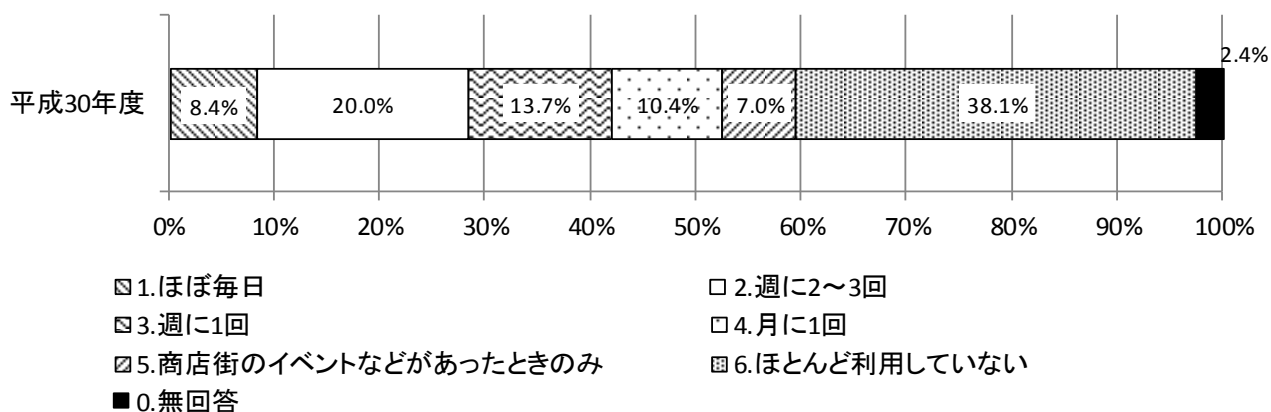
(単位:「人」[%])

問8	1. 病院・診療所機能		2. 喫茶・飲食店機能		3. ファッション等小売機能		4. 観光客向け小売機能		5. 書店機能		6. コンピューストア機能		7. 映画館機能		8. スポーツ・運動機能		9. 遊戯(ゲームセンター等)機能		10. 介護・デイサービス・託児機能		11. 事務所(オフィス)機能		12. その他		母数	
	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%		
性別	112	22.2	209	41.5	55	10.9	183	36.3	94	18.7	70	13.9	160	31.7	107	21.2	39	7.7	46	9.1	20	4.0	19	3.8	504	
男性	138	21.8	341	53.9	104	16.4	197	31.1	117	18.5	83	13.1	218	34.4	96	15.2	30	4.7	55	8.7	11	1.7	21	3.3	633	
女性	5	21.7	8	34.8	4	17.4	9	39.1	4	17.4	3	13.0	1	4.3	5	21.7	0	0.0	3	13.0	0	0.0	0	0.0	23	
無回答	255	22.0	558	48.1	163	14.1	389	33.5	215	18.5	156	13.4	379	32.7	208	17.9	69	5.9	104	9.0	31	2.7	40	3.4	1,160	
年齢	5	38.5	6	46.2	2	15.4	0	0.0	7	53.8	3	23.1	6	46.2	2	15.4	2	15.4	1	7.7	0	0.0	1	7.7	13	
10歳代	10	15.9	38	60.3	18	28.6	16	25.4	19	30.2	10	15.9	27	42.9	12	19.0	5	7.9	3	4.8	2	3.2	1	1.6	63	
20歳代	18	13.8	68	52.3	24	18.5	42	32.3	26	20.0	26	20.0	47	36.2	29	22.3	19	14.6	11	8.5	6	4.6	5	3.8	130	
30歳代	30	17.0	95	54.0	28	15.9	76	43.2	28	15.9	29	16.5	59	33.5	30	17.0	17	9.7	12	6.8	7	4.0	6	3.4	176	
40歳代	50	20.7	121	50.2	28	11.6	91	37.8	45	18.7	34	14.1	92	38.2	50	20.7	11	4.6	17	7.1	6	2.5	11	4.6	241	
50歳代	91	25.5	170	47.6	39	10.9	111	31.1	63	17.6	38	10.6	108	30.3	49	13.7	12	3.4	37	10.4	8	2.2	10	2.8	357	
60歳代	48	29.4	56	34.4	20	12.3	47	28.8	24	14.7	15	9.2	36	22.1	34	20.9	3	1.8	21	12.9	2	1.2	6	3.7	163	
70歳代以上	3	17.6	4	23.5	4	23.5	6	35.3	3	17.6	1	5.9	4	23.5	2	11.8	0	0.0	2	11.8	0	0.0	0	0.0	17	
無回答	255	22.0	558	48.1	163	14.1	389	33.5	215	18.5	156	13.4	379	32.7	208	17.9	69	5.9	104	9.0	31	2.7	40	3.4	1,160	
地域	97	20.8	240	51.5	83	17.8	164	35.2	101	21.7	58	12.4	153	32.8	88	18.9	31	6.7	42	9.0	16	3.4	16	3.4	466	
横手	25	28.4	38	43.2	10	11.4	26	29.5	8	9.1	15	17.0	33	37.5	11	12.5	5	5.7	8	9.1	0	0.0	3	3.4	88	
増田	20	14.0	69	48.3	15	10.5	47	32.9	27	18.9	18	12.6	58	40.6	27	18.9	12	8.4	14	9.8	3	2.1	8	5.6	143	
平鹿	25	22.3	55	49.1	10	8.9	40	35.7	21	18.8	15	13.4	29	25.9	20	17.9	7	6.3	8	7.1	3	2.7	5	4.5	112	
雄物川	14	19.4	37	51.4	7	9.7	22	30.6	10	13.9	10	13.9	23	31.9	16	22.2	3	4.2	3	4.2	2	2.8	2	2.8	72	
大森	43	26.5	72	44.4	23	14.2	47	29.0	30	18.5	25	15.4	56	34.6	26	16.0	7	4.3	19	11.7	4	2.5	3	1.9	162	
十文字	19	40.4	19	40.4	5	10.6	17	36.2	10	21.3	6	12.8	11	23.4	8	17.0	3	6.4	4	8.5	0	0.0	1	2.1	47	
山内	9	17.3	23	44.2	6	11.5	19	36.5	6	11.5	7	13.5	14	26.9	8	15.4	1	1.9	5	9.6	2	3.8	2	3.8	52	
大雄	3	16.7	5	27.8	4	22.2	7	38.9	2	11.1	2	11.1	2	11.1	4	22.2	0	0.0	1	5.6	1	5.6	0	0.0	18	
無回答	255	22.0	558	48.1	163	14.1	389	33.5	215	18.5	156	13.4	379	32.7	208	17.9	69	5.9	104	9.0	31	2.7	40	3.4	1,160	
総計																										

問9 市内にある商店街（もしくは商店）をどれくらいの頻度で利用していますか。
近いものを選んでください。地域は問いません。（〇は1つ）

- 全体の38.1%が「6. ほとんど利用していない」と回答。
- 年代が上がるほど利用している割合が高い。
- 週1回以上利用する割合が高い地域、増田地域、十文字地域、山内地域。

(回答数=1,160)



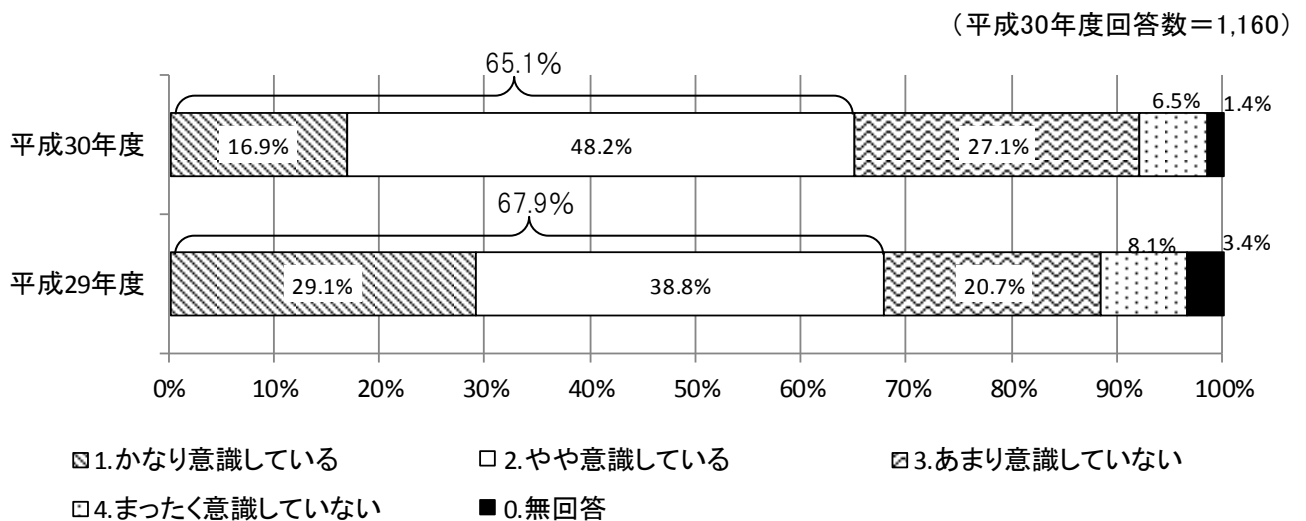
(単位:「人」「%」)

問9		1. ほぼ毎日		2. 週に2~3回		3. 週に1回		4. 月に1回		5. 商店街のイベントなどがあったときのみ		6. ほとんど利用していない		無回答		総計
性別	男性	42	8.3	98	19.4	77	15.3	48	9.5	32	6.3	196	38.9	11	2.2	504
	女性	54	8.5	132	20.9	74	11.7	71	11.2	48	7.6	241	38.1	13	2.1	633
	無回答	1	4.3	2	8.7	8	34.8	2	8.7	1	4.3	5	21.7	4	17.4	23
	総計	97	8.4	232	20.0	159	13.7	121	10.4	81	7.0	442	38.1	28	2.4	1,160
年齢	10歳代	1	7.7	1	7.7	1	7.7	1	7.7		0.0	9	69.2		0.0	13
	20歳代	2	3.2	5	7.9	10	15.9	8	12.7	5	7.9	32	50.8	1	1.6	63
	30歳代	1	0.8	10	7.7	12	9.2	16	12.3	20	15.4	68	52.3	3	2.3	130
	40歳代	10	5.7	26	14.8	17	9.7	21	11.9	10	5.7	90	51.1	2	1.1	176
	50歳代	19	7.9	39	16.2	35	14.5	20	8.3	19	7.9	106	44.0	3	1.2	241
	60歳代	45	12.6	96	26.9	47	13.2	36	10.1	21	5.9	101	28.3	11	3.1	357
	70歳代以上	19	11.7	54	33.1	32	19.6	18	11.0	4	2.5	32	19.6	4	2.5	163
	無回答		0.0	1	5.9	5	29.4	1	5.9	2	11.8	4	23.5	4	23.5	17
総計	97	8.4	232	20.0	159	13.7	121	10.4	81	7.0	442	38.1	28	2.4	1,160	
地域	横手	45	9.7	82	17.6	57	12.2	60	12.9	37	7.9	179	38.4	6	1.3	466
	増田	5	5.7	26	29.5	15	17.0	3	3.4	8	9.1	28	31.8	3	3.4	88
	平鹿	10	7.0	25	17.5	12	8.4	15	10.5	9	6.3	64	44.8	8	5.6	143
	雄物川	6	5.4	20	17.9	16	14.3	13	11.6	9	8.0	47	42.0	1	0.9	112
	大森	10	13.9	10	13.9	11	15.3	9	12.5	6	8.3	24	33.3	2	2.8	72
	十文字	16	9.9	38	23.5	26	16.0	15	9.3	7	4.3	59	36.4	1	0.6	162
	山内	3	6.4	15	31.9	9	19.1	3	6.4	2	4.3	14	29.8	1	2.1	47
	大雄	1	1.9	13	25.0	8	15.4	1	1.9	3	5.8	24	46.2	2	3.8	52
	無回答	1	5.6	3	16.7	5	27.8	2	11.1		0.0	3	16.7	4	22.2	18
	総計	97	8.4	232	20.0	159	13.7	121	10.4	81	7.0	442	38.1	28	2.4	1,160

4 地産地消に関する意識について

問10 普段から地産地消を意識した生活を送っていますか。(〇は1つ)

- 全体の3分の2が地産地消をある程度意識していると回答。
- 「1. かなり意識している」と回答した人の割合が減少。



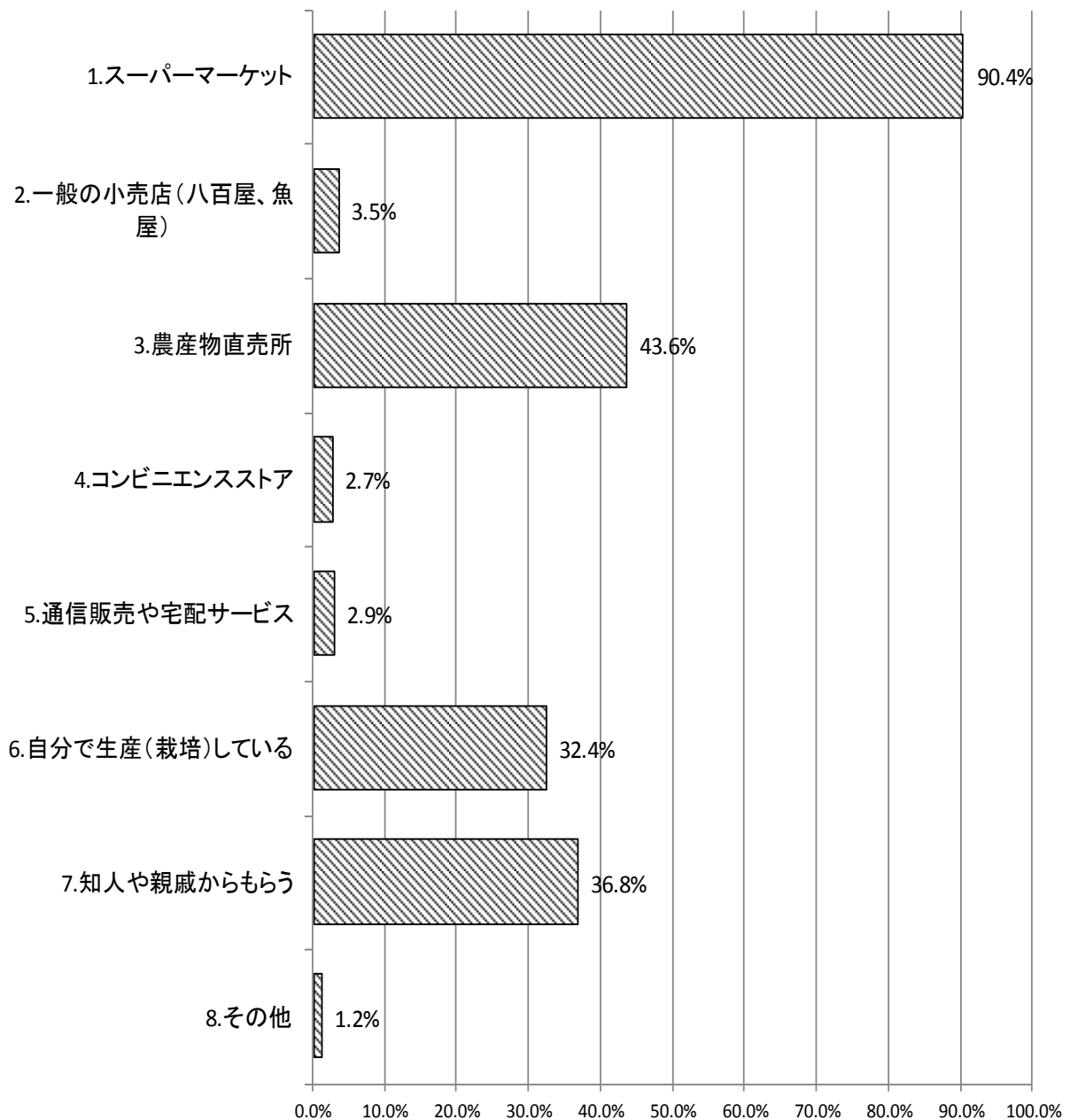
(単位: 「人」「%」)

問10		1. かなり意識している		2. やや意識している		3. あまり意識していない		4. まったく意識していない		無回答		総計
性別	男性	60	11.9	230	45.6	167	33.1	43	8.5	4	0.8	504
	女性	127	20.1	324	51.2	143	22.6	32	5.1	7	1.1	633
	無回答	9	39.1	5	21.7	4	17.4	0	0.0	5	21.7	23
	総計	196	16.9	559	48.2	314	27.1	75	6.5	16	1.4	1,160
年齢	10歳代		0.0	5	38.5	7	53.8	1	7.7		0.0	13
	20歳代	7	11.1	21	33.3	22	34.9	13	20.6		0.0	63
	30歳代	10	7.7	44	33.8	49	37.7	26	20.0	1	0.8	130
	40歳代	20	11.4	95	54.0	47	26.7	14	8.0		0.0	176
	50歳代	47	19.5	112	46.5	74	30.7	8	3.3		0.0	241
	60歳代	73	20.4	183	51.3	86	24.1	9	2.5	6	1.7	357
	70歳代以上	34	20.9	92	56.4	27	16.6	4	2.5	6	3.7	163
	無回答	5	29.4	7	41.2	2	11.8		0.0	3	17.6	17
総計	196	16.9	559	48.2	314	27.1	75	6.5	16	1.4	1,160	
地域	横手	86	18.5	220	47.2	119	25.5	37	7.9	4	0.9	466
	増田	10	11.4	42	47.7	29	33.0	7	8.0		0.0	88
	平鹿	28	19.6	65	45.5	40	28.0	8	5.6	2	1.4	143
	雄物川	10	8.9	60	53.6	38	33.9	3	2.7	1	0.9	112
	大森	14	19.4	31	43.1	24	33.3	2	2.8	1	1.4	72
	十文字	25	15.4	90	55.6	32	19.8	14	8.6	1	0.6	162
	山内	10	21.3	30	63.8	6	12.8	1	2.1		0.0	47
	大雄	9	17.3	17	32.7	21	40.4	2	3.8	3	5.8	52
	無回答	4	22.2	4	22.2	5	27.8	1	5.6	4	22.2	18
	総計	196	16.9	559	48.2	314	27.1	75	6.5	16	1.4	1,160

問11 普段、野菜などの農産物は、どこで手に入れることが多いですか。
(〇はいくつでも)

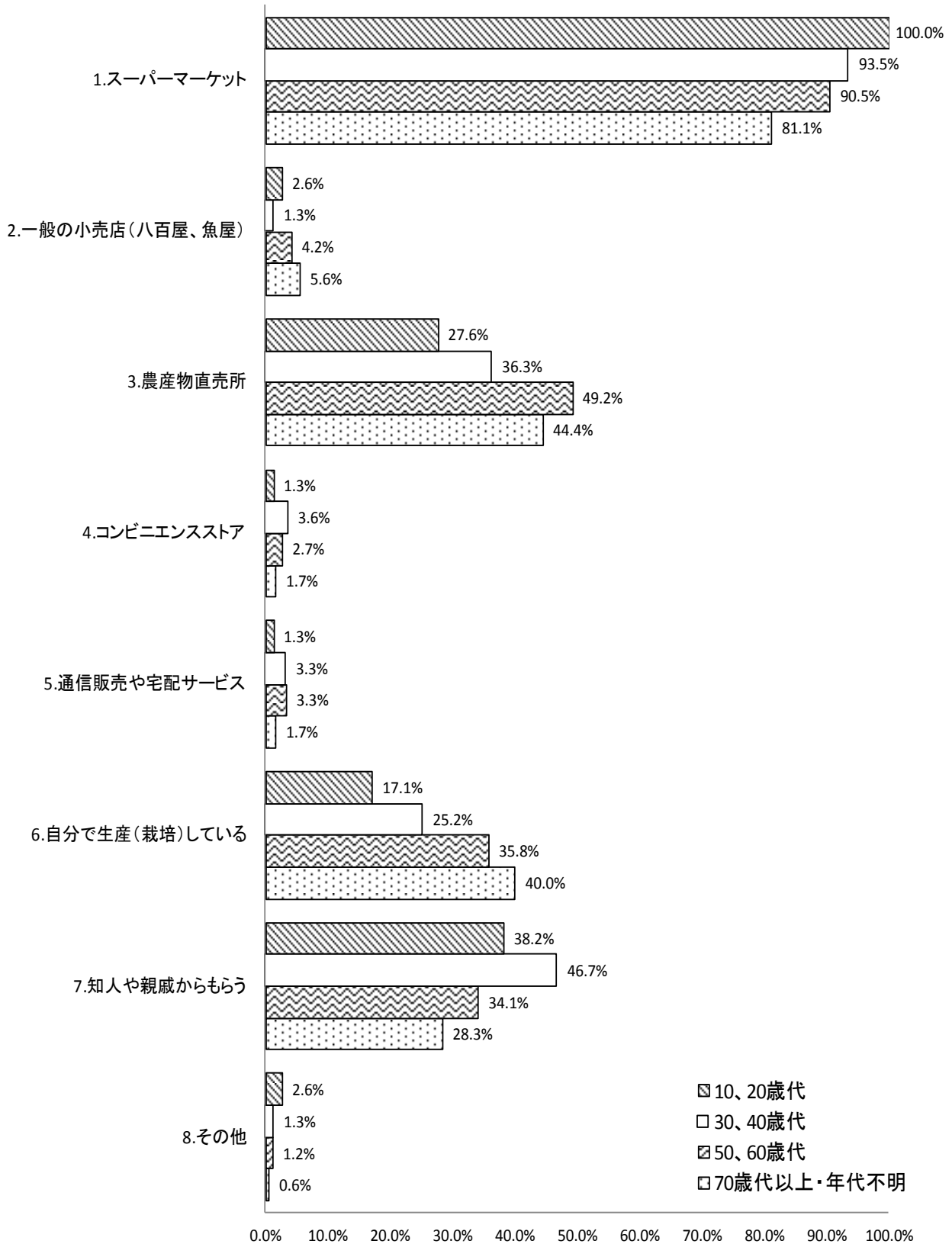
- 全体の43.6%が、農産物直売所を利用している。
- 自分で生産(栽培)している人が32.4%。それに伴って「7. 知人や親戚からもらう」と回答した人も多い。

(回答数=1,160)



【年代別の結果】

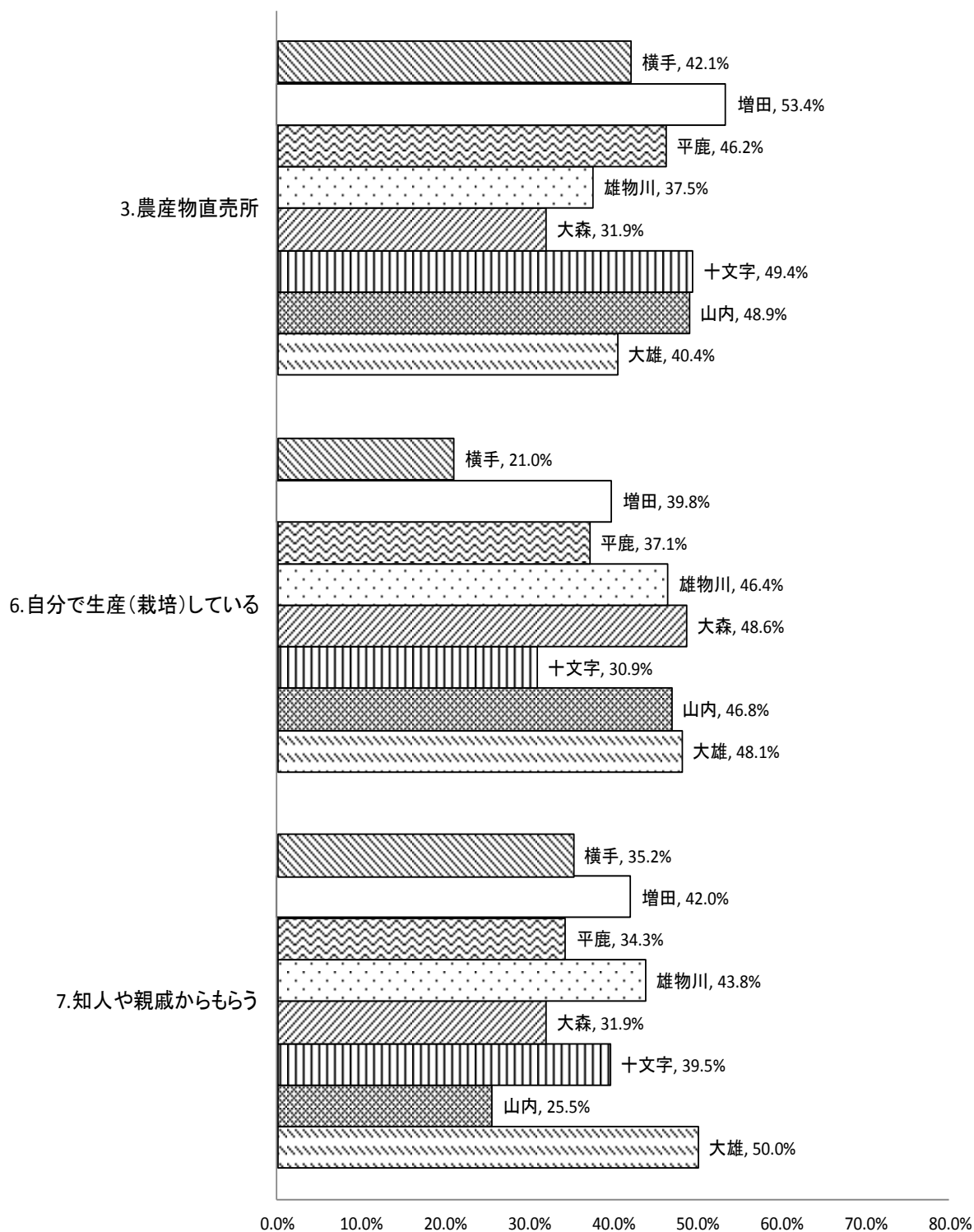
(回答数=1,160)



【地域別の結果】

「1. スーパーマーケット」以外で多かった「3. 農産物直売所」「6. 自分で生産（栽培）している」「7. 知人や親戚からもらう」に着目。

(回答数=1,142、地域不明18を除く)



横手市まちづくりアンケート

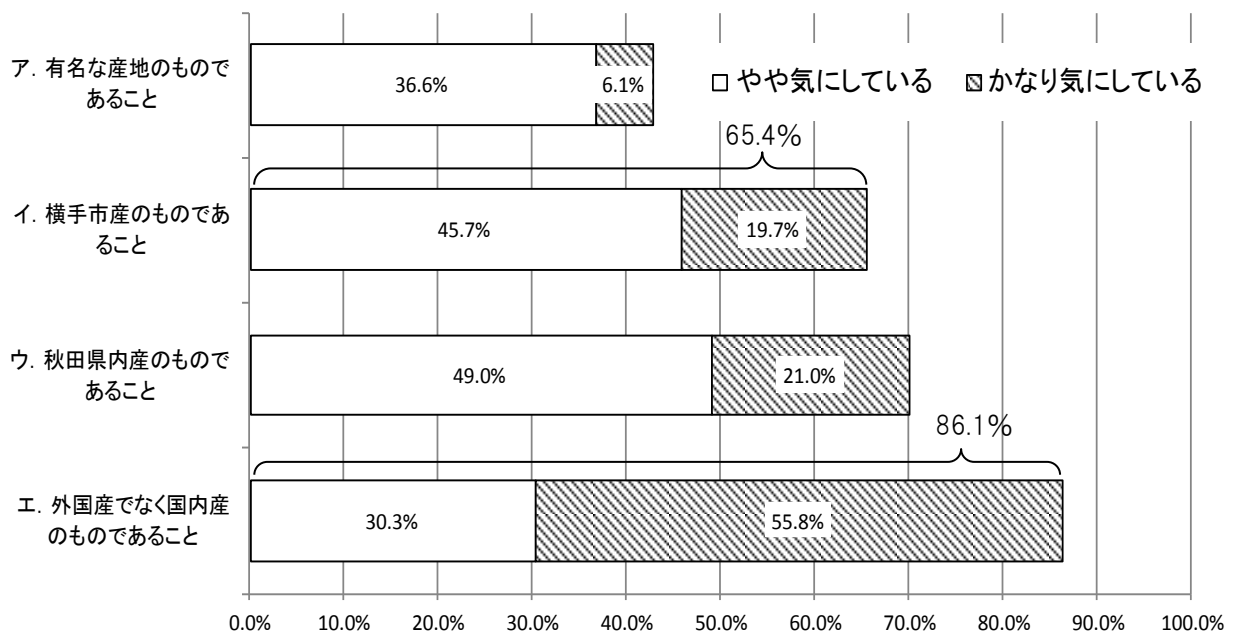
(単位:「人」「%」)

性別	1.スーパーマーケット		2.一般の小売店(八百屋、魚屋)		3.農産物直売所		4.コンビニエンスストア		5.通信販売や宅配サービス		6.自分で生産(栽培)している		7.知人や親戚からもらう		8.その他		母数
男性	461	91.5	12	2.4	170	33.7	16	3.2	10	2.0	173	34.3	173	34.3	5	1.0	504
女性	574	90.7	28	4.4	328	51.8	15	2.4	24	3.8	195	30.8	249	39.3	9	1.4	633
無回答	14	60.9	1	4.3	8	34.8	0	0.0	0	0.0	8	34.8	5	21.7	0	0.0	23
総計	1,049	90.4	41	3.5	506	43.6	31	2.7	34	2.9	376	32.4	427	36.8	14	1.2	1,160
10歳代	13	100.0	0	0.0	2	15.4	0	0.0	0	0.0	1	7.7	4	30.8	0	0.0	13
20歳代	63	100.0	2	3.2	19	30.2	1	1.6	1	1.6	12	19.0	25	39.7	2	3.2	63
30歳代	117	90.0	3	2.3	44	33.8	5	3.8	6	4.6	22	16.9	55	42.3	3	2.3	130
40歳代	169	96.0	1	0.6	67	38.1	6	3.4	4	2.3	55	31.3	88	50.0	1	0.6	176
50歳代	224	92.9	7	2.9	106	44.0	9	3.7	9	3.7	77	32.0	79	32.8	3	1.2	241
60歳代	317	88.8	18	5.0	188	52.7	7	2.0	11	3.1	137	38.4	125	35.0	4	1.1	357
70歳代以上	135	82.8	9	5.5	72	44.2	3	1.8	3	1.8	62	38.0	47	28.8	1	0.6	163
無回答	11	64.7	1	5.9	8	47.1	0	0.0	0	0.0	10	58.8	4	23.5	0	0.0	17
総計	1,049	90.4	41	3.5	506	43.6	31	2.7	34	2.9	376	32.4	427	36.8	14	1.2	1,160
横手	431	92.5	13	2.8	196	42.1	18	3.9	15	3.2	98	21.0	164	35.2	7	1.5	466
増田	82	93.2	3	3.4	47	53.4	3	3.4	4	4.5	35	39.8	37	42.0	2	2.3	88
平鹿	131	91.6	3	2.1	66	46.2	1	0.7	1	0.7	53	37.1	49	34.3	0	0.0	143
雄物川	99	88.4	7	6.3	42	37.5	3	2.7	1	0.9	52	46.4	49	43.8	3	2.7	112
大森	60	83.3	3	4.2	23	31.9	2	2.8	4	5.6	35	48.6	23	31.9	1	1.4	72
十文字	148	91.4	6	3.7	80	49.4	4	2.5	4	2.5	50	30.9	64	39.5	0	0.0	162
山内	42	89.4	4	8.5	23	48.9	0	0.0	2	4.3	22	46.8	12	25.5	1	2.1	47
大雄	43	82.7	0	0.0	21	40.4	0	0.0	3	5.8	25	48.1	26	50.0	0	0.0	52
無回答	13	72.2	2	11.1	8	44.4	0	0.0	0	0.0	6	33.3	3	16.7	0	0.0	18
総計	1,049	90.4	41	3.5	506	43.6	31	2.7	34	2.9	376	32.4	427	36.8	14	1.2	1,160

問12 農産物を購入する際、産地をどの程度気にしていますか。
(○はそれぞれ1つ)

- 全体の86.1%の人が国内産であることを気にして購入している。
- 特に全体の55.8%の人が国内産であることをかなり気にして購入している。
- 全体の65.4%の人が横手市産であることを気にして購入している。

(回答数=1,160)



横手市まちづくりアンケート

【ア. 有名な産地のものであること】

(単位:「人」「%」)

問12 ア (有名な産地)		あまり気にしていない		やや気にしている		かなり気にしている		無回答		総計
性別	男性	266	52.8	168	33.3	31	6.2	39	7.7	504
	女性	308	48.7	252	39.8	37	5.8	36	5.7	633
	無回答	8	34.8	5	21.7	3	13.0	7	30.4	23
総計		582	50.2	425	36.6	71	6.1	82	7.1	1,160
年齢	10歳代	11	84.6	1	7.7	1	7.7		0.0	13
	20歳代	36	57.1	22	34.9	5	7.9		0.0	63
	30歳代	71	54.6	49	37.7	8	6.2	2	1.5	130
	40歳代	98	55.7	70	39.8	5	2.8	3	1.7	176
	50歳代	118	49.0	99	41.1	16	6.6	8	3.3	241
	60歳代	181	50.7	129	36.1	18	5.0	29	8.1	357
	70歳代以上	59	36.2	52	31.9	16	9.8	36	22.1	163
	無回答	8	47.1	3	17.6	2	11.8	4	23.5	17
総計		582	50.2	425	36.6	71	6.1	82	7.1	1,160
地域	横手	230	49.4	178	38.2	29	6.2	29	6.2	466
	増田	44	50.0	33	37.5	7	8.0	4	4.5	88
	平鹿	72	50.3	48	33.6	10	7.0	13	9.1	143
	雄物川	58	51.8	42	37.5	3	2.7	9	8.0	112
	大森	37	51.4	25	34.7	3	4.2	7	9.7	72
	十文字	90	55.6	52	32.1	12	7.4	8	4.9	162
	山内	22	46.8	19	40.4	3	6.4	3	6.4	47
	大雄	22	42.3	23	44.2	2	3.8	5	9.6	52
	無回答	7	38.9	5	27.8	2	11.1	4	22.2	18
総計		582	50.2	425	36.6	71	6.1	82	7.1	1,160

【イ. 横手市産のものであること】

(単位:「人」「%」)

問12 イ (横手市産)		あまり気にしていない		やや気にしている		かなり気にしている		無回答		総計
性別	男性	180	35.7	227	45.0	64	12.7	33	6.5	504
	女性	148	23.4	297	46.9	159	25.1	29	4.6	633
	無回答	6	26.1	6	26.1	6	26.1	5	21.7	23
総計		334	28.8	530	45.7	229	19.7	67	5.8	1,160
年齢	10歳代	5	38.5	7	53.8	1	7.7		0.0	13
	20歳代	38	60.3	19	30.2	6	9.5		0.0	63
	30歳代	58	44.6	54	41.5	16	12.3	2	1.5	130
	40歳代	58	33.0	93	52.8	23	13.1	2	1.1	176
	50歳代	64	26.6	118	49.0	52	21.6	7	2.9	241
	60歳代	77	21.6	170	47.6	88	24.6	22	6.2	357
	70歳代以上	30	18.4	65	39.9	37	22.7	31	19.0	163
	無回答	4	23.5	4	23.5	6	35.3	3	17.6	17
総計		334	28.8	530	45.7	229	19.7	67	5.8	1,160
地域	横手	132	28.3	220	47.2	94	20.2	20	4.3	466
	増田	31	35.2	37	42.0	17	19.3	3	3.4	88
	平鹿	38	26.6	58	40.6	35	24.5	12	8.4	143
	雄物川	36	32.1	55	49.1	13	11.6	8	7.1	112
	大森	21	29.2	30	41.7	14	19.4	7	9.7	72
	十文字	48	29.6	75	46.3	32	19.8	7	4.3	162
	山内	8	17.0	29	61.7	10	21.3		0.0	47
	大雄	17	32.7	21	40.4	9	17.3	5	9.6	52
	無回答	3	16.7	5	27.8	5	27.8	5	27.8	18
総計		334	28.8	530	45.7	229	19.7	67	5.8	1,160

横手市まちづくりアンケート

【ウ. 秋田県内産のものであること】

(単位:「人」「%」)

問12 ウ (県内産)		あまり気にして いない		やや気にして いる		かなり気にし ている		無回答		総計
性別	男性	165	32.7	246	48.8	71	14.1	22	4.4	504
	女性	125	19.7	316	49.9	168	26.5	24	3.8	633
	無回答	5	21.7	6	26.1	5	21.7	7	30.4	23
総計		295	25.4	568	49.0	244	21.0	53	4.6	1,160
年齢	10歳代	5	38.5	7	53.8	1	7.7		0.0	13
	20歳代	31	49.2	26	41.3	6	9.5		0.0	63
	30歳代	54	41.5	53	40.8	21	16.2	2	1.5	130
	40歳代	52	29.5	97	55.1	25	14.2	2	1.1	176
	50歳代	57	23.7	122	50.6	56	23.2	6	2.5	241
	60歳代	70	19.6	181	50.7	90	25.2	16	4.5	357
	70歳代以上	22	13.5	78	47.9	40	24.5	23	14.1	163
	無回答	4	23.5	4	23.5	5	29.4	4	23.5	17
総計		295	25.4	568	49.0	244	21.0	53	4.6	1,160
地域	横手	119	25.5	235	50.4	95	20.4	17	3.6	466
	増田	24	27.3	43	48.9	18	20.5	3	3.4	88
	平鹿	32	22.4	62	43.4	38	26.6	11	7.7	143
	雄物川	36	32.1	53	47.3	21	18.8	2	1.8	112
	大森	18	25.0	35	48.6	14	19.4	5	6.9	72
	十文字	41	25.3	81	50.0	34	21.0	6	3.7	162
	山内	7	14.9	27	57.4	12	25.5	1	2.1	47
	大雄	14	26.9	26	50.0	9	17.3	3	5.8	52
	無回答	4	22.2	6	33.3	3	16.7	5	27.8	18
総計		295	25.4	568	49.0	244	21.0	53	4.6	1,160

【エ. 外国産でなく国内産のものであること】

(単位:「人」「%」)

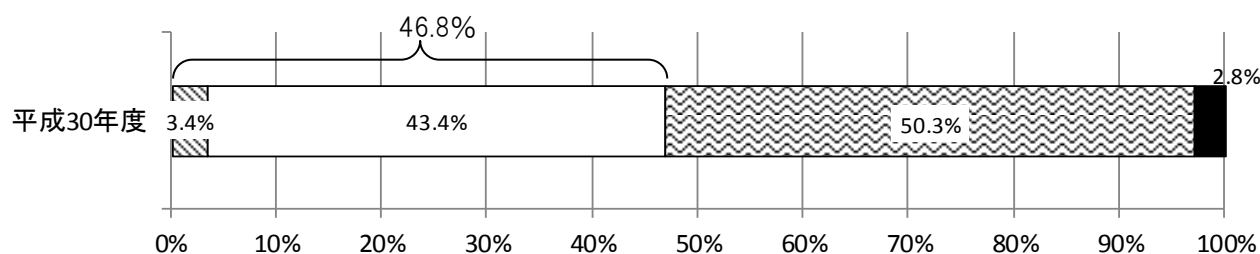
問12 エ (国内産)		あまり気にして いない		やや気にして いる		かなり気にし ている		無回答		総計
性別	男性	56	11.1	162	32.1	257	51.0	29	5.8	504
	女性	47	7.4	184	29.1	380	60.0	22	3.5	633
	無回答	1	4.3	6	26.1	10	43.5	6	26.1	23
総計		104	9.0	352	30.3	647	55.8	57	4.9	1,160
年齢	10歳代	2	15.4	5	38.5	6	46.2		0.0	13
	20歳代	10	15.9	29	46.0	24	38.1		0.0	63
	30歳代	21	16.2	46	35.4	61	46.9	2	1.5	130
	40歳代	18	10.2	46	26.1	110	62.5	2	1.1	176
	50歳代	17	7.1	72	29.9	147	61.0	5	2.1	241
	60歳代	22	6.2	107	30.0	208	58.3	20	5.6	357
	70歳代以上	11	6.7	42	25.8	86	52.8	24	14.7	163
	無回答	3	17.6	5	29.4	5	29.4	4	23.5	17
総計		104	9.0	352	30.3	647	55.8	57	4.9	1,160
地域	横手	38	8.2	145	31.1	267	57.3	16	3.4	466
	増田	8	9.1	29	33.0	48	54.5	3	3.4	88
	平鹿	12	8.4	42	29.4	81	56.6	8	5.6	143
	雄物川	12	10.7	38	33.9	56	50.0	6	5.4	112
	大森	10	13.9	21	29.2	33	45.8	8	11.1	72
	十文字	14	8.6	43	26.5	99	61.1	6	3.7	162
	山内	2	4.3	12	25.5	32	68.1	1	2.1	47
	大雄	7	13.5	17	32.7	24	46.2	4	7.7	52
	無回答	1	5.6	5	27.8	7	38.9	5	27.8	18
総計		104	9.0	352	30.3	647	55.8	57	4.9	1,160

5 農業の振興について

問13 援農に参加したいと思いますか。現在、農業やその他の職業に携わっている方も含めてお答えください。(〇は1つ)

- 全体の46.8%の人が「参加したい」と回答。
- そのほとんどが「2. 条件が合えば参加したい」と選択。
- 「1. ぜひ参加したい」を選択した人は3.4%に留まった。

(回答数=1,160)



□1.ぜひ参加したい □2.条件が合えば参加したい □3.参加したいと思わない ■0.無回答

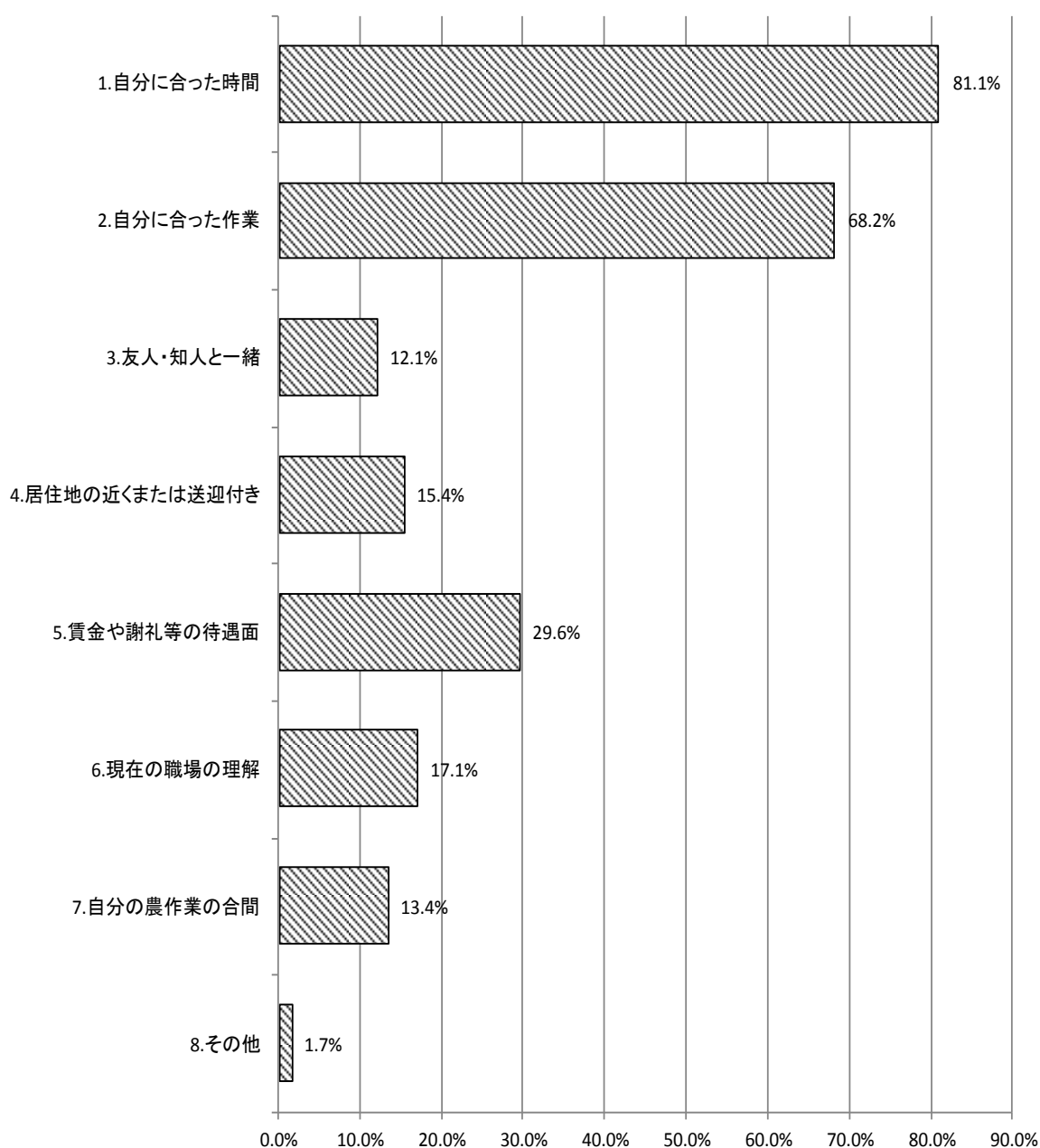
(単位:「人」「%」)

問13		1.ぜひ参加したい		2.条件が合えば参加したい		3.参加したいと思わない		無回答		総計
性別	男性	19	3.8	210	41.7	266	52.8	9	1.8	504
	女性	19	3.0	286	45.2	307	48.5	21	3.3	633
	無回答	2	8.7	8	34.8	10	43.5	3	13.0	23
	総計	40	3.4	504	43.4	583	50.3	33	2.8	1,160
年齢	10歳代		0.0	6	46.2	7	53.8		0.0	13
	20歳代	4	6.3	31	49.2	26	41.3	2	3.2	63
	30歳代	2	1.5	61	46.9	63	48.5	4	3.1	130
	40歳代	5	2.8	96	54.5	75	42.6		0.0	176
	50歳代	9	3.7	107	44.4	121	50.2	4	1.7	241
	60歳代	13	3.6	151	42.3	181	50.7	12	3.4	357
	70歳代以上	5	3.1	44	27.0	106	65.0	8	4.9	163
	無回答	2	11.8	8	47.1	4	23.5	3	17.6	17
総計	40	3.4	504	43.4	583	50.3	33	2.8	1,160	
地域	横手	13	2.8	194	41.6	249	53.4	10	2.1	466
	増田	3	3.4	42	47.7	42	47.7	1	1.1	88
	平鹿	9	6.3	60	42.0	70	49.0	4	2.8	143
	雄物川	4	3.6	53	47.3	53	47.3	2	1.8	112
	大森	3	4.2	32	44.4	34	47.2	3	4.2	72
	十文字	3	1.9	71	43.8	82	50.6	6	3.7	162
	山内	1	2.1	19	40.4	26	55.3	1	2.1	47
	大雄	1	1.9	25	48.1	23	44.2	3	5.8	52
	無回答	3	16.7	8	44.4	4	22.2	3	16.7	18
	総計	40	3.4	504	43.4	583	50.3	33	2.8	1,160

問13-1 参加する条件で重視するものはありますか。(〇は3つまで)

※問13で「1. ぜひ参加したい」または「2. 条件が合えば参加したい」と回答した544人を対象に集計しています。

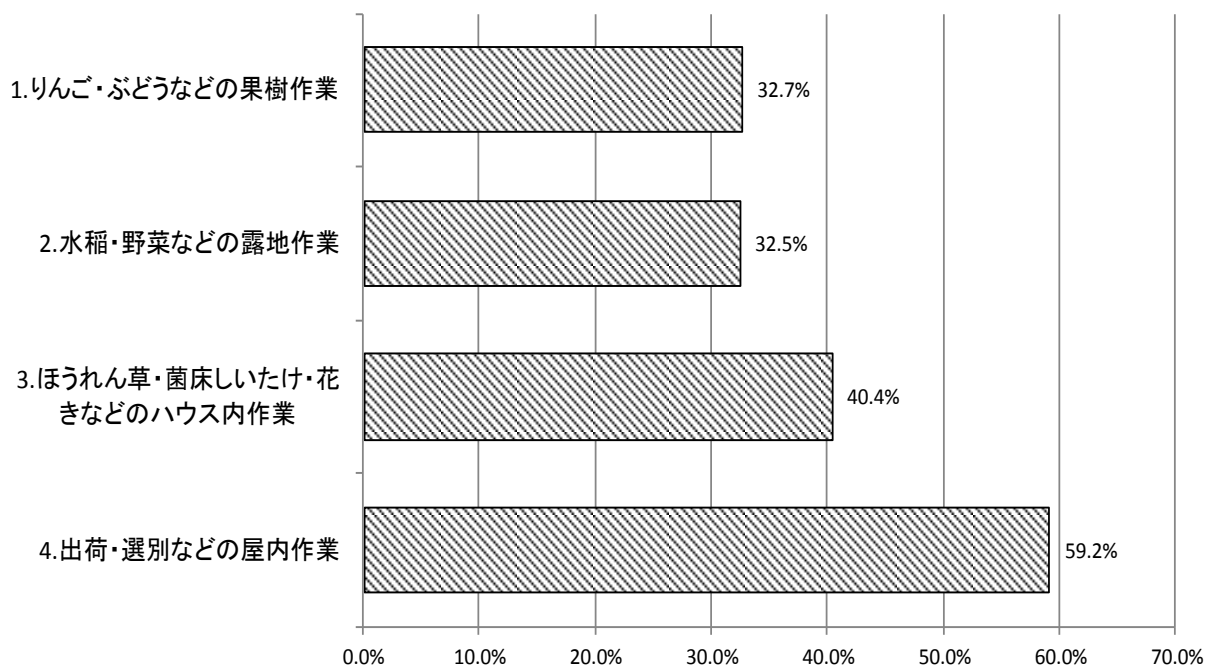
(回答者数=544)



問13-2 興味がある作業の種類は何ですか。(〇はいくつでも)

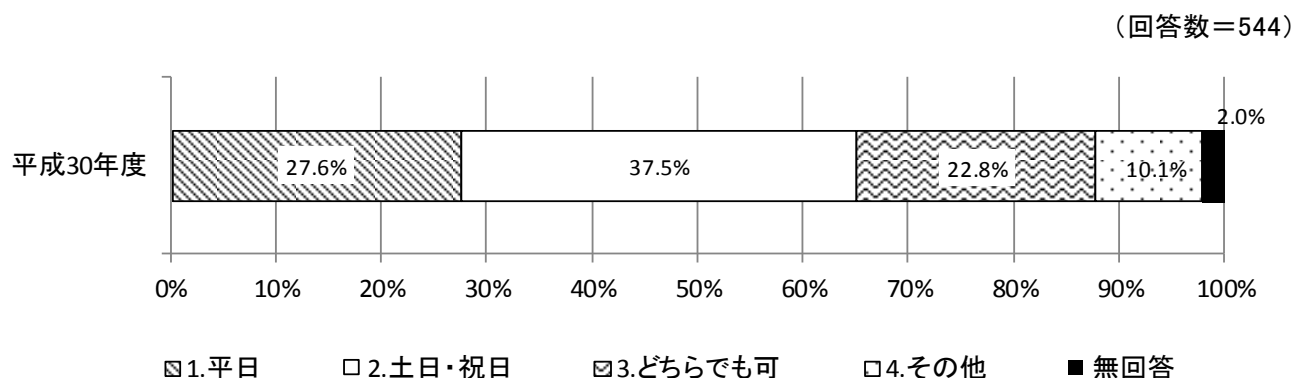
※問13で「1. ぜひ参加したい」または「2. 条件が合えば参加したい」と回答した544人を対象に集計しています。

(回答者数=544)



問13-3 どんなタイミングなら参加可能ですか。(〇は1つ)

※問13で「1. ぜひ参加したい」または「2. 条件が合えば参加したい」と回答した544人を対象に集計しています。

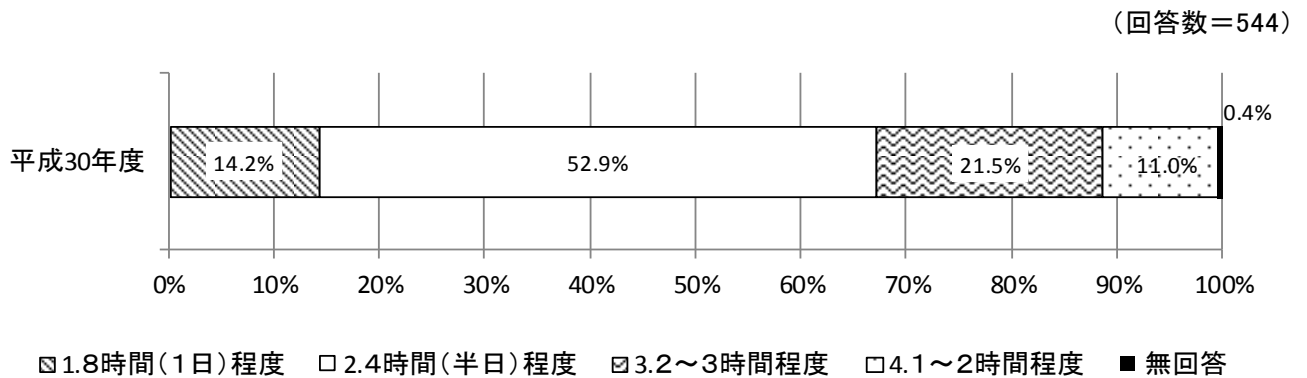


【「4. その他」で記載された回答】

- ・ 仕事が休みの日 / 職場次第 / 職場の理解
- ・ 今の仕事が終わった時 / 現在の仕事にピリオドを打ってから / 退職後
- ・ 現在請け負っている仕事を重ならないければいつでも
- ・ 子育て中のため夫が休日の日
- ・ 参加したいが時間なし
- ・ 子供が登校中
- ・ 介護の無い日
- ・ 自分の空き時間 / 夕方以降 / 前もってわかっている / 暇な時
- ・ 長期休み
- ・ 農閑期 / (自分の) 農作業の合間
- ・ 冬
- ・ 月に2~3回なら
- ・ AM6~PM6までの時間帯で自分が選択できる。例：9~12、14~18の計7時間など

問13-4 1日にどれくらいの時間、作業ができますか。(〇は1つ)

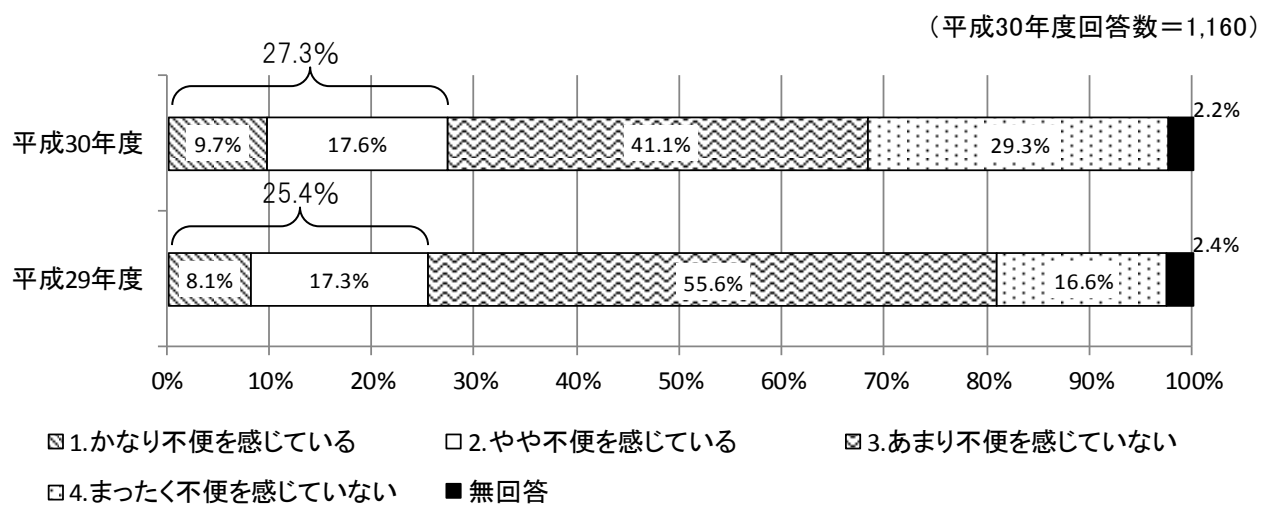
※問13で「1. ぜひ参加したい」または「2. 条件が合えば参加したい」と回答した544人を対象に集計しています。



6 移動・公共交通について

問14 日常生活を送る上で、移動に不便を感じていますか。(〇は1つ)

○ 全体の27.3%が「1. かなり不便を感じている」「2. やや不便を感じている」と回答し、前回調査時よりも1.9%増加。

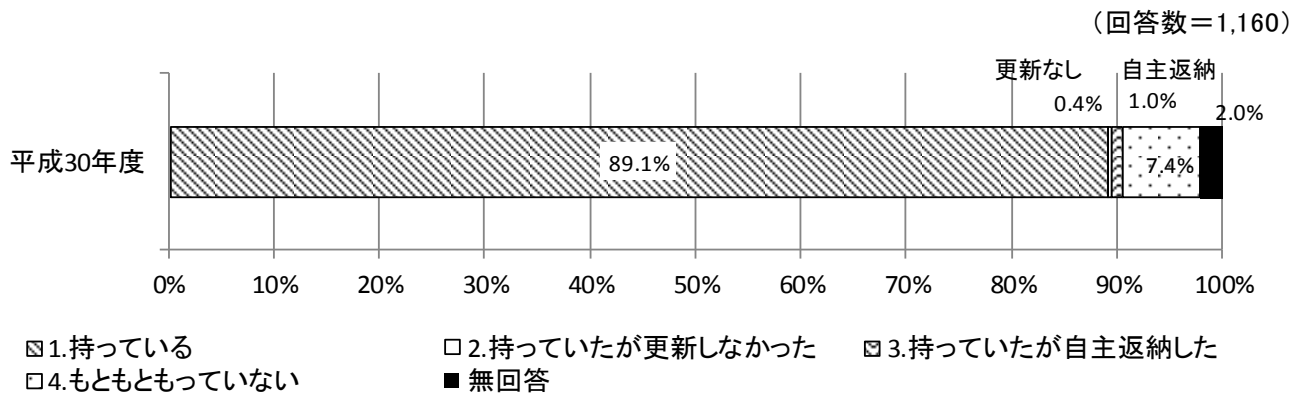


(単位:「人」「%」)

問14		1. かなり不便を感じている		2. やや不便を感じている		3. あまり不便を感じていない		4. まったく不便を感じていない		無回答		総計
性別	男性	52	10.3	74	14.7	222	44.0	146	29.0	10	2.0	504
	女性	58	9.2	126	19.9	249	39.3	189	29.9	11	1.7	633
	無回答	3	13.0	4	17.4	6	26.1	5	21.7	5	21.7	23
	総計	113	9.7	204	17.6	477	41.1	340	29.3	26	2.2	1,160
年齢	10歳代	5	38.5	5	38.5	3	23.1		0.0		0.0	13
	20歳代	7	11.1	11	17.5	26	41.3	18	28.6	1	1.6	63
	30歳代	10	7.7	22	16.9	65	50.0	32	24.6	1	0.8	130
	40歳代	16	9.1	30	17.0	84	47.7	46	26.1		0.0	176
	50歳代	19	7.9	42	17.4	97	40.2	82	34.0	1	0.4	241
	60歳代	29	8.1	55	15.4	139	38.9	120	33.6	14	3.9	357
	70歳代以上	25	15.3	37	22.7	57	35.0	39	23.9	5	3.1	163
	無回答	2	11.8	2	11.8	6	35.3	3	17.6	4	23.5	17
総計	113	9.7	204	17.6	477	41.1	340	29.3	26	2.2	1,160	
地域	横手	50	10.7	85	18.2	196	42.1	127	27.3	8	1.7	466
	増田	8	9.1	17	19.3	36	40.9	26	29.5	1	1.1	88
	平鹿	10	7.0	27	18.9	53	37.1	50	35.0	3	2.1	143
	雄物川	14	12.5	16	14.3	48	42.9	34	30.4		0.0	112
	大森	4	5.6	14	19.4	29	40.3	24	33.3	1	1.4	72
	十文字	11	6.8	23	14.2	69	42.6	54	33.3	5	3.1	162
	山内	8	17.0	9	19.1	21	44.7	8	17.0	1	2.1	47
	大雄	4	7.7	10	19.2	23	44.2	13	25.0	2	3.8	52
	無回答	4	22.2	3	16.7	2	11.1	4	22.2	5	27.8	18
	総計	113	9.7	204	17.6	477	41.1	340	29.3	26	2.2	1,160

問15 自動車の運転免許を持っていますか。(〇は1つ)

- 全体の89.1%が「1. 持っている」と回答。
- 70歳代以上でも67.5%が「1. 持っている」と回答。



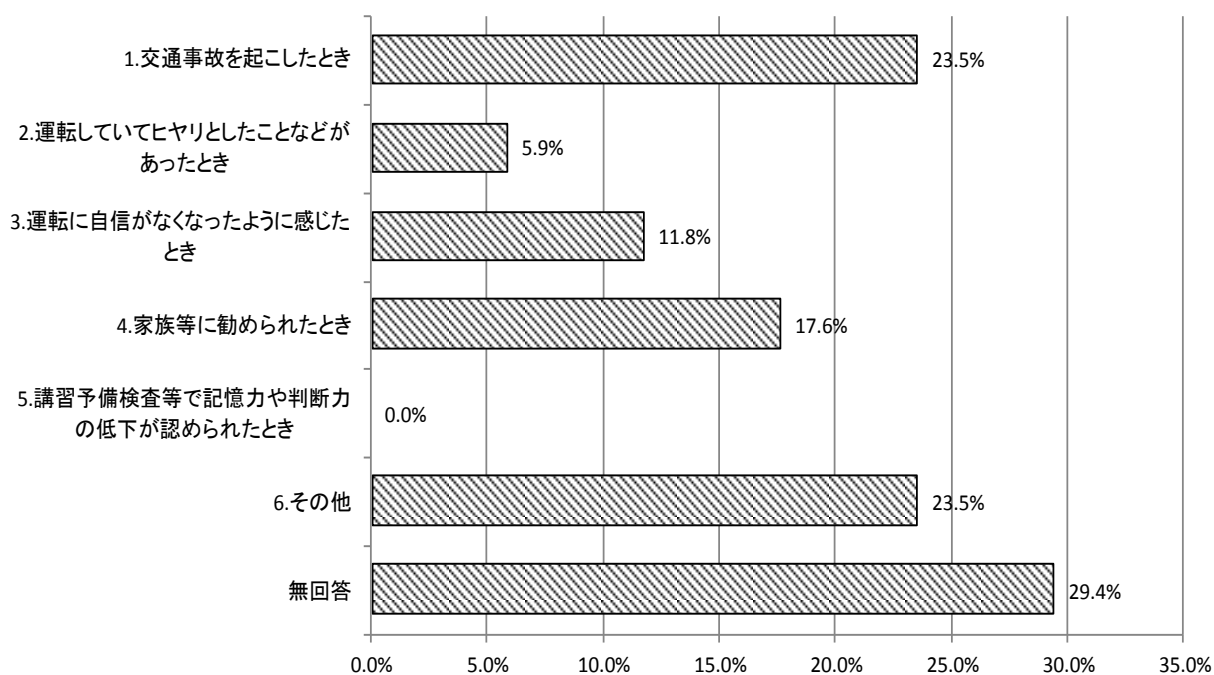
(単位:「人」「%」)

問15		1. 持っている		2. 持っていたが更新しなかった		3. 持っていたが自主返納した		4. もともと持っていない		無回答		総計
性別	男性	477	94.6	1	0.2	4	0.8	16	3.2	6	1.2	504
	女性	542	85.6	3	0.5	8	1.3	67	10.6	13	2.1	633
	無回答	15	65.2	1	4.3		0.0	3	13.0	4	17.4	23
	総計	1,034	89.1	5	0.4	12	1.0	86	7.4	23	2.0	1,160
年齢	10歳代	8	61.5		0.0		0.0	5	38.5		0.0	13
	20歳代	57	90.5		0.0		0.0	5	7.9	1	1.6	63
	30歳代	126	96.9		0.0		0.0	2	1.5	2	1.5	130
	40歳代	172	97.7		0.0		0.0	2	1.1	2	1.1	176
	50歳代	230	95.4	1	0.4	1	0.4	6	2.5	3	1.2	241
	60歳代	319	89.4	3	0.8	4	1.1	24	6.7	7	2.0	357
	70歳代以上	110	67.5		0.0	7	4.3	42	25.8	4	2.5	163
	無回答	12	70.6	1	5.9		0.0		0.0	4	23.5	17
総計	1,034	89.1	5	0.4	12	1.0	86	7.4	23	2.0	1,160	
地域	横手	414	88.8	1	0.2	5	1.1	38	8.2	8	1.7	466
	増田	77	87.5		0.0		0.0	10	11.4	1	1.1	88
	平鹿	129	90.2		0.0	2	1.4	9	6.3	3	2.1	143
	雄物川	100	89.3	1	0.9	2	1.8	7	6.3	2	1.8	112
	大森	67	93.1	1	1.4		0.0	4	5.6		0.0	72
	十文字	147	90.7	1	0.6	2	1.2	8	4.9	4	2.5	162
	山内	41	87.2		0.0		0.0	5	10.6	1	2.1	47
	大雄	48	92.3		0.0	1	1.9	3	5.8		0.0	52
	無回答	11	61.1	1	5.6		0.0	2	11.1	4	22.2	18
	総計	1,034	89.1	5	0.4	12	1.0	86	7.4	23	2.0	1,160

問15-1 「免許の更新をやめよう」または「自主返納しよう」と思ったのはどんなときですか。(〇はいくつでも)

※問15で「2. 持っていたが更新しなかった」または「3. 持っていたが自主返納した」と回答した17人を対象に集計しています。

(回答者数=17)



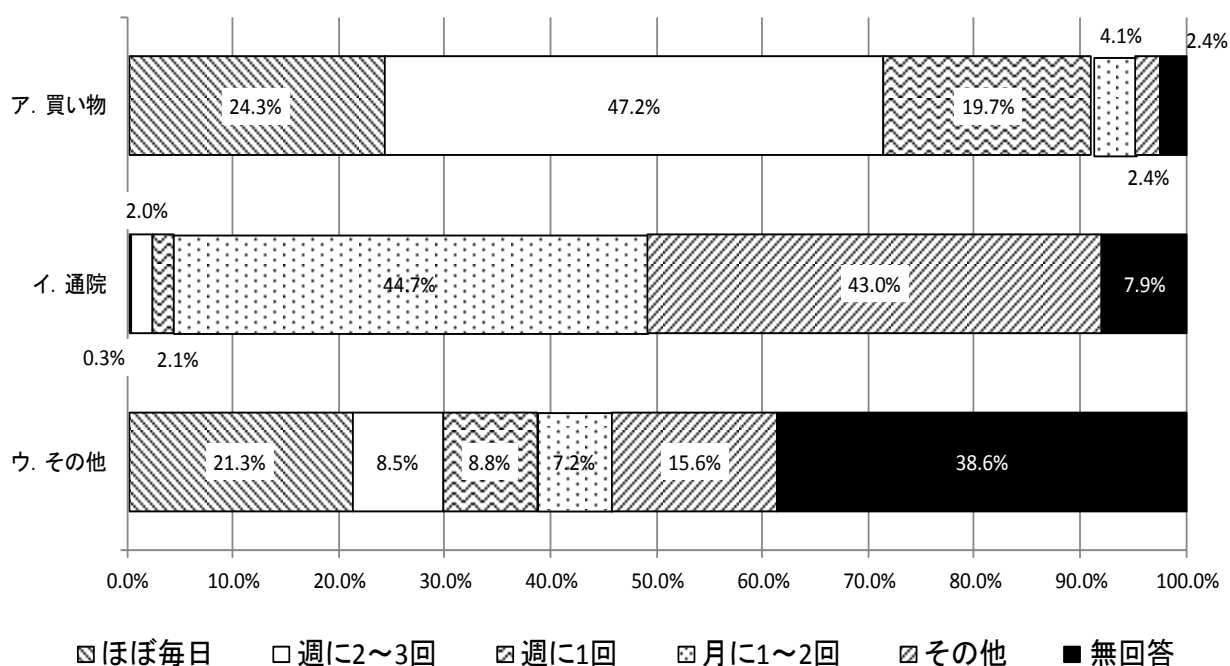
【「4. その他」で記載された回答】

・身体障がい者のため

問16 買い物や通院等にどのくらいの頻度で外出しますか。近いものを数字で選んでください。外出先までの距離や交通手段は問いません。(〇はそれぞれ1つ)

- 買い物で最も多いのは「週に2～3回」。
- 通院で最も多いのは「月に1～2回」。

(回答数=1,160)



【「買い物」の留意点】

- ・「その他」が43.0%と多くなっているのは、通院していない人や数か月に1回程度通院する人などが選択したため。
- ・通院していない人の一部が、選択肢がないとして無回答となったと考えられる。

【「その他」の留意点】

- ・無回答が38.6%と最も多くなった。「その他」という選択肢が抽象的でイメージしにくく、無回答となったものと推測される。
- ・今後、同様の設問をする場合は、「その他」という表現を、より正確に「買い物や通院以外（仕事や旅行、近所へのお出かけ等も含む）」などと記載する。

横手市まちづくりアンケート

【ア. 買い物】

(単位:「人」「%」)

問16ア (買い物)		ほぼ毎日		週に2~3回		週に1回		月に1~2回		その他		無回答		総計
性別	男性	99	19.6	211	41.9	134	26.6	33	6.5	19	3.8	8	1.6	504
	女性	180	28.4	328	51.8	87	13.7	12	1.9	9	1.4	17	2.7	633
	無回答	3	13.0	8	34.8	7	30.4	2	8.7	0.0	0.0	3	13.0	23
総計		282	24.3	547	47.2	228	19.7	47	4.1	28	2.4	28	2.4	1,160
年齢	10歳代	1	7.7	6	46.2	4	30.8	1	7.7	1	7.7		0.0	13
	20歳代	8	12.7	29	46.0	18	28.6	4	6.3	3	4.8	1	1.6	63
	30歳代	29	22.3	67	51.5	25	19.2	5	3.8	2	1.5	2	1.5	130
	40歳代	52	29.5	87	49.4	30	17.0	6	3.4	1	0.6		0.0	176
	50歳代	69	28.6	111	46.1	44	18.3	6	2.5	9	3.7	2	0.8	241
	60歳代	85	23.8	168	47.1	67	18.8	18	5.0	7	2.0	12	3.4	357
	70歳代以上	36	22.1	72	44.2	36	22.1	6	3.7	5	3.1	8	4.9	163
	無回答	2	11.8	7	41.2	4	23.5	1	5.9		0.0	3	17.6	17
総計		282	24.3	547	47.2	228	19.7	47	4.1	28	2.4	28	2.4	1,160
地域	横手	137	29.4	195	41.8	92	19.7	20	4.3	13	2.8	9	1.9	466
	増田	11	12.5	54	61.4	16	18.2	3	3.4	3	3.4	1	1.1	88
	平鹿	32	22.4	79	55.2	20	14.0	5	3.5	2	1.4	5	3.5	143
	雄物川	30	26.8	54	48.2	17	15.2	6	5.4	2	1.8	3	2.7	112
	大森	18	25.0	31	43.1	17	23.6	4	5.6	1	1.4	1	1.4	72
	十文字	40	24.7	79	48.8	34	21.0	2	1.2	3	1.9	4	2.5	162
	山内	6	12.8	26	55.3	11	23.4	2	4.3	1	2.1	1	2.1	47
	大雄	6	11.5	23	44.2	16	30.8	4	7.7	2	3.8	1	1.9	52
	無回答	2	11.1	6	33.3	5	27.8	1	5.6	1	5.6	3	16.7	18
総計		282	24.3	547	47.2	228	19.7	47	4.1	28	2.4	28	2.4	1,160

(参考1) 移動に不便を感じているかどうかによる買い物頻度【問14とのクロス】

	ほぼ毎日	週に2~3回	週に1回	月に1~2回	その他
感じていない	27.9%	46.6%	19.5%	3.8%	2.1%
感じている	17.3%	53.4%	21.4%	4.8%	3.2%

(参考2) 運転免許の有無による買い物の頻度【問15とのクロス】

⇒ 免許の有無で「ほぼ毎日」と回答する人の割合に約2倍の違いがある。

	ほぼ毎日	週に2~3回	週に1回	月に1~2回	その他
免許あり	26.0%	48.8%	19.1%	3.8%	2.2%
免許なし	14.0%	45.2%	33.3%	7.5%	5.4%

横手市まちづくりアンケート

【イ. 通院】

(単位:「人」「%」)

問16 イ (通院)		ほぼ毎日		週に2~3回		週に1回		月に1~2回		その他		無回答		総計	
性別	男性		0.0	11	2.2	10	2.0	218	43.3	230	45.6	35	6.9	504	
	女性	3	0.5	12	1.9	14	2.2	288	45.5	264	41.7	52	8.2	633	
	無回答		0.0		0.0		0.0	13	56.5	5	21.7	5	21.7	23	
	総計	3	0.3	23	2.0	24	2.1	519	44.7	499	43.0	92	7.9	1,160	
年齢	10歳代		0.0		0.0		0.0	1	7.7	12	92.3		0.0	13	
	20歳代		0.0		0.0	4	6.3	19	30.2	38	60.3	2	3.2	63	
	30歳代	1	0.8	3	2.3	3	2.3	64	49.2	54	41.5	5	3.8	130	
	40歳代		0.0	2	1.1	1	0.6	59	33.5	112	63.6	2	1.1	176	
	50歳代	1	0.4	2	0.8	5	2.1	103	42.7	115	47.7	15	6.2	241	
	60歳代		0.0	9	2.5	6	1.7	181	50.7	125	35.0	36	10.1	357	
	70歳代以上	1	0.6	7	4.3	5	3.1	85	52.1	37	22.7	28	17.2	163	
	無回答		0.0		0.0		0.0	7	41.2	6	35.3	4	23.5	17	
総計	3	0.3	23	2.0	24	2.1	519	44.7	499	43.0	92	7.9	1,160		
地域	横手	1	0.2	8	1.7	8	1.7	198	42.5	216	46.4	35	7.5	466	
	増田	2	2.3	1	1.1	2	2.3	41	46.6	39	44.3	3	3.4	88	
	平鹿		0.0	7	4.9		0.0	72	50.3	52	36.4	12	8.4	143	
	雄物川		0.0	2	1.8	6	5.4	56	50.0	43	38.4	5	4.5	112	
	大森		0.0		0.0	1	1.4	26	36.1	36	50.0	9	12.5	72	
	十文字		0.0	2	1.2	1	0.6	75	46.3	73	45.1	11	6.8	162	
	山内		0.0	1	2.1	3	6.4	21	44.7	16	34.0	6	12.8	47	
	大雄		0.0	2	3.8	2	3.8	25	48.1	17	32.7	6	11.5	52	
	無回答		0.0		0.0		1	5.6	5	27.8	7	38.9	5	27.8	18
	総計	3	0.3	23	2.0	24	2.1	519	44.7	499	43.0	92	7.9	1,160	

【ウ. その他】

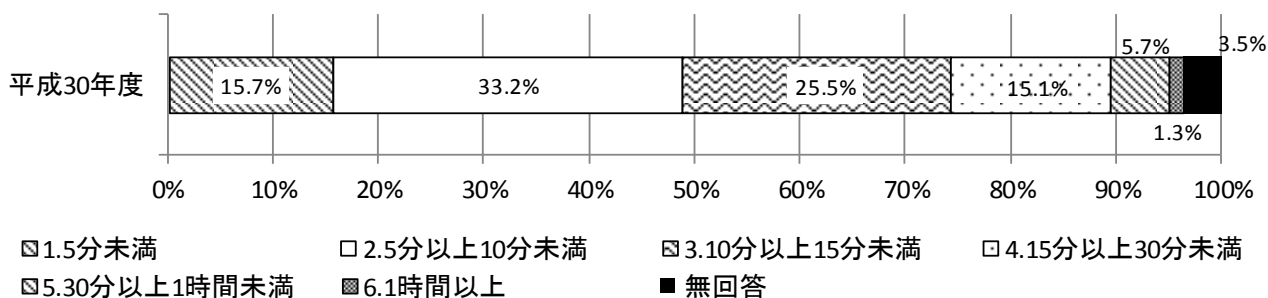
(単位:「人」「%」)

問16 ウ (その他)		ほぼ毎日		週に2~3回		週に1回		月に1~2回		その他		無回答		総計
性別	男性	108	21.4	39	7.7	44	8.7	42	8.3	100	19.8	171	33.9	504
	女性	138	21.8	57	9.0	57	9.0	39	6.2	79	12.5	263	41.5	633
	無回答	1	4.3	3	13.0	1	4.3	2	8.7	2	8.7	14	60.9	23
	総計	247	21.3	99	8.5	102	8.8	83	7.2	181	15.6	448	38.6	1,160
年齢	10歳代	3	23.1	1	7.7		0.0	1	7.7	6	46.2	2	15.4	13
	20歳代	14	22.2	5	7.9	3	4.8	5	7.9	19	30.2	17	27.0	63
	30歳代	44	33.8	9	6.9	17	13.1	7	5.4	21	16.2	32	24.6	130
	40歳代	68	38.6	18	10.2	14	8.0	8	4.5	30	17.0	38	21.6	176
	50歳代	61	25.3	19	7.9	21	8.7	18	7.5	42	17.4	80	33.2	241
	60歳代	48	13.4	31	8.7	34	9.5	28	7.8	47	13.2	169	47.3	357
	70歳代以上	9	5.5	13	8.0	12	7.4	14	8.6	16	9.8	99	60.7	163
	無回答		0.0	3	17.6	1	5.9	2	11.8		0.0	11	64.7	17
総計	247	21.3	99	8.5	102	8.8	83	7.2	181	15.6	448	38.6	1,160	
地域	横手	113	24.2	37	7.9	44	9.4	39	8.4	69	14.8	164	35.2	466
	増田	18	20.5	8	9.1	6	6.8	6	6.8	15	17.0	35	39.8	88
	平鹿	30	21.0	17	11.9	13	9.1	11	7.7	26	18.2	46	32.2	143
	雄物川	22	19.6	12	10.7	5	4.5	5	4.5	16	14.3	52	46.4	112
	大森	10	13.9	6	8.3	6	8.3	5	6.9	10	13.9	35	48.6	72
	十文字	32	19.8	13	8.0	19	11.7	9	5.6	34	21.0	55	34.0	162
	山内	12	25.5	3	6.4	4	8.5	2	4.3	3	6.4	23	48.9	47
	大雄	9	17.3	2	3.8	5	9.6	3	5.8	7	13.5	26	50.0	52
	無回答	1	5.6	1	5.6		0.0	3	16.7	1	5.6	12	66.7	18
	総計	247	21.3	99	8.5	102	8.8	83	7.2	181	15.6	448	38.6	1,160

問17 自宅から駅やバス停、または目的地まで歩く場合、どの程度の時間なら許容できますか。(〇は1つ)

- 最も多いのは「5分以上10分未満」。
- 地域別では、山内地域が最も許容できる時間が短い。

(回答数=1,160)

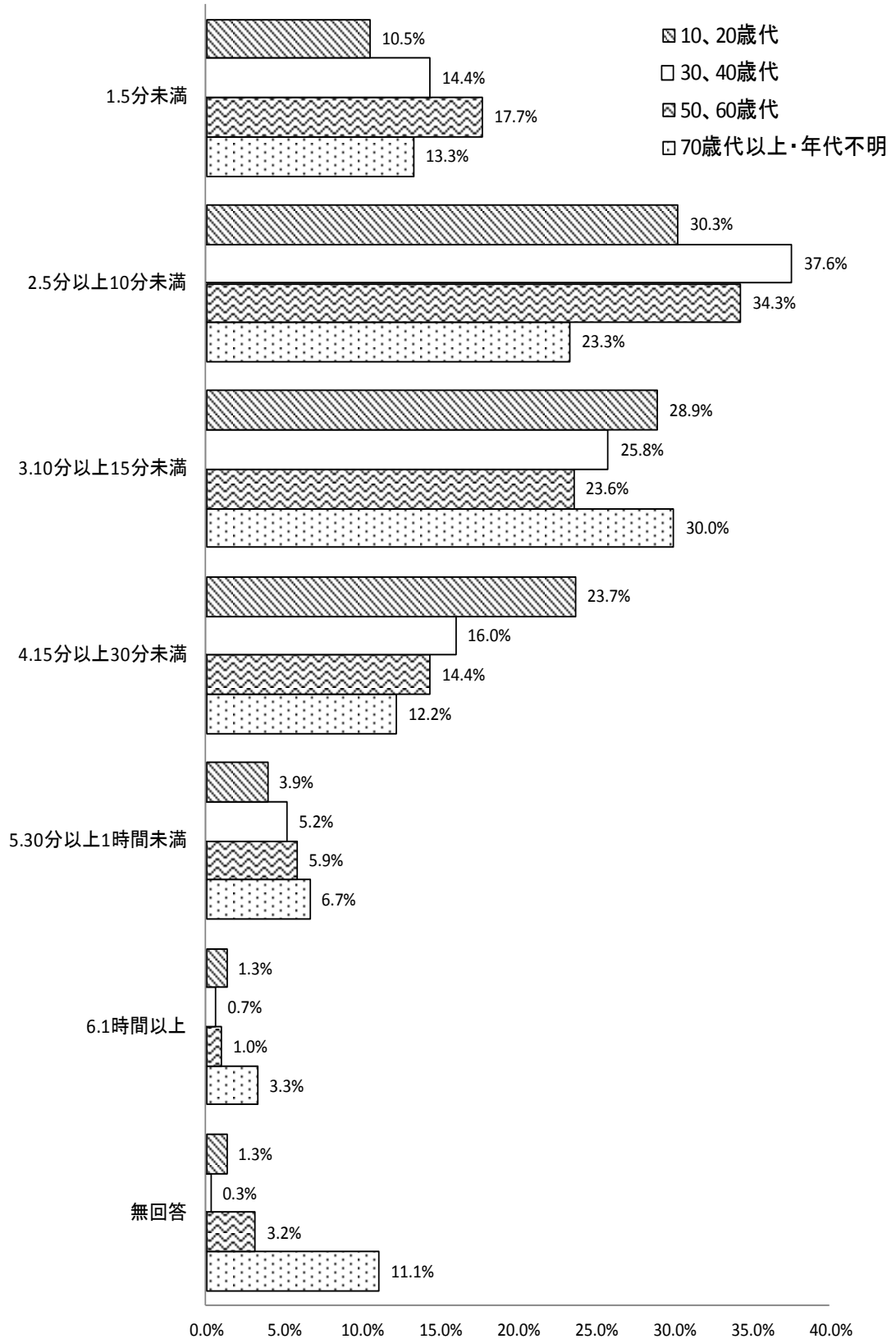


(単位:「人」「%」)

問17		1.5分未満	2.5分以上10分未満	3.10分以上15分未満	4.15分以上30分未満	5.30分以上1時間未満	6.1時間以上	無回答	総計							
性別	男性	90	17.9	159	31.5	127	25.2	77	15.3	30	6.0	6	1.2	15	3.0	504
	女性	88	13.9	219	34.6	165	26.1	96	15.2	35	5.5	9	1.4	21	3.3	633
	無回答	4	17.4	7	30.4	4	17.4	2	8.7	1	4.3		0.0	5	21.7	23
総計		182	15.7	385	33.2	296	25.5	175	15.1	66	5.7	15	1.3	41	3.5	1,160
年齢	10歳代		0.0	6	46.2	4	30.8	2	15.4	1	7.7		0.0		0.0	13
	20歳代	8	12.7	17	27.0	18	28.6	16	25.4	2	3.2	1	1.6	1	1.6	63
	30歳代	20	15.4	46	35.4	32	24.6	22	16.9	7	5.4	2	1.5	1	0.8	130
	40歳代	24	13.6	69	39.2	47	26.7	27	15.3	9	5.1		0.0		0.0	176
	50歳代	38	15.8	83	34.4	62	25.7	37	15.4	14	5.8		0.0	7	2.9	241
	60歳代	68	19.0	122	34.2	79	22.1	49	13.7	21	5.9	6	1.7	12	3.4	357
	70歳代以上	21	12.9	36	22.1	50	30.7	22	13.5	12	7.4	6	3.7	16	9.8	163
	無回答	3	17.6	6	35.3	4	23.5		0.0		0.0		0.0	4	23.5	17
総計		182	15.7	385	33.2	296	25.5	175	15.1	66	5.7	15	1.3	41	3.5	1,160
地域	横手	64	13.7	142	30.5	132	28.3	77	16.5	30	6.4	7	1.5	14	3.0	466
	増田	11	12.5	30	34.1	22	25.0	16	18.2	5	5.7	1	1.1	3	3.4	88
	平鹿	21	14.7	58	40.6	36	25.2	19	13.3	3	2.1	2	1.4	4	2.8	143
	雄物川	21	18.8	34	30.4	26	23.2	16	14.3	10	8.9	3	2.7	2	1.8	112
	大森	19	26.4	16	22.2	16	22.2	13	18.1	4	5.6	1	1.4	3	4.2	72
	十文字	20	12.3	60	37.0	44	27.2	24	14.8	7	4.3	1	0.6	6	3.7	162
	山内	13	27.7	20	42.6	5	10.6	4	8.5	3	6.4		0.0	2	4.3	47
	大雄	8	15.4	19	36.5	12	23.1	5	9.6	4	7.7		0.0	4	7.7	52
	無回答	5	27.8	6	33.3	3	16.7	1	5.6		0.0		0.0	3	16.7	18
総計		182	15.7	385	33.2	296	25.5	175	15.1	66	5.7	15	1.3	41	3.5	1,160

【年代別の結果】

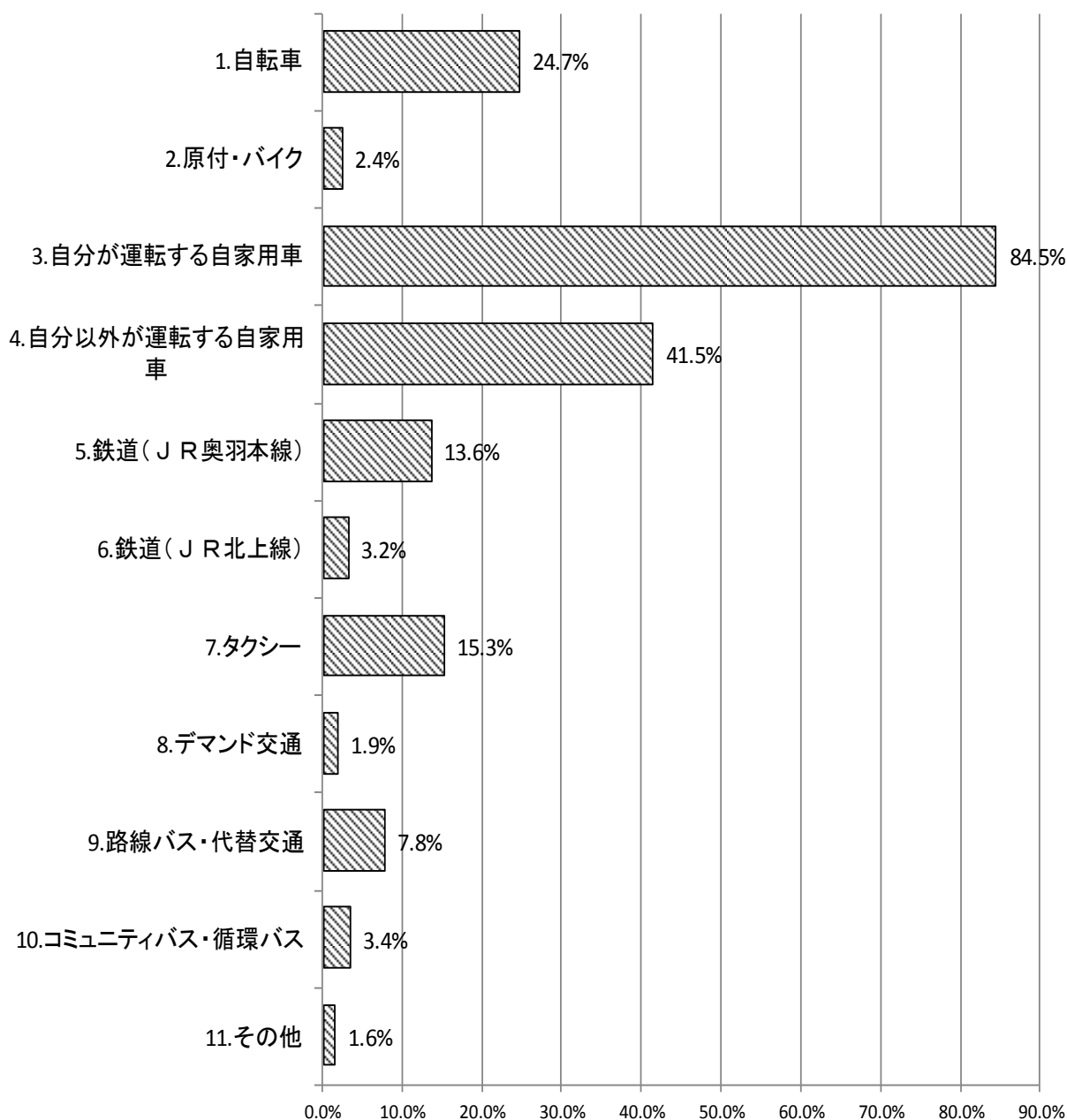
(回答数=1,160)



問18 ここ1年間、市内の移動で利用した交通手段（徒歩を除く）について、あてはまるものをすべて選んでください。頻度は問いません。（〇はいくつでも）

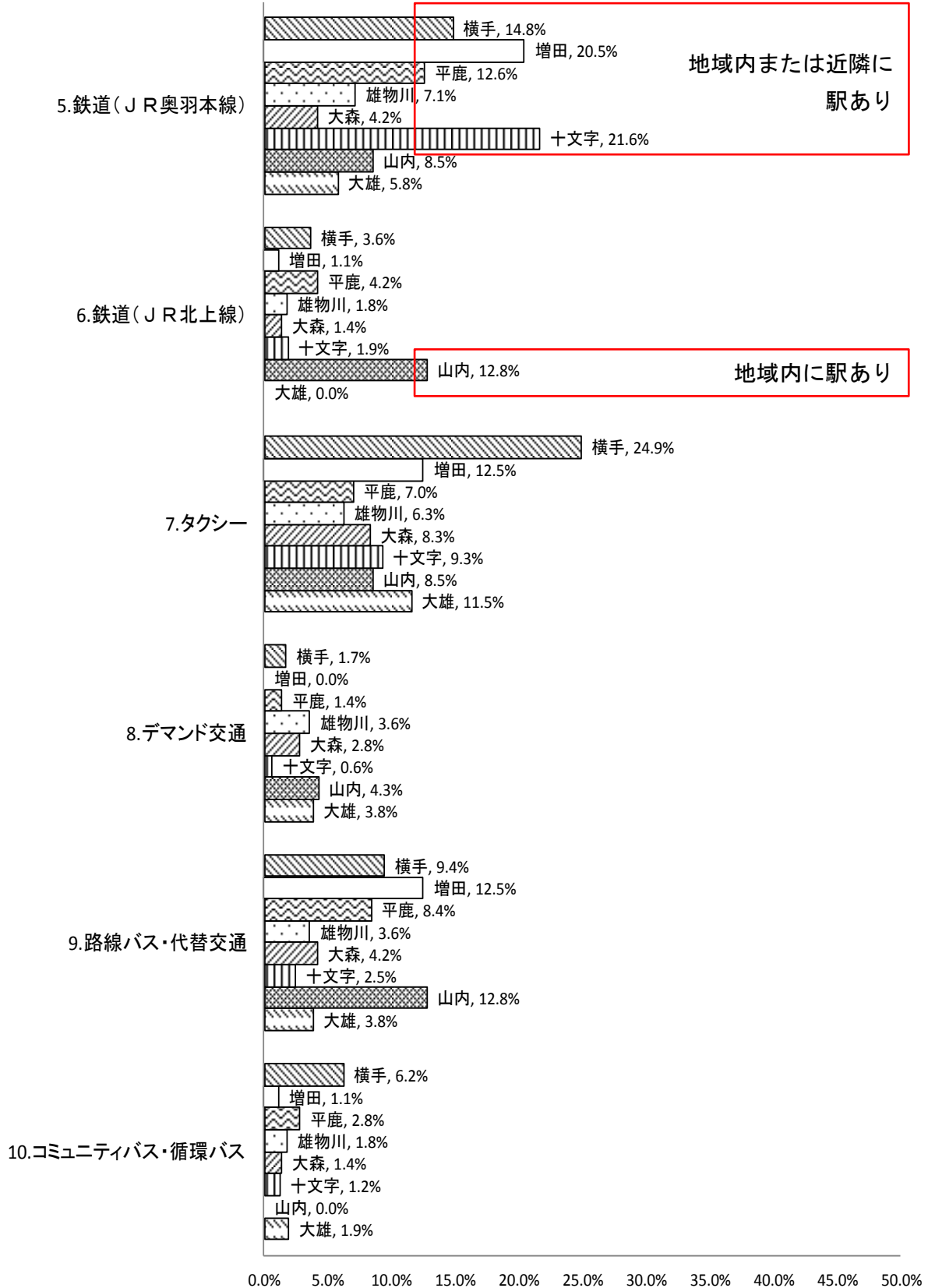
- やはり圧倒的に多いのが「3. 自分が運転する自家用車」で84.5%。
- 「7. タクシー」が「9. 路線バス・代替交通」の約2倍の15.3%。

(回答数=1,160)



【公共交通に関する地域別の結果】

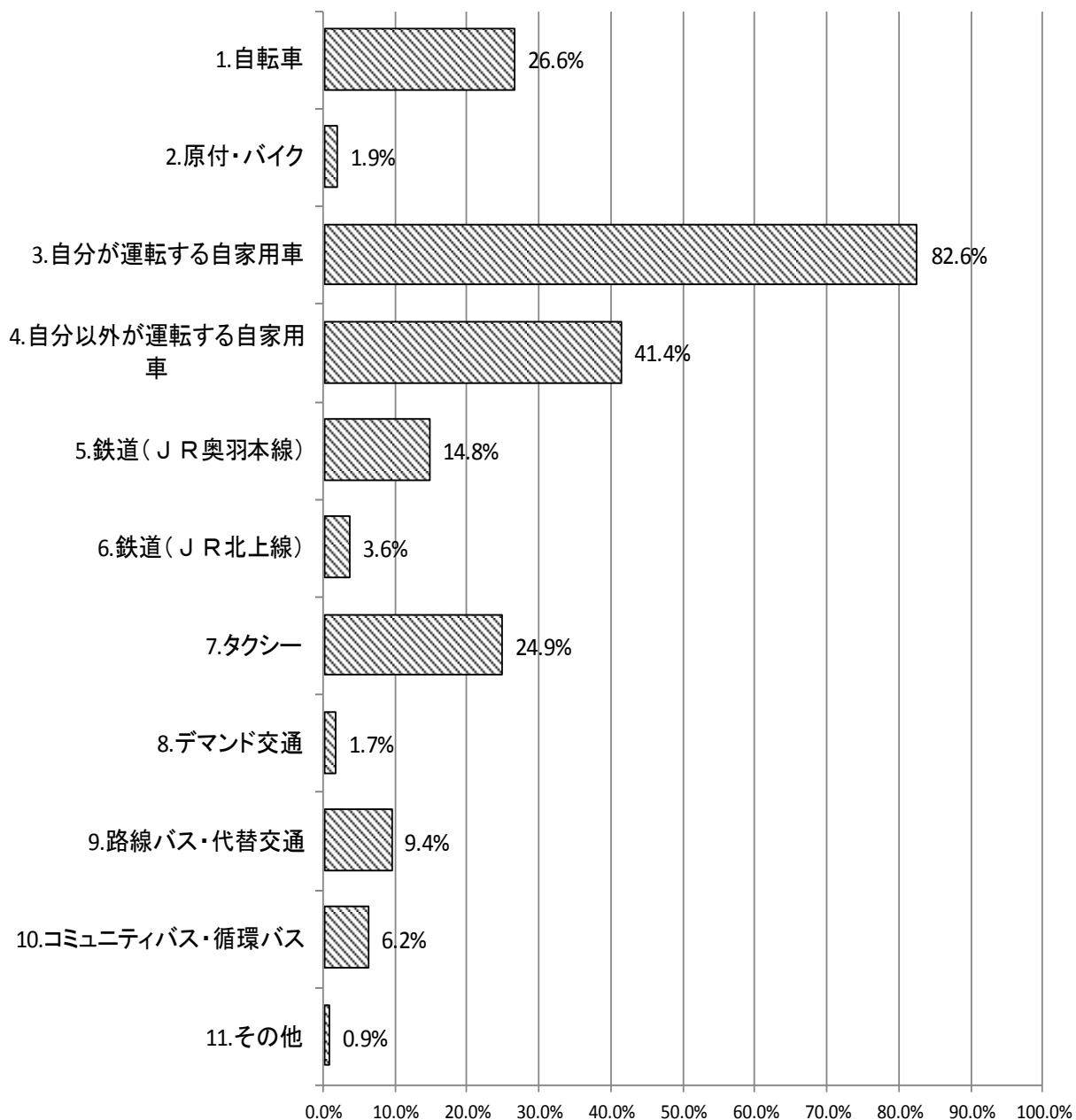
(回答数=1,142、地域不明18を除く)



【横手地域の利用状況】

(回答数=466)

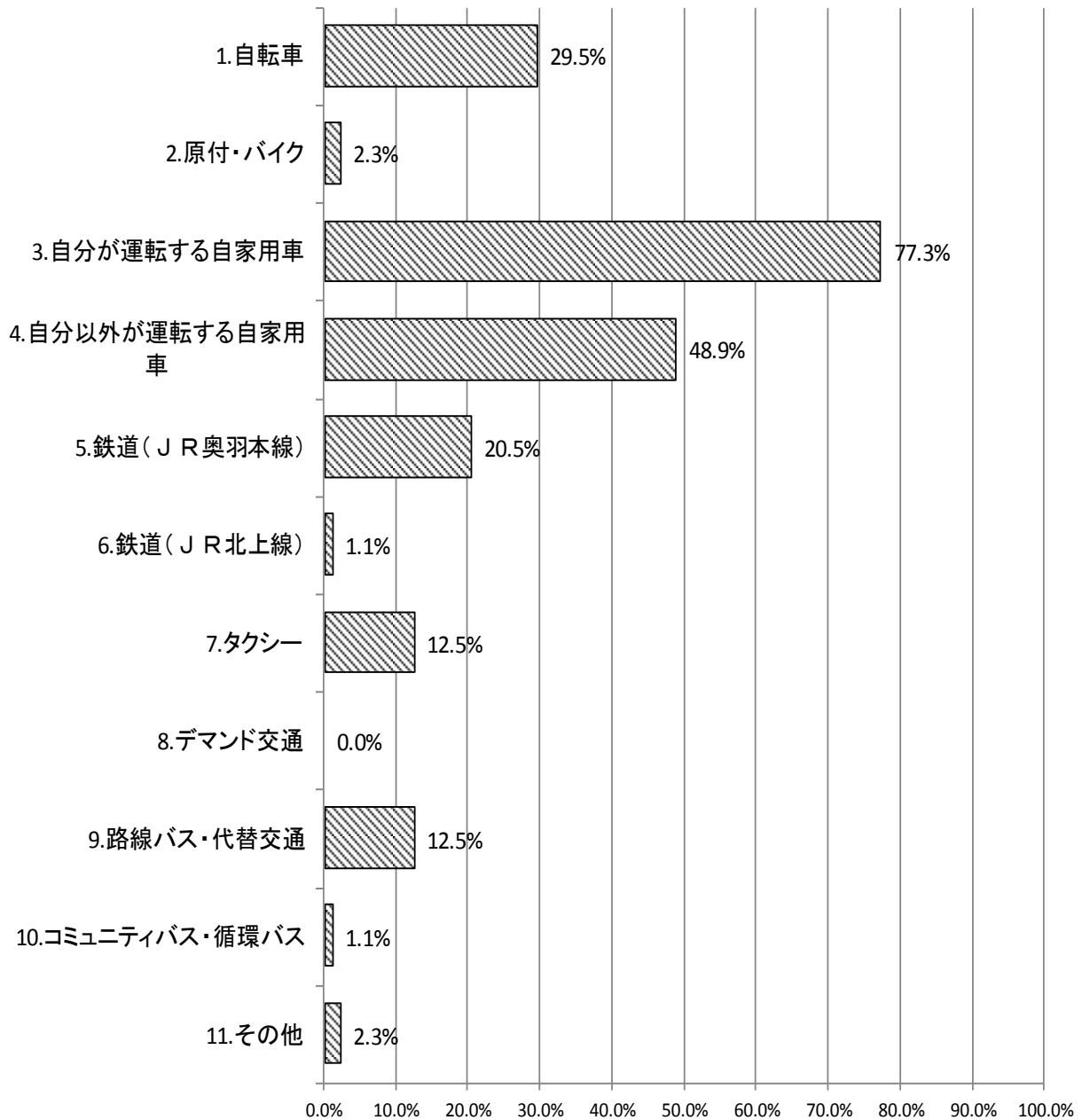
(横手地域)



【増田地域の利用状況】

(回答数=88)

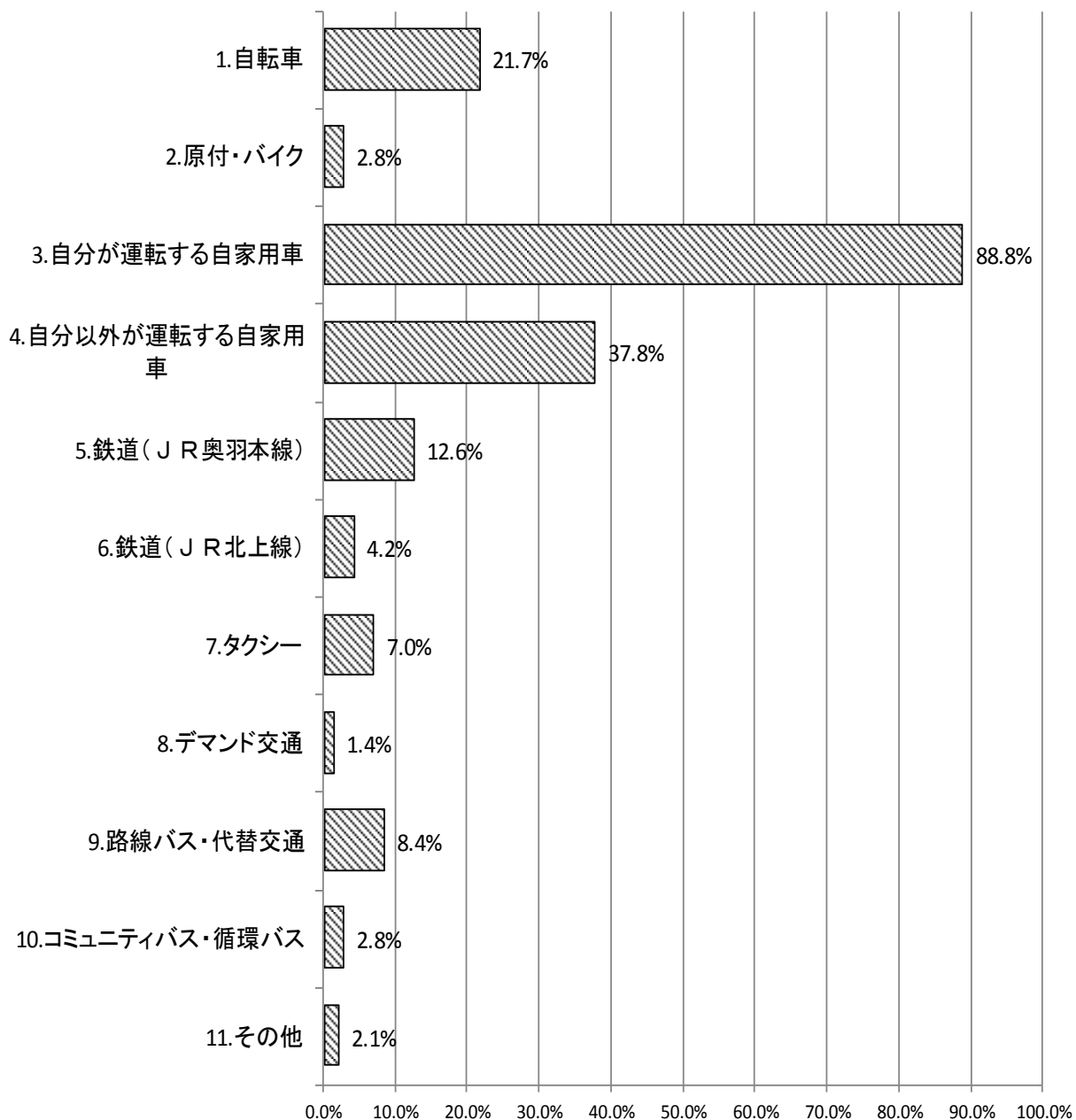
(増田地域)



【平鹿地域の利用状況】

(回答数=143)

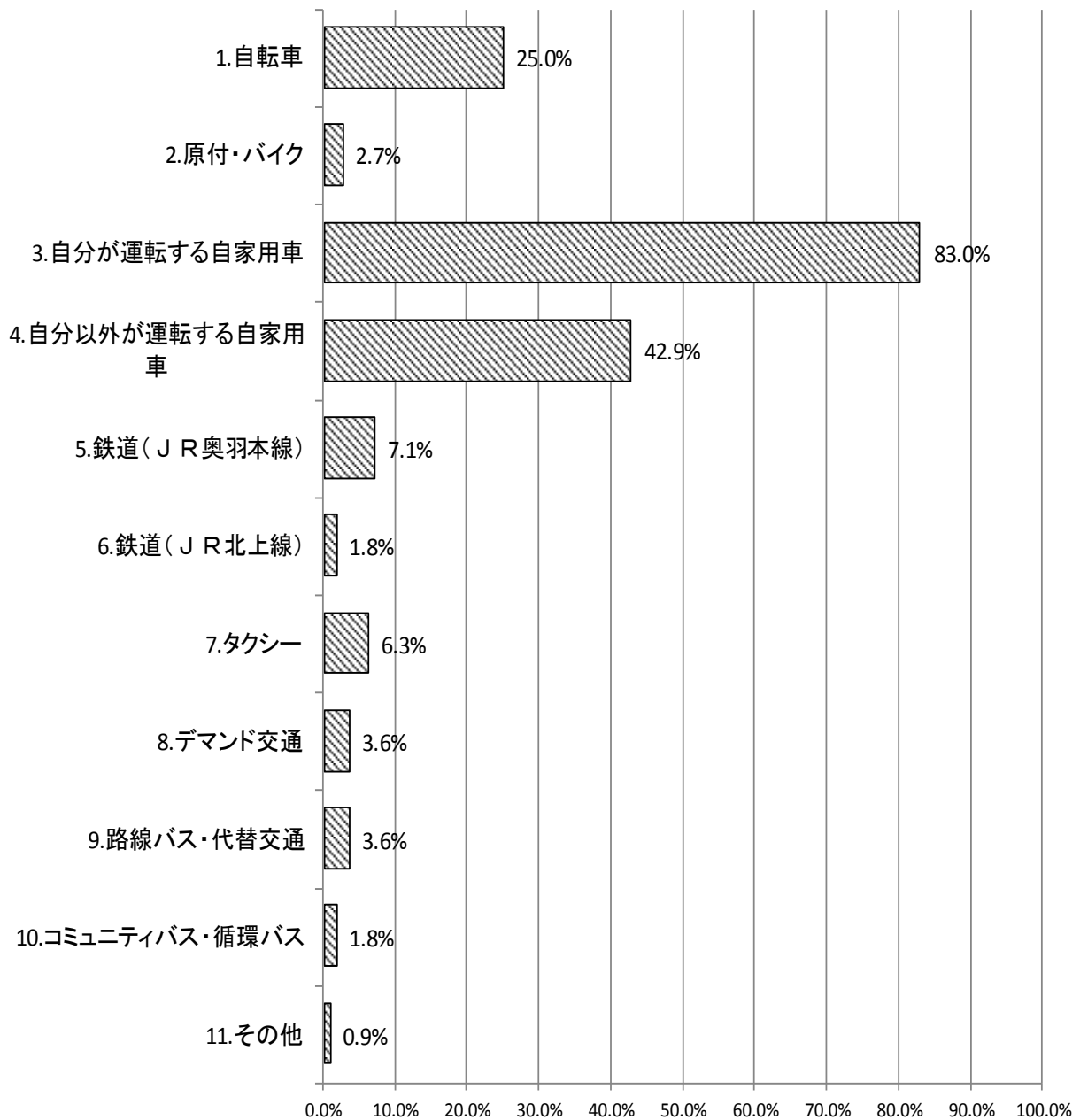
(平鹿地域)



【雄物川地域の利用状況】

(回答数=112)

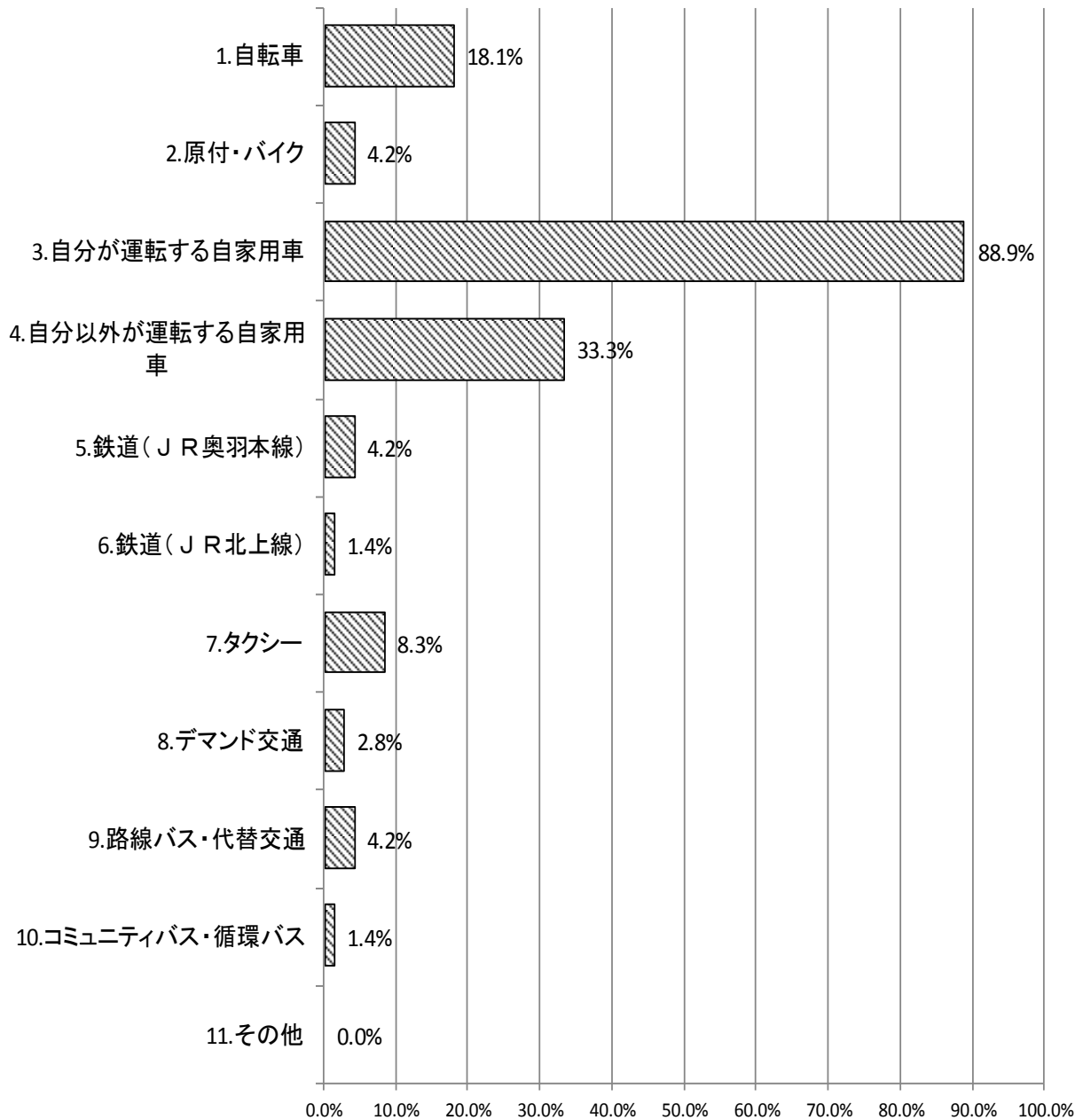
(雄物川地域)



【大森地域の利用状況】

(回答数=72)

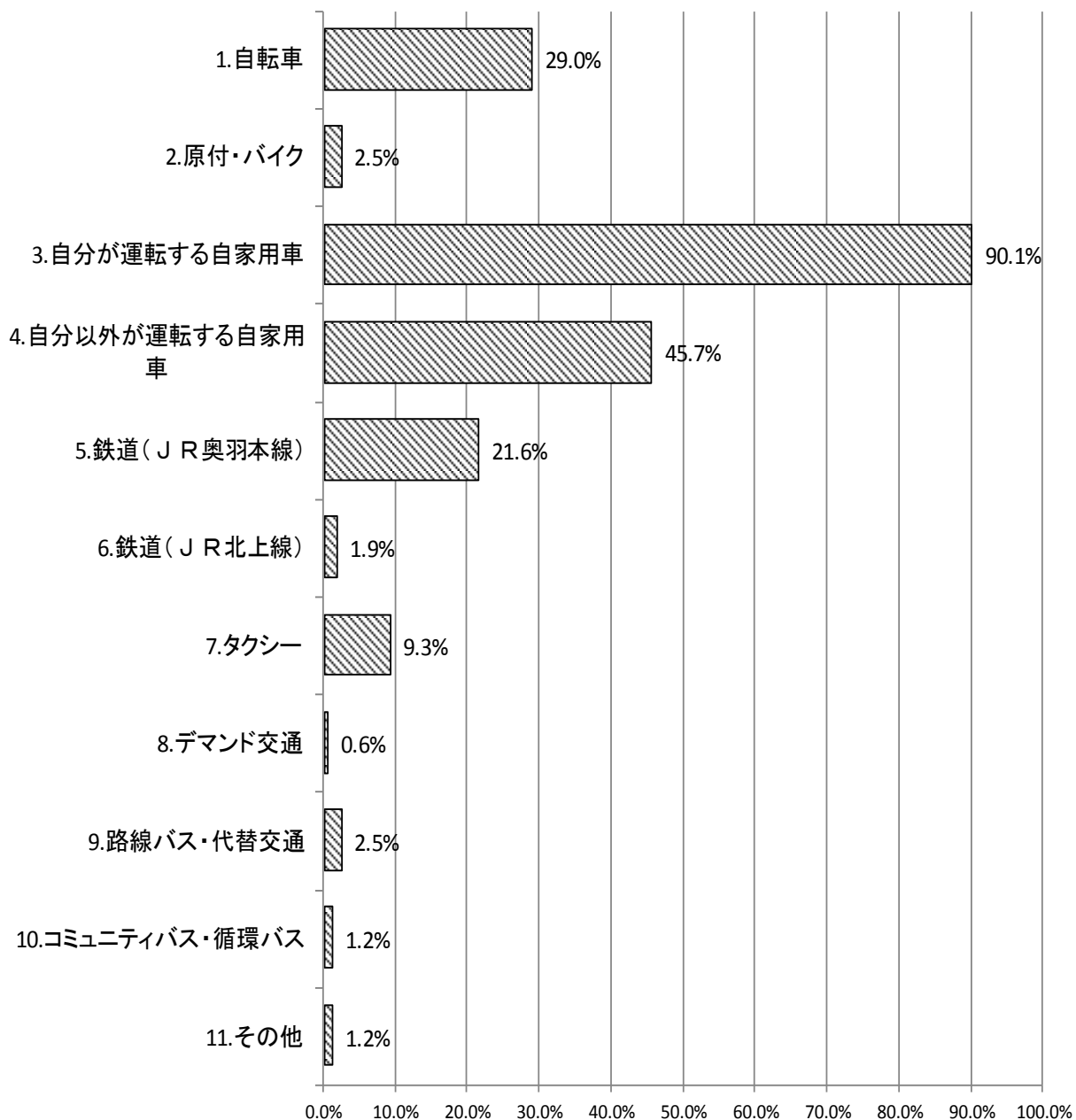
(大森地域)



【十文字地域の利用状況】

(回答数=162)

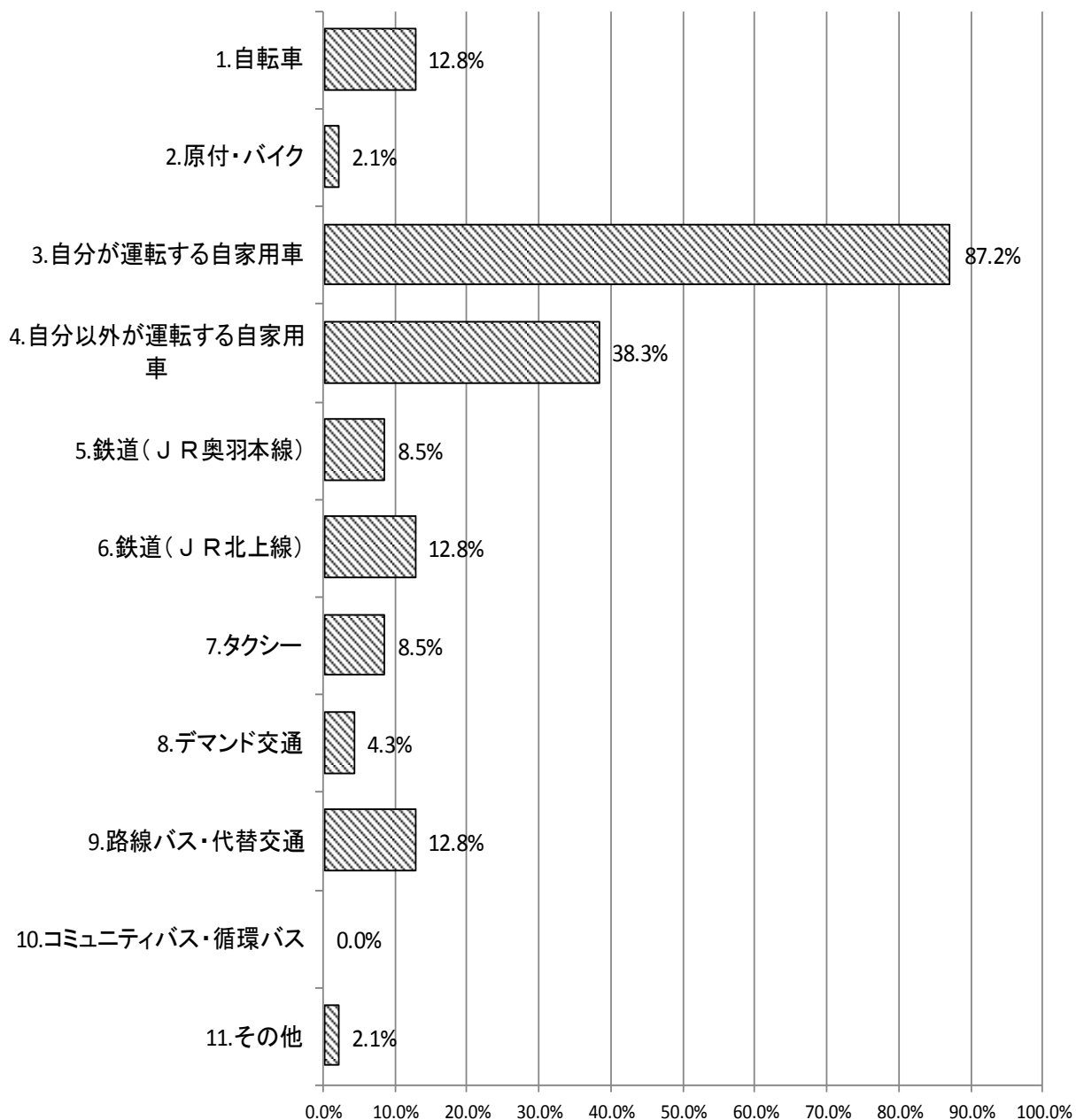
(十文字地域)



【山内地域の利用状況】

(回答数=47)

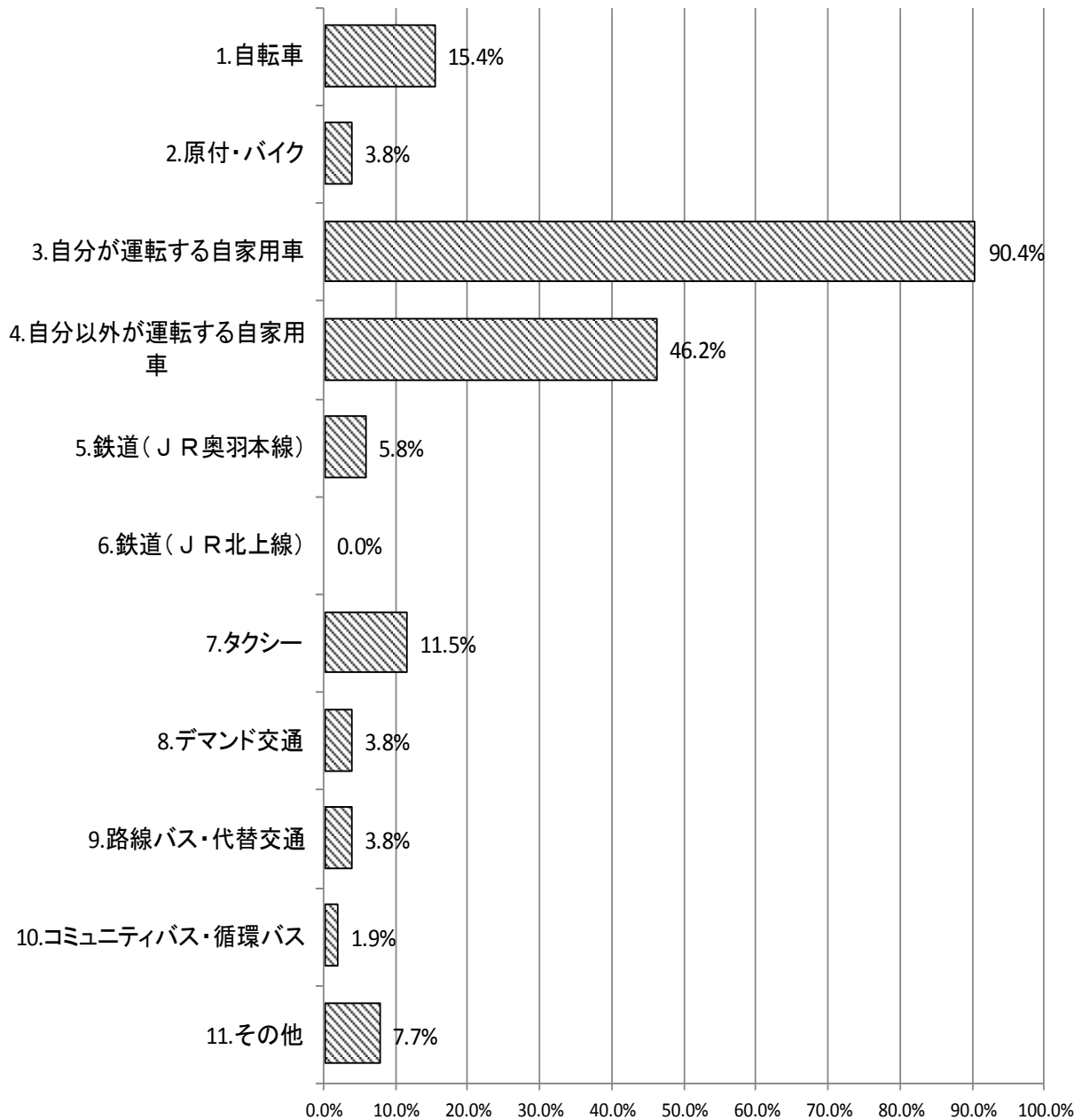
(山内地域)



【大雄地域の利用状況】

(回答数=52)

(大雄地域)



横手市まちづくりアンケート

問18		(単位:「人」「%」)																					
性別	1.自転車	2.原付・バイク		3.自分が運転する自家用車		4.自分以外の人が運転する自家用車		5.鉄道(JR奥羽本線)		6.鉄道(JR北上線)		7.タクシー		8.デマンド交通		9.路線バス・代替交通		10.コミュニティバス・循環バス		11.その他		母数	
男性	150	29.8	24	4.8	457	90.7	182	36.1	87	17.3	19	3.8	95	18.8	11	2.2	40	7.9	17	3.4	9	1.8	504
女性	133	21.0	4	0.6	508	80.3	292	46.1	71	11.2	18	2.8	77	12.2	10	1.6	45	7.1	23	3.6	9	1.4	633
無回答	4	17.4	0	0.0	15	65.2	7	30.4	0	0.0	0	0.0	5	21.7	1	4.3	5	21.7	0	0.0	0	0.0	23
総計	287	24.7	28	2.4	980	84.5	481	41.5	158	13.6	37	3.2	177	15.3	22	1.9	90	7.8	40	3.4	18	1.6	1,160
10歳代	3	23.1	1	7.7	5	38.5	12	92.3	5	38.5	1	7.7	0	0.0	0	0.0	4	30.8	1	7.7	1	7.7	13
20歳代	14	22.2	1	1.6	53	84.1	38	60.3	13	20.6	3	4.8	6	9.5	0	0.0	5	7.9	1	1.6	2	3.2	63
30歳代	22	16.9	3	2.3	124	95.4	62	47.7	25	19.2	2	1.5	18	13.8	0	0.0	3	2.3	0	0.0	2	1.5	130
40歳代	53	30.1	8	4.5	163	92.6	83	47.2	29	16.5	7	4.0	39	22.2	1	0.6	11	6.3	5	2.8	4	2.3	176
50歳代	62	25.7	3	1.2	215	89.2	102	42.3	30	12.4	9	3.7	43	17.8	3	1.2	19	7.9	11	4.6	3	1.2	241
60歳代	81	22.7	8	2.2	303	84.9	120	33.6	32	9.0	11	3.1	40	11.2	10	2.8	24	6.7	9	2.5	3	0.8	357
70歳代以上	51	31.3	4	2.5	105	64.4	62	38.0	24	14.7	4	2.5	29	17.8	8	4.9	22	13.5	13	8.0	3	1.8	163
無回答	1	5.9	0	0.0	12	70.6	2	11.8	0	0.0	0	0.0	2	11.8	0	0.0	2	11.8	0	0.0	0	0.0	17
総計	287	24.7	28	2.4	980	84.5	481	41.5	158	13.6	37	3.2	177	15.3	22	1.9	90	7.8	40	3.4	18	1.6	1,160
横手	124	26.6	9	1.9	385	82.6	193	41.4	69	14.8	17	3.6	116	24.9	8	1.7	44	9.4	29	6.2	4	0.9	466
増田	26	29.5	2	2.3	68	77.3	43	48.9	18	20.5	1	1.1	11	12.5	0	0.0	11	12.5	1	1.1	2	2.3	88
平鹿	31	21.7	4	2.8	127	88.8	54	37.8	18	12.6	6	4.2	10	7.0	2	1.4	12	8.4	4	2.8	3	2.1	143
雄物川	28	25.0	3	2.7	93	83.0	48	42.9	8	7.1	2	1.8	7	6.3	4	3.6	4	3.6	2	1.8	1	0.9	112
大森	13	18.1	3	4.2	64	88.9	24	33.3	3	4.2	1	1.4	6	8.3	2	2.8	3	4.2	1	1.4	0	0.0	72
十文字	47	29.0	4	2.5	146	90.1	74	45.7	35	21.6	3	1.9	15	9.3	1	0.6	4	2.5	2	1.2	2	1.2	162
山内	6	12.8	1	2.1	41	87.2	18	38.3	4	8.5	6	12.8	4	8.5	2	4.3	6	12.8	0	0.0	1	2.1	47
大雄	8	15.4	2	3.8	47	90.4	24	46.2	3	5.8	0	0.0	6	11.5	2	3.8	2	3.8	1	1.9	4	7.7	52
無回答	4	22.2	0	0.0	9	50.0	3	16.7	0	0.0	1	5.6	2	11.1	1	5.6	4	22.2	0	0.0	1	5.6	18
総計	287	24.7	28	2.4	980	84.5	481	41.5	158	13.6	37	3.2	177	15.3	22	1.9	90	7.8	40	3.4	18	1.6	1,160

7 各分野への「重要度」「満足度」

問19 まちづくりの各分野への「重要度」と「満足度」をお聞きします。
 （「重要度」と「満足度」それぞれに○を1つずつ）

項目	重要度					現在の満足度						
	非常に重要	重要	やや重要	あまり重要でない	全く重要でない	非常に満足	満足	やや満足	やや不満	非常に不満		
例) ○○の振興	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
○○○の推進、○○○の支援、○○○の相談（※上の数字は各項目の点数）												

○ 設問ごとの平均点

項目	重要度	満足度	項目	重要度	満足度
1.児童福祉(子育て支援)の充実	5.13	3.92	18.商業の振興	4.58	3.46
2.保健活動・健康づくりの推進	4.86	3.99	19.工業の振興	4.71	3.53
3.高齢者福祉の充実	5.02	3.75	20.観光の振興	4.66	3.53
4.障がい者(児)福祉の充実	4.85	3.87	21.企業誘致の推進と雇用対策	5.05	3.16
5.低所得者福祉の向上	4.58	3.68	22.雪対策の充実	5.40	3.32
6.地域福祉の向上	4.63	3.81	23.道路網の整備	4.72	3.59
7.学校教育の充実	4.93	3.87	24.公共交通機関の利便性の向上	4.83	3.41
8.教育環境の整備	4.85	3.95	25.市街地等各拠点地区の整備	4.31	3.66
9.スポーツ・レクリエーションの振興	4.13	3.83	26.上水道の整備	4.98	3.94
10.生涯学習の推進	4.15	3.90	27.下水道等の整備	4.80	3.78
11.地域文化の振興	3.93	3.88	28.公園・緑地の整備	4.44	3.76
12.交通安全・防犯対策の推進	4.68	3.99	29.市民との協働・活動支援	4.29	3.72
13.自然環境と快適な生活環境の保全	4.67	3.83	30.男女共同参画社会づくりの推進	4.38	3.66
14.消防・防災体制の充実	4.91	4.05	31.広報・広聴の推進	4.41	3.82
15.環境保全政策の充実	4.79	4.09	32.他自治体等との連携・交流の推進	4.04	3.83
16.省エネ・地球温暖化防止活動の推進	4.48	3.91	33.成果重視の行政運営の確立	4.43	3.52
17.農林業の振興	4.68	3.72	34.市職員の資質向上	4.83	3.42
			35.横手市の取り組み全般の満足度		3.61

横手市まちづくりアンケート

○ 各項目の回答数

【重要度】

項目	6.非常に重要	5.重要	4.やや重要	3.あまり重要でない	2.重要でない	1.全く重要でない	0.無回答	合計	ウエイト合計	ウエイト平均
1.児童福祉(子育て支援)の充実	420	468	163	28	8	9	64	1,160	5,621	5.13
2.保健活動・健康づくりの推進	260	516	263	46	11	6	58	1,160	5,358	4.66
3.高齢者福祉の充実	362	485	215	33	11	6	48	1,160	5,584	5.02
4.障がい者(児)福祉の充実	261	480	278	48	8	5	80	1,160	5,243	4.85
5.低所得者福祉の向上	212	378	361	110	11	14	74	1,160	4,972	4.58
6.地域福祉の向上	189	428	388	79	10	4	62	1,160	5,087	4.63
7.学校教育の充実	303	487	236	48	4	8	74	1,160	5,357	4.93
8.教育環境の整備	262	492	266	56	6	8	70	1,160	5,284	4.85
9.スポーツ・レクリエーションの振興	101	281	450	209	39	19	61	1,160	4,535	4.13
10.生涯学習の推進	84	287	469	218	24	9	69	1,160	4,526	4.15
11.地域文化の振興	73	217	456	268	55	21	70	1,160	4,282	3.93
12.交通安全・防犯対策の推進	208	440	365	71	5	8	63	1,160	5,139	4.68
13.自然環境と快適な生活環境の保全	201	440	382	66	9	5	57	1,160	5,155	4.67
14.消防・防災体制の充実	301	462	293	38	4	4	58	1,160	5,414	4.91
15.環境保全政策の充実	234	482	331	48	10	2	53	1,160	5,304	4.79
16.省エネ・地球温暖化防止活動の推進	172	376	389	133	18	7	65	1,160	4,910	4.48
17.農林業の振興	224	415	343	81	9	10	78	1,160	5,062	4.68
18.商業の振興	188	403	380	94	16	6	73	1,160	4,983	4.58
19.工業の振興	236	426	329	76	14	6	73	1,160	5,124	4.71
20.観光の振興	190	448	346	78	12	4	82	1,160	5,026	4.66
21.企業誘致の推進と雇用対策	377	445	213	38	3	5	79	1,160	5,464	5.05
22.雪対策の充実	563	418	105	10	0	1	63	1,160	5,919	5.40
23.道路網の整備	227	440	319	80	12	3	79	1,160	5,105	4.72
24.公共交通機関の利便性の向上	277	433	294	62	9	4	81	1,160	5,211	4.83
25.市街地等各拠点地区の整備	127	347	402	150	34	15	84	1,159	4,638	4.31
26.上水道の整備	338	454	238	46	5	3	75	1,159	5,401	4.98
27.下水道等の整備	260	445	302	65	7	5	76	1,160	5,207	4.80
28.公園・緑地の整備	152	361	424	129	15	8	71	1,160	4,838	4.44
29.市民との協働・活動支援	107	346	429	171	24	9	74	1,160	4,658	4.29
30.男女共同参画社会づくりの推進	119	369	421	140	19	7	85	1,160	4,708	4.38
31.広報・広聴の推進	117	375	448	116	15	7	82	1,160	4,754	4.41
32.他自治体等との連携・交流の推進	79	233	470	237	33	16	92	1,160	4,312	4.04
33.成果重視の行政運営の確立	135	382	382	131	18	11	101	1,160	4,688	4.43
34.市職員の資質向上	303	418	280	61	19	8	71	1,160	5,257	4.83
									平均	4.65
									最大	5.40
									最小	3.93

【満足度】

項目	6.非常に満足	5.満足	4.やや満足	3.やや不満	2.不満	1.非常に不満	0.無回答	合計	ウエイト合計	ウエイト平均
1.児童福祉(子育て支援)の充実	17	258	507	189	58	25	106	1,160	4,128	3.92
2.保健活動・健康づくりの推進	17	273	542	196	33	17	82	1,160	4,306	3.99
3.高齢者福祉の充実	23	197	489	269	71	34	77	1,160	4,062	3.75
4.障がい者(児)福祉の充実	14	207	528	213	49	18	131	1,160	3,986	3.87
5.低所得者福祉の向上	13	156	507	254	56	50	124	1,160	3,810	3.68
6.地域福祉の向上	12	167	581	222	55	20	103	1,160	4,027	3.81
7.学校教育の充実	21	201	532	209	58	16	123	1,160	4,018	3.87
8.教育環境の整備	30	237	531	179	53	20	110	1,160	4,152	3.95
9.スポーツ・レクリエーションの振興	17	190	569	204	58	28	94	1,160	4,084	3.83
10.生涯学習の推進	15	171	619	193	43	10	109	1,160	4,096	3.90
11.地域文化の振興	14	176	597	208	37	16	112	1,160	4,066	3.88
12.交通安全・防犯対策の推進	23	234	576	180	29	19	99	1,160	4,229	3.99
13.自然環境と快適な生活環境の保全	18	180	561	240	49	20	92	1,160	4,090	3.83
14.消防・防災体制の充実	25	256	583	152	28	16	100	1,160	4,290	4.05
15.環境保全政策の充実	31	299	548	146	34	16	86	1,160	4,395	4.09
16.省エネ・地球温暖化防止活動の推進	21	183	613	181	37	21	104	1,160	4,131	3.91
17.農林業の振興	12	144	546	252	60	31	115	1,160	3,883	3.72
18.商業の振興	9	103	447	347	89	55	110	1,160	3,631	3.46
19.工業の振興	12	111	474	318	77	51	117	1,160	3,682	3.53
20.観光の振興	12	113	484	303	94	46	108	1,160	3,716	3.53
21.企業誘致の推進と雇用対策	11	62	347	389	140	98	113	1,160	3,309	3.16
22.雪対策の充実	25	149	335	311	141	113	86	1,160	3,563	3.32
23.道路網の整備	18	156	461	271	78	64	112	1,160	3,765	3.59
24.公共交通機関の利便性の向上	14	125	422	299	112	83	105	1,160	3,601	3.41
25.市街地等各拠点地区の整備	12	132	547	244	70	41	114	1,160	3,833	3.66
26.上水道の整備	29	225	549	183	46	24	104	1,160	4,160	3.94
27.下水道等の整備	24	198	493	238	59	42	106	1,160	3,980	3.78
28.公園・緑地の整備	13	175	541	247	51	35	98	1,160	3,995	3.76
29.市民との協働・活動支援	11	143	564	250	54	34	104	1,160	3,929	3.72
30.男女共同参画社会づくりの推進	7	99	561	288	53	23	129	1,160	3,774	3.66
31.広報・広聴の推進	16	158	592	201	56	22	115	1,160	3,991	3.82
32.他自治体等との連携・交流の推進	9	144	601	214	44	12	136	1,160	3,920	3.83
33.成果重視の行政運営の確立	10	87	498	290	97	38	140	1,160	3,589	3.52
34.市職員の資質向上	17	113	439	287	130	73	101	1,160	3,617	3.42
35.横手市の取り組み全般の満足度	13	124	537	290	80	41	75	1,160	3,917	3.61
									平均	3.74
									最大	4.09
									最小	3.16

【定義】ウエイト平均 重要度(満足度) = $\frac{\text{「非常に重要(満足)」} \times 6 + \text{「重要(満足)」} \times 5 + \dots + \text{「全く重要でない(非常に不満)」} \times 1}{\text{「無回答」を除く有効回答者数}}$

横手市まちづくりアンケート

○ 各項目の回答数の構成割合（無回答の回答数を除く）

【重要度】

項目	6.非常に重要	5.重要	4.やや重要	3.あまり重要でない	2.重要でない	1.全く重要でない	合計	「6」「5」割合
1.児童福祉(子育て支援)の充実	38.3%	42.7%	14.9%	2.6%	0.7%	0.8%	100.0%	81.02%
2.保健活動・健康づくりの推進	23.6%	46.8%	23.9%	4.2%	1.0%	0.5%	100.0%	70.42%
3.高齢者福祉の充実	32.6%	43.6%	19.3%	3.0%	1.0%	0.5%	100.0%	76.17%
4.障がい者(児)福祉の充実	24.2%	44.4%	25.7%	4.4%	0.7%	0.5%	100.0%	68.61%
5.低所得者福祉の向上	19.5%	34.8%	33.2%	10.1%	1.0%	1.3%	100.0%	54.33%
6.地域福祉の向上	17.2%	39.0%	35.3%	7.2%	0.9%	0.4%	100.0%	56.19%
7.学校教育の充実	27.9%	44.8%	21.7%	4.4%	0.4%	0.7%	100.0%	72.74%
8.教育環境の整備	24.0%	45.1%	24.4%	5.1%	0.6%	0.7%	100.0%	69.17%
9.スポーツ・レクリエーションの振興	9.2%	25.6%	40.9%	19.0%	3.5%	1.7%	100.0%	34.76%
10.生涯学習の推進	7.7%	26.3%	43.0%	20.0%	2.2%	0.8%	100.0%	34.01%
11.地域文化の振興	6.7%	19.9%	41.8%	24.6%	5.0%	1.9%	100.0%	26.61%
12.交通安全・防犯対策の推進	19.0%	40.1%	33.3%	6.5%	0.5%	0.7%	100.0%	59.07%
13.自然環境と快適な生活環境の保全	18.2%	39.9%	34.6%	6.0%	0.8%	0.5%	100.0%	58.11%
14.消防・防災体制の充実	27.3%	41.9%	26.6%	3.4%	0.4%	0.4%	100.0%	69.24%
15.環境保全政策の充実	21.1%	43.5%	29.9%	4.3%	0.9%	0.2%	100.0%	64.68%
16.省エネ・地球温暖化防止活動の推進	15.7%	34.3%	35.5%	12.1%	1.6%	0.6%	100.0%	50.05%
17.農林業の振興	20.7%	38.4%	31.7%	7.5%	0.8%	0.9%	100.0%	59.06%
18.商業の振興	17.3%	37.1%	35.0%	8.6%	1.5%	0.6%	100.0%	54.37%
19.工業の振興	21.7%	39.2%	30.3%	7.0%	1.3%	0.6%	100.0%	60.90%
20.観光の振興	17.6%	41.6%	32.1%	7.2%	1.1%	0.4%	100.0%	59.18%
21.企業誘致の推進と雇用対策	34.9%	41.2%	19.7%	3.5%	0.3%	0.5%	100.0%	76.04%
22.雪対策の充実	51.3%	38.1%	9.6%	0.9%	0.0%	0.1%	100.0%	89.43%
23.道路網の整備	21.0%	40.7%	29.5%	7.4%	1.1%	0.3%	100.0%	61.70%
24.公共交通機関の利便性の向上	25.7%	40.1%	27.2%	5.7%	0.8%	0.4%	100.0%	65.80%
25.市街地等各拠点地区の整備	11.8%	32.3%	37.4%	14.0%	3.2%	1.4%	100.0%	44.09%
26.上水道の整備	31.2%	41.9%	22.0%	4.2%	0.5%	0.3%	100.0%	73.06%
27.下水道等の整備	24.0%	41.1%	27.9%	6.0%	0.6%	0.5%	100.0%	65.04%
28.公園・緑地の整備	14.0%	33.1%	38.9%	11.8%	1.4%	0.7%	100.0%	47.11%
29.市民との協働・活動支援	9.9%	31.9%	39.5%	15.7%	2.2%	0.8%	100.0%	41.71%
30.男女共同参画社会づくりの推進	11.1%	34.3%	39.2%	13.0%	1.8%	0.7%	100.0%	45.40%
31.広報・広聴の推進	10.9%	34.8%	41.6%	10.8%	1.4%	0.6%	100.0%	45.64%
32.他自治体等との連携・交流の推進	7.4%	21.8%	44.0%	22.2%	3.1%	1.5%	100.0%	29.21%
33.成果重視の行政運営の確立	12.7%	36.1%	36.1%	12.4%	1.7%	1.0%	100.0%	48.82%
34.市職員の資質向上	27.8%	38.4%	25.7%	5.6%	1.7%	0.7%	100.0%	66.21%

【満足度】

項目	6.非常に満足	5.満足	4.やや満足	3.やや不満	2.不満	1.非常に不満	合計	「6」「5」割合
1.児童福祉(子育て支援)の充実	1.6%	24.5%	48.1%	17.9%	5.5%	2.4%	100.0%	26.1%
2.保健活動・健康づくりの推進	1.6%	25.3%	50.3%	18.2%	3.1%	1.6%	100.0%	26.9%
3.高齢者福祉の充実	2.1%	18.2%	45.2%	24.8%	6.6%	3.1%	100.0%	20.3%
4.障がい者(児)福祉の充実	1.4%	20.1%	51.3%	20.7%	4.8%	1.7%	100.0%	21.5%
5.低所得者福祉の向上	1.3%	15.1%	48.9%	24.5%	5.4%	4.8%	100.0%	16.3%
6.地域福祉の向上	1.1%	15.8%	55.0%	21.0%	5.2%	1.9%	100.0%	16.9%
7.学校教育の充実	2.0%	19.4%	51.3%	20.2%	5.6%	1.5%	100.0%	21.4%
8.教育環境の整備	2.9%	22.6%	50.6%	17.0%	5.0%	1.9%	100.0%	25.4%
9.スポーツ・レクリエーションの振興	1.6%	17.8%	53.4%	19.1%	5.4%	2.6%	100.0%	19.4%
10.生涯学習の推進	1.4%	16.3%	58.9%	18.4%	4.1%	1.0%	100.0%	17.7%
11.地域文化の振興	1.3%	16.8%	57.0%	19.8%	3.5%	1.5%	100.0%	18.1%
12.交通安全・防犯対策の推進	2.2%	22.1%	54.3%	17.0%	2.7%	1.8%	100.0%	24.2%
13.自然環境と快適な生活環境の保全	1.7%	16.9%	52.5%	22.5%	4.6%	1.9%	100.0%	18.5%
14.消防・防災体制の充実	2.4%	24.2%	55.0%	14.3%	2.6%	1.5%	100.0%	26.5%
15.環境保全政策の充実	2.9%	27.8%	51.0%	13.6%	3.2%	1.5%	100.0%	30.7%
16.省エネ・地球温暖化防止活動の推進	2.0%	17.3%	58.0%	17.1%	3.5%	2.0%	100.0%	19.3%
17.農林業の振興	1.1%	13.8%	52.2%	24.1%	5.7%	3.0%	100.0%	14.9%
18.商業の振興	0.9%	9.8%	42.6%	33.0%	8.5%	5.2%	100.0%	10.7%
19.工業の振興	1.2%	10.6%	45.4%	30.5%	7.4%	4.9%	100.0%	11.8%
20.観光の振興	1.1%	10.7%	46.0%	28.8%	8.9%	4.4%	100.0%	11.9%
21.企業誘致の推進と雇用対策	1.1%	5.9%	33.1%	37.2%	13.4%	9.4%	100.0%	7.0%
22.雪対策の充実	2.3%	13.9%	31.2%	29.0%	13.1%	10.5%	100.0%	16.2%
23.道路網の整備	1.7%	14.9%	44.0%	25.9%	7.4%	6.1%	100.0%	16.6%
24.公共交通機関の利便性の向上	1.3%	11.8%	40.0%	28.3%	10.6%	7.9%	100.0%	13.2%
25.市街地等各拠点地区の整備	1.1%	12.6%	52.3%	23.3%	6.7%	3.9%	100.0%	13.8%
26.上水道の整備	2.7%	21.3%	52.0%	17.3%	4.4%	2.3%	100.0%	24.1%
27.下水道等の整備	2.3%	18.8%	46.8%	22.6%	5.6%	4.0%	100.0%	21.1%
28.公園・緑地の整備	1.2%	16.5%	50.9%	23.3%	4.8%	3.3%	100.0%	17.7%
29.市民との協働・活動支援	1.0%	13.5%	53.4%	23.7%	5.1%	3.2%	100.0%	14.6%
30.男女共同参画社会づくりの推進	0.7%	9.6%	54.4%	27.9%	5.1%	2.2%	100.0%	10.3%
31.広報・広聴の推進	1.5%	15.1%	56.7%	19.2%	5.4%	2.1%	100.0%	16.7%
32.他自治体等との連携・交流の推進	0.9%	14.1%	58.7%	20.9%	4.3%	1.2%	100.0%	14.9%
33.成果重視の行政運営の確立	1.0%	8.5%	48.8%	28.4%	9.5%	3.7%	100.0%	9.5%
34.市職員の資質向上	1.6%	10.7%	41.5%	27.1%	12.3%	6.9%	100.0%	12.3%
35.横手市の取り組み全般の満足度	1.2%	11.4%	49.5%	26.7%	7.4%	3.8%	100.0%	12.6%

【重要度】

設問を「第2次横手市総合計画」の施策に対応させ、点数の高い順に並べました。

「26 上水道整備」と「27 下水道等の整備」は、施策「5-5 安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理」にまとめています。(点数は2項目の平均)

施策番号	施策名称	重要度	順位
5-1	雪国の快適な暮らしの実現	5.40	1
1-1	子育て支援の充実	5.13	2
4-5	企業誘致の推進、企業留置と雇用対策	5.05	3
1-3	健康でいきいきとした高齢社会の推進	5.02	4
2-1	横手を愛する心と生きる力をはぐくむ学校教育の充実	4.93	5
3-3	災害に強いまちづくりの推進	4.91	6
5-5	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理	4.89	7
1-2	健康な心と体づくりの推進	4.86	8
1-4	障がい者(児)福祉の充実	4.85	9
2-2	安心して学べる教育環境の整備	4.85	9
5-3	市民が利用しやすい公共交通の充実	4.83	11
7-3	戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実	4.83	11
3-4	循環型社会の一層の推進	4.79	13
5-2	快適な移動空間の実現	4.72	14
4-3	活力ある工業の振興	4.71	15
3-1	安心して暮らすことのできるまちづくりの推進	4.68	16
4-1	魅力ある農林業の振興	4.68	16
3-2	美しい自然環境と快適な生活環境の保全	4.67	18
4-4	観光・物産資源の発掘と発信	4.66	19
1-6	福祉を支える人材の確保と育成	4.63	20
1-5	低所得者福祉の充実	4.58	21
4-2	活気ある商業の振興	4.58	21
3-5	エネルギーの地産地消の推進	4.48	23
5-6	市民がくつろげる公共空間の整備	4.44	24
7-1	住民ニーズに対応した成果重視の行政運営の確立	4.43	25
6-3	情報を共有する環境の整備	4.41	26
6-2	男女が尊重しあう社会づくり	4.38	27
5-4	地域拠点整備による市街地の活性化	4.31	28
6-1	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実	4.29	29
2-4	活力ある地域と心豊かな人を創る生涯学習の推進	4.15	30
2-3	元気なまちを築く生涯スポーツの促進	4.13	31
6-4	市内外との交流連携の推進	4.04	32
2-5	よこての伝統文化の継承と再発見	3.93	33

【満足度】

設問を「第2次横手市総合計画」の施策に対応させ、点数の低い順に並べました。

「26 上水道整備」と「27 下水道等の整備」は、施策「5-5 安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理」にまとめています。(点数は2項目の平均)

施策番号	施策名称	満足度	順位
4-5	企業誘致の推進、企業留置と雇用対策	3.16	33
5-1	雪国の快適な暮らしの実現	3.32	32
5-3	市民が利用しやすい公共交通の充実	3.41	31
7-3	戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実	3.42	30
4-2	活気ある商業の振興	3.46	29
7-1	住民ニーズに対応した成果重視の行政運営の確立	3.52	28
4-3	活力ある工業の振興	3.53	26
4-4	観光・物産資源の発掘と発信	3.53	26
5-2	快適な移動空間の実現	3.59	25
5-4	地域拠点整備による市街地の活性化	3.66	23
6-2	男女が尊重しあう社会づくり	3.66	23
1-5	低所得者福祉の充実	3.68	22
4-1	魅力ある農林業の振興	3.72	20
6-1	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実	3.72	20
1-3	健康でいきいきとした高齢社会の推進	3.75	19
5-6	市民がくつろげる公共空間の整備	3.76	18
1-6	福祉を支える人材の確保と育成	3.81	17
6-3	情報を共有する環境の整備	3.82	16
2-3	元気なまちを築く生涯スポーツの促進	3.83	13
3-2	美しい自然環境と快適な生活環境の保全	3.83	13
6-4	市内外との交流連携の推進	3.83	13
5-5	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理	3.86	12
1-4	障がい者(児)福祉の充実	3.87	10
2-1	横手を愛する心と生きる力をはぐくむ学校教育の充実	3.87	10
2-5	よこての伝統文化の継承と再発見	3.88	9
2-4	活力ある地域と心豊かな人を創る生涯学習の推進	3.90	8
3-5	エネルギーの地産地消の推進	3.91	7
1-1	子育て支援の充実	3.92	6
2-2	安心して学べる教育環境の整備	3.95	5
1-2	健康な心と体づくりの推進	3.99	3
3-1	安心して暮らすことのできるまちづくりの推進	3.99	3
3-3	災害に強いまちづくりの推進	4.05	2
3-4	循環型社会の一層の推進	4.09	1

重要度・満足度の結果を基に、第2次横手市総合計画の施策の方向性について、4つの領域に分けた散布図に落とし込みます。

低-----重要度-----高

領域Ⅲ	領域Ⅰ
領域Ⅳ	領域Ⅱ

高
|
満足度
|
低

- 領域Ⅰ・・・現状を維持しつつ、コスト削減を目指す
- 領域Ⅱ・・・重点的に満足度の向上を目指す
- 領域Ⅲ・・・満足度を維持しつつ、コスト削減を図る
- 領域Ⅳ・・・行政の関わり方も含めた見直しをしつつ、成果の向上を目指す

(参考) 第2次横手市総合計画の施策一覧

政策1 伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
【健康福祉】

- 【施策 1-1】子育て支援の充実
- 【施策 1-2】健康な心と体づくりの推進
- 【施策 1-3】健康でいきいきとした高齢社会の推進
- 【施策 1-4】障がい者（児）福祉の充実
- 【施策 1-5】低所得者福祉の充実
- 【施策 1-6】福祉を支える人材の確保と育成

政策2 学びの充実とスポーツの振興により、生きる力と豊かな心を育みます
【教育文化】

- 【施策 2-1】横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実
- 【施策 2-2】安全で安心して学べる教育環境の整備
- 【施策 2-3】元気なまちを築く生涯スポーツの促進
- 【施策 2-4】活力ある地域と心豊かな人を創る生涯学習の推進
- 【施策 2-5】よこての伝統文化の継承と再発見

政策3 豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
【生活環境】

- 【施策 3-1】安心して暮らすことのできるまちづくりの推進
- 【施策 3-2】美しい自然環境と快適な生活環境の保全
- 【施策 3-3】災害に強いまちづくりの推進
- 【施策 3-4】循環型社会の一層の推進
- 【施策 3-5】エネルギーの地産地消の推進

政策4 魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
【産業振興】

- 【施策 4-1】魅力ある農林業の振興
- 【施策 4-2】活気ある商業の振興
- 【施策 4-3】活力ある工業の振興
- 【施策 4-4】観光・物産資源の発掘と発信
- 【施策 4-5】企業誘致の推進、企業留置と雇用対策

政策5 暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
【建設交通】

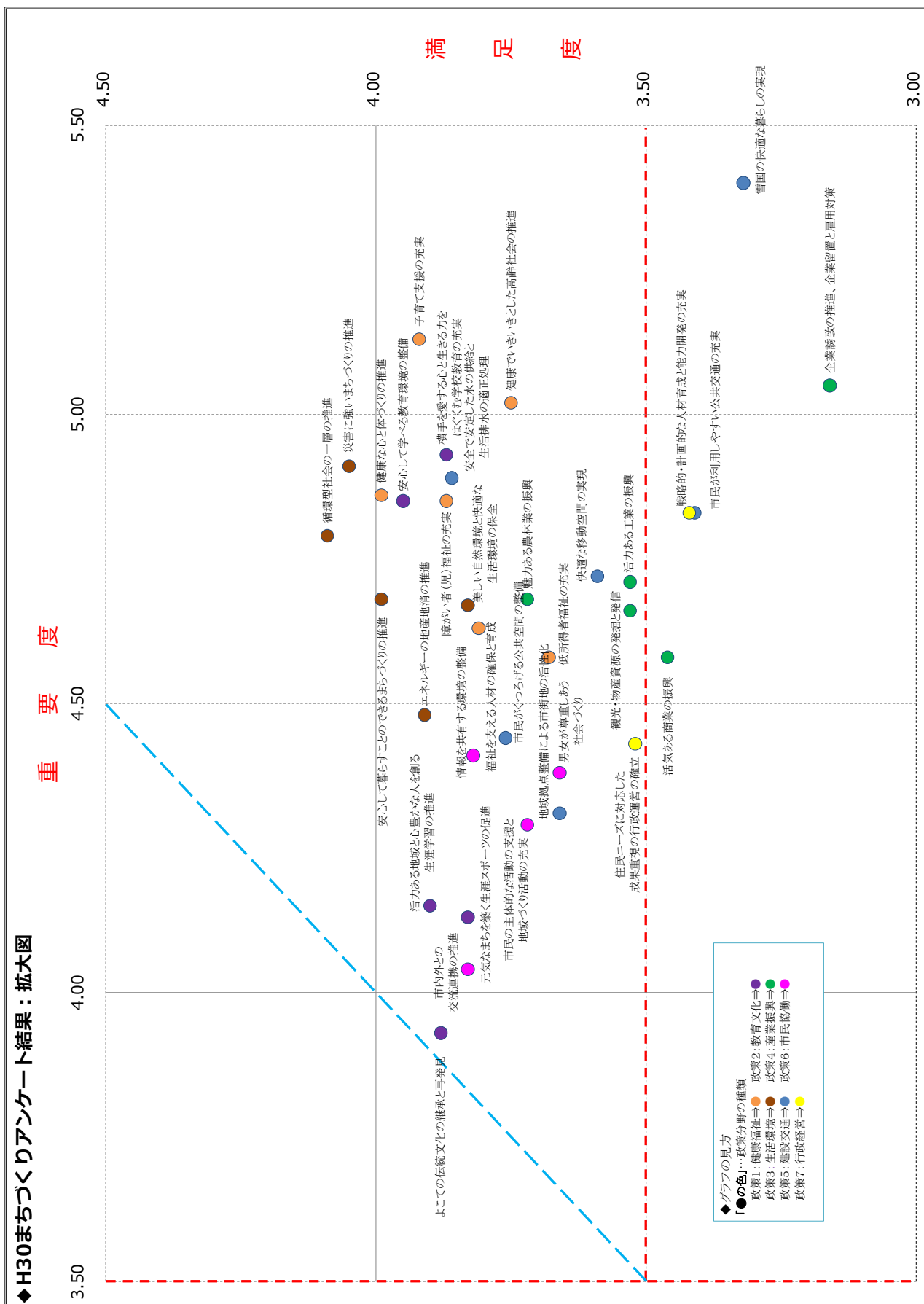
- 【施策 5-1】雪国の快適な暮らしの実現
- 【施策 5-2】快適な移動空間の実現
- 【施策 5-3】市民が利用しやすい公共交通の充実
- 【施策 5-4】地域拠点整備による市街地の活性化
- 【施策 5-5】安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正処理
- 【施策 5-6】市民がくつろげる公共空間の整備

政策6 やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
【市民協働】

- 【施策 6-1】市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実
- 【施策 6-2】男女が尊重し合う社会づくり
- 【施策 6-3】情報を共有する環境の整備
- 【施策 6-4】市内外との交流連携の推進

政策7 横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
【行政経営】

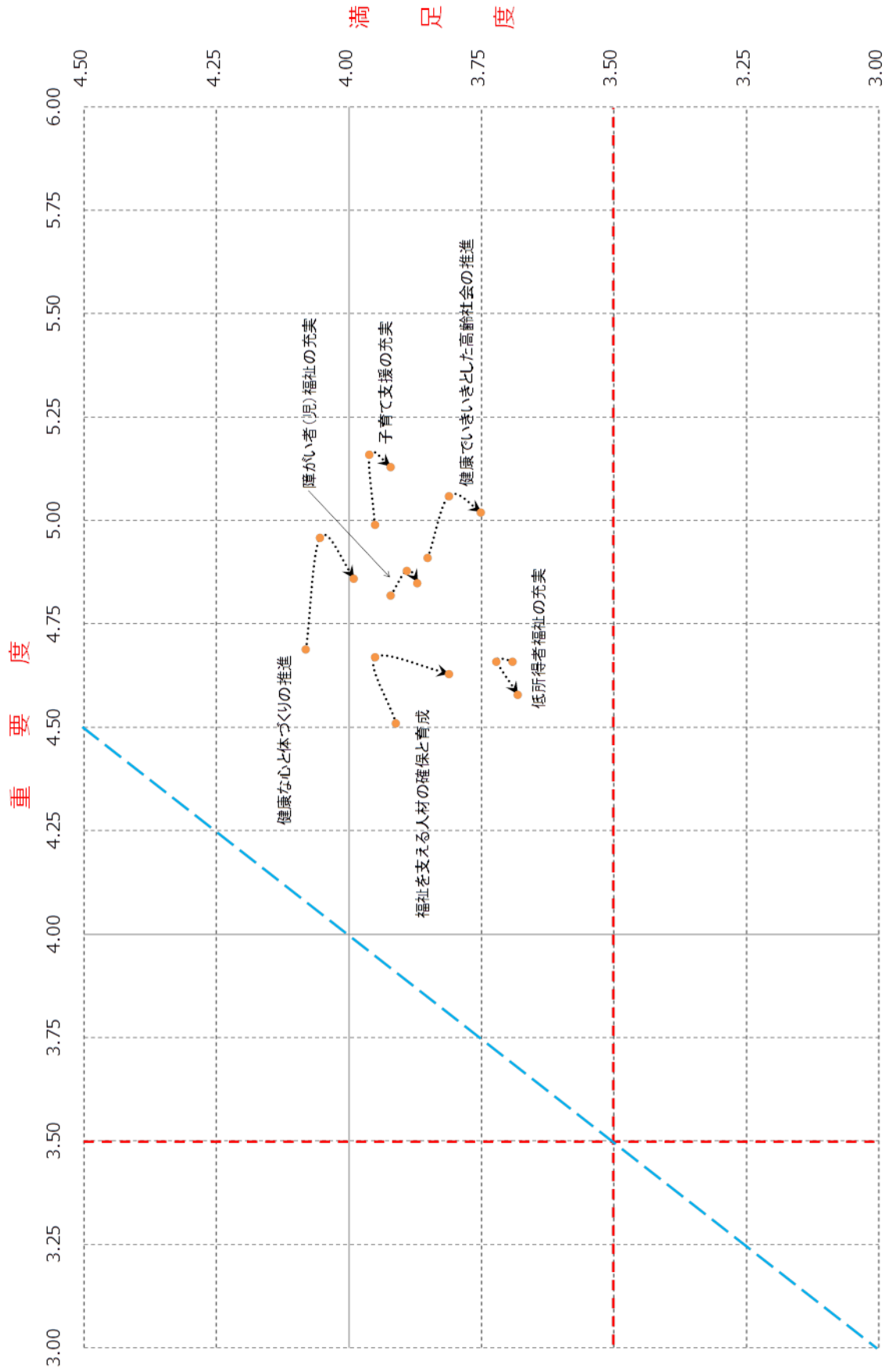
- 【施策 7-1】市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の確立
- 【施策 7-2】財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進
- 【施策 7-3】戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実



※「領域Ⅲ」と「領域Ⅳ」に該当する施策はありません。

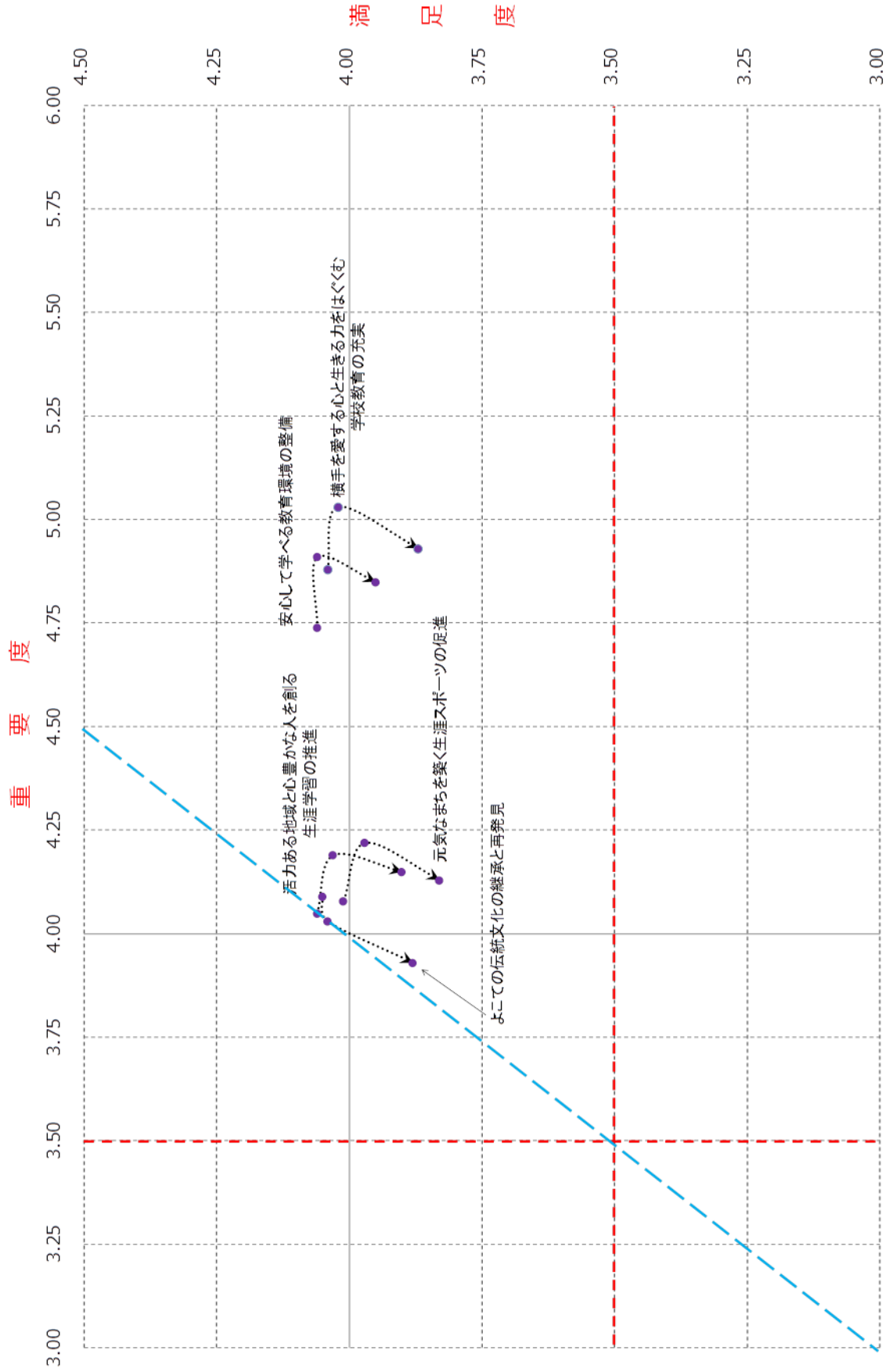
◆まちづくりアンケート結果の推移 (H28⇒H29⇒H30)

政策1：『伸び伸び子育て出来る環境と、みんなが健康にくらせるまちづくりを進めます。』



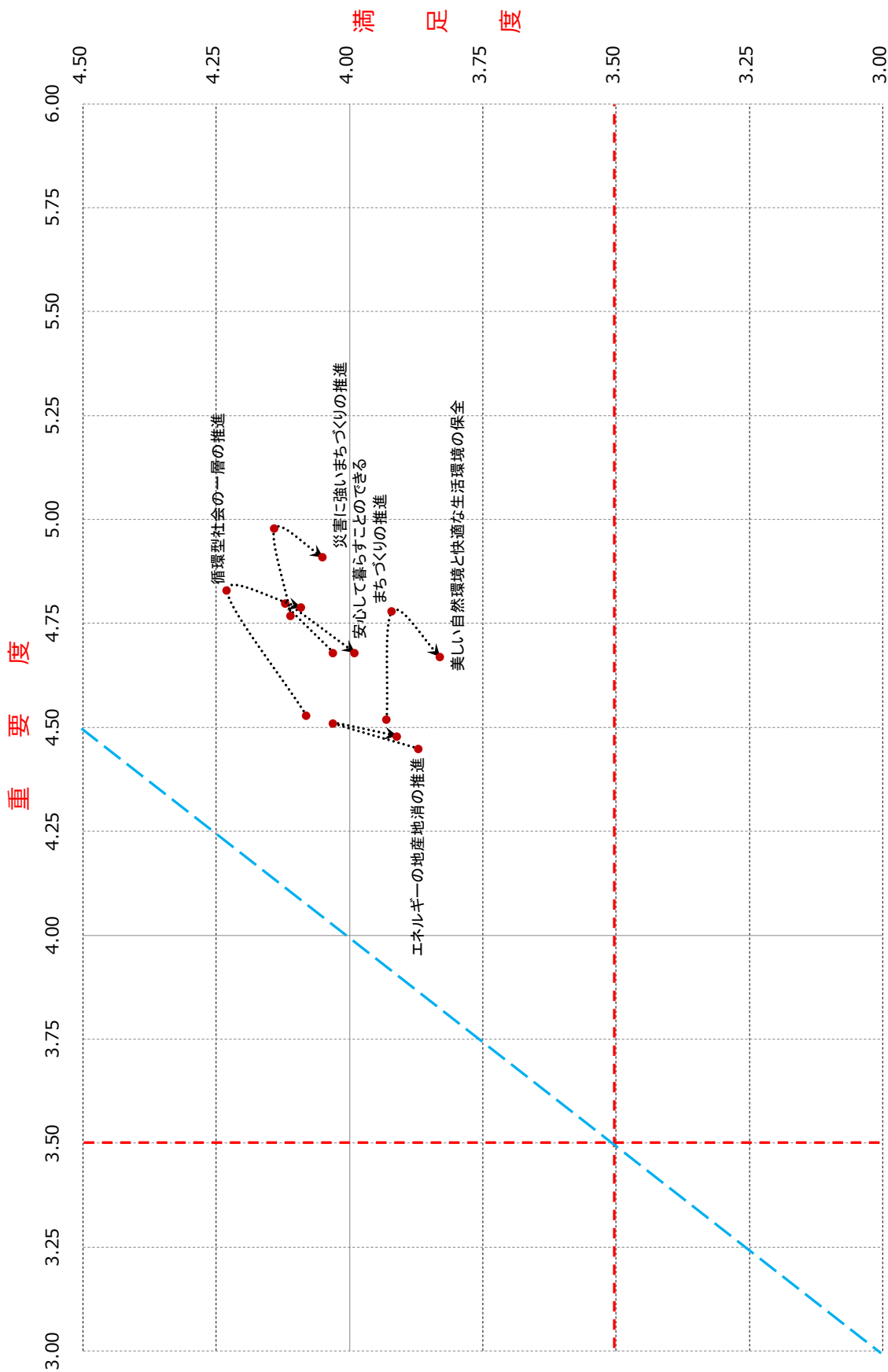
◆まちづくりアンケート結果の推移 (H28⇒H29⇒H30)

政策2：『学びの充実とスポーツの振興により、生きる力と豊かな心を育みます。』



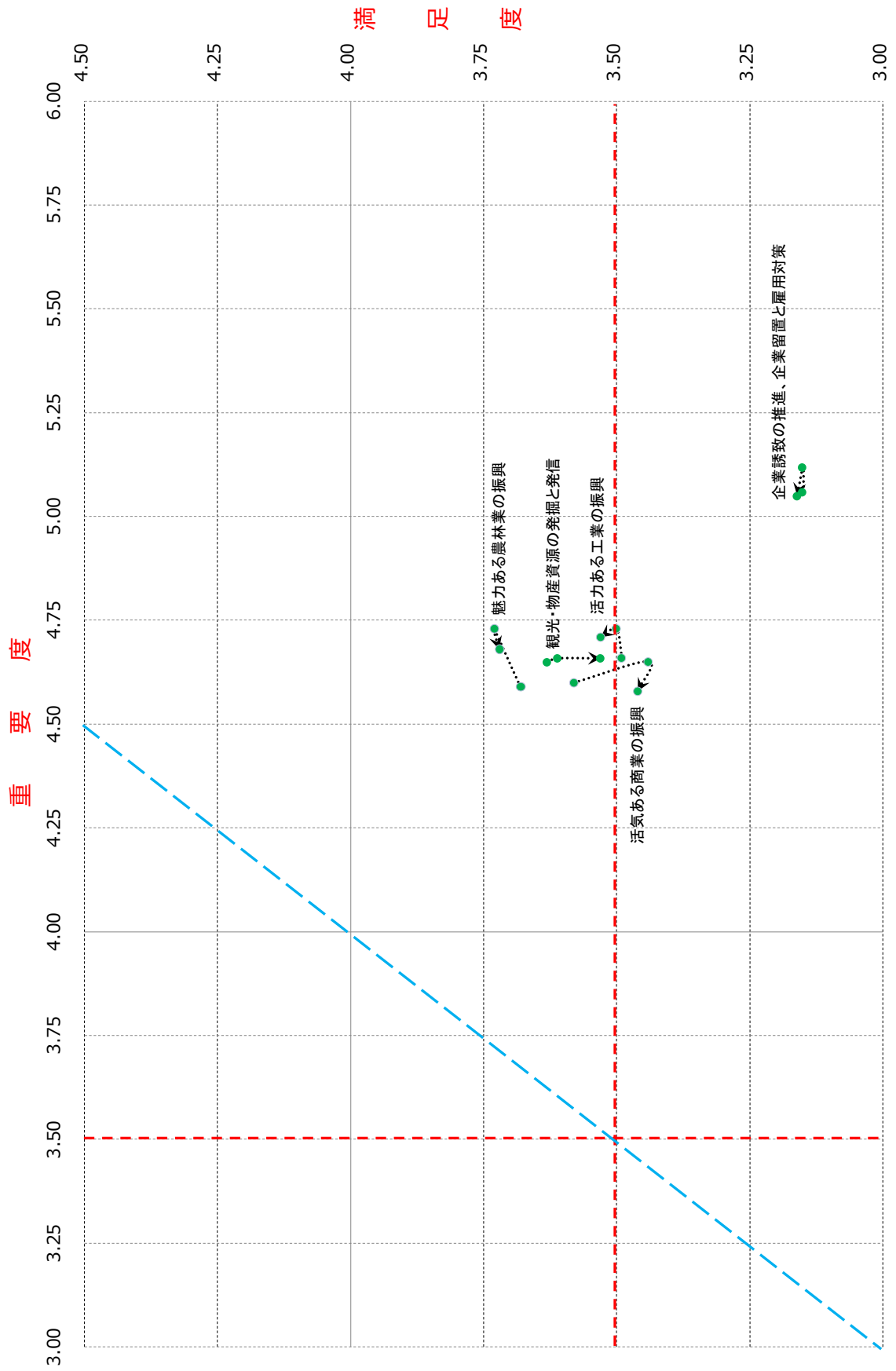
◆まちづくりアンケート結果の推移 (H28⇒H29⇒H30)

政策3：『豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます。』



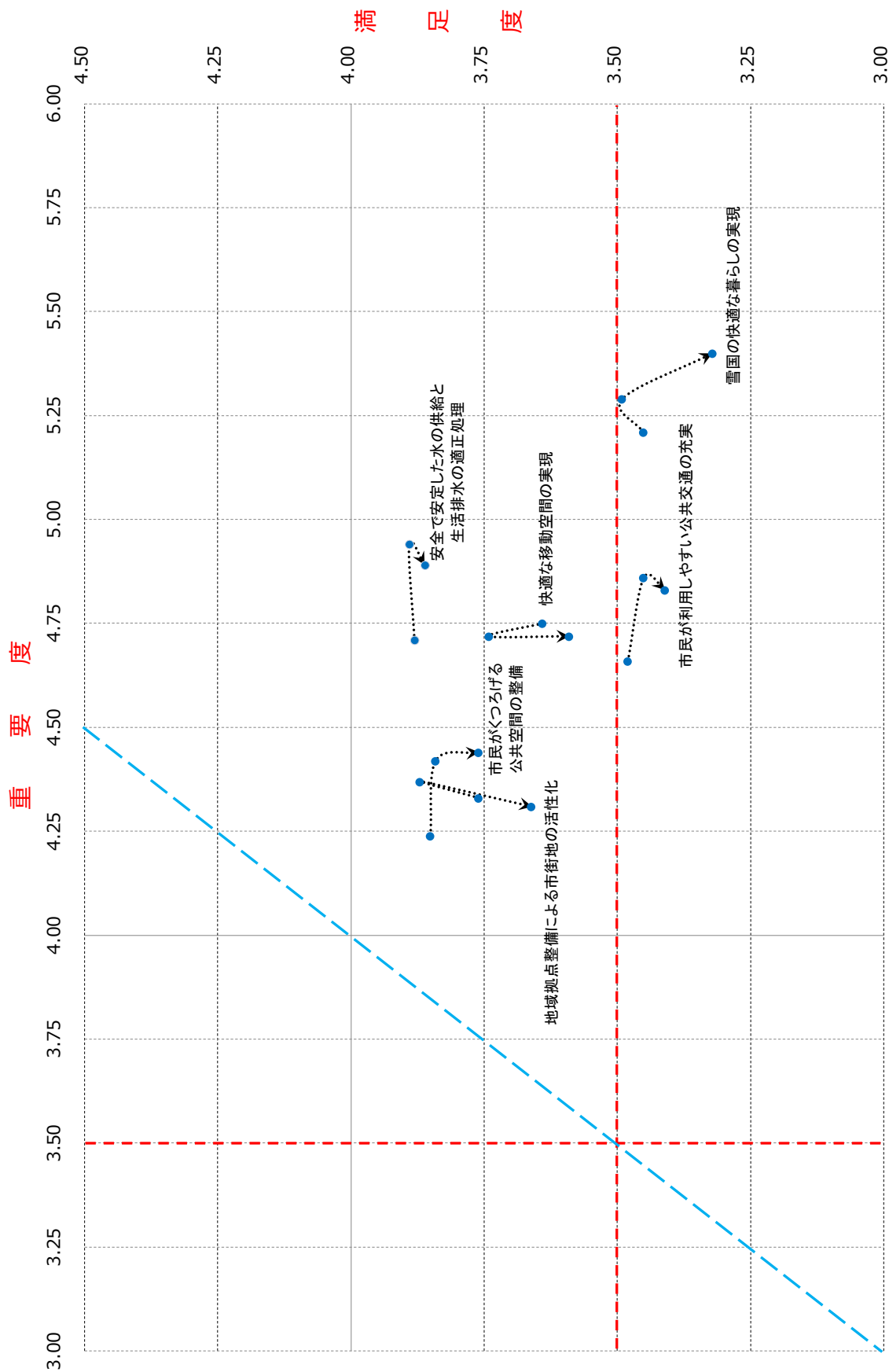
◆まちづくりアンケート結果の推移 (H28⇒H29⇒H30)

政策4：『魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります。』



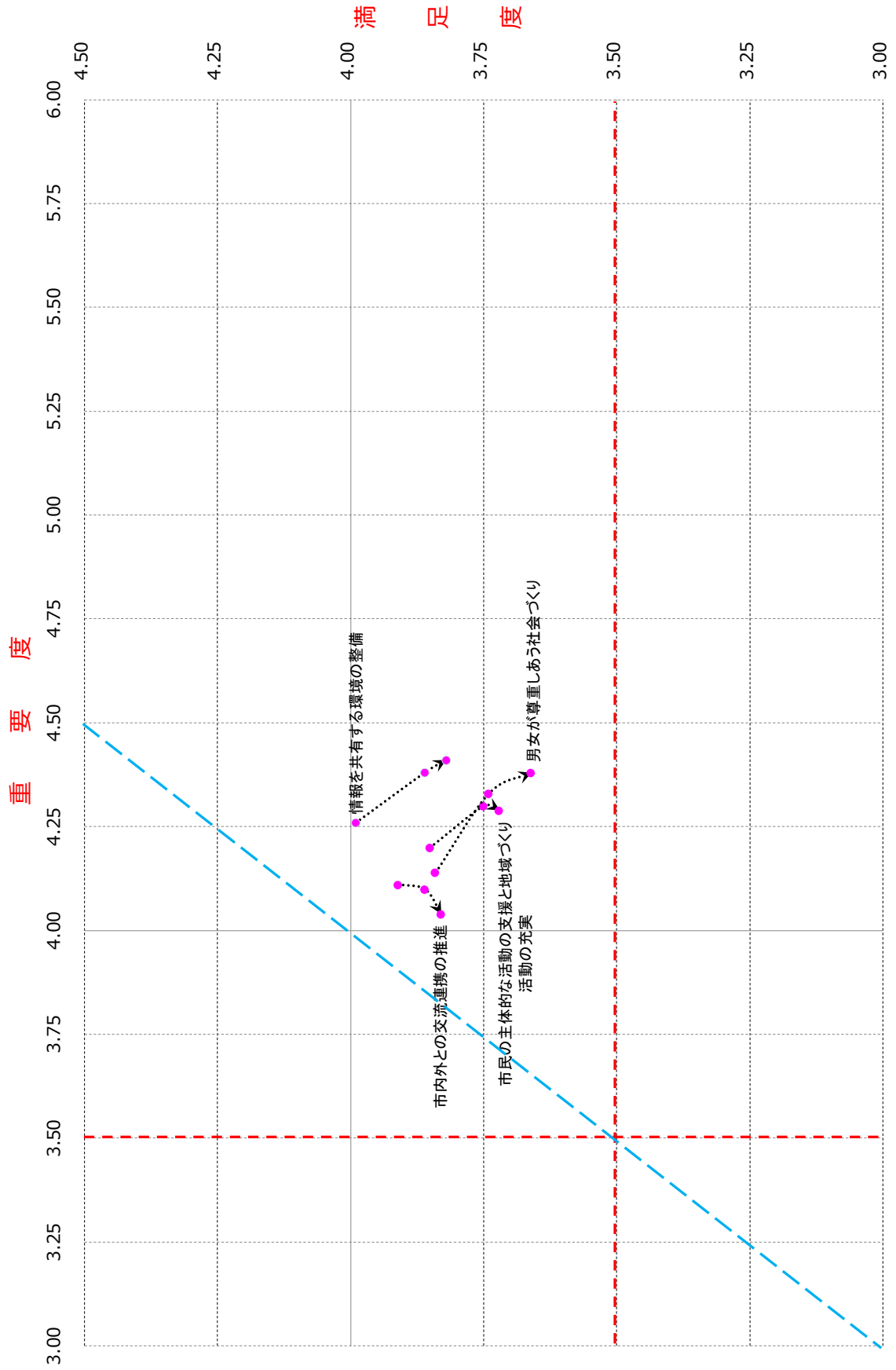
◆まちづくりアンケート結果の推移 (H28⇒H29⇒H30)

政策5：『暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます。』



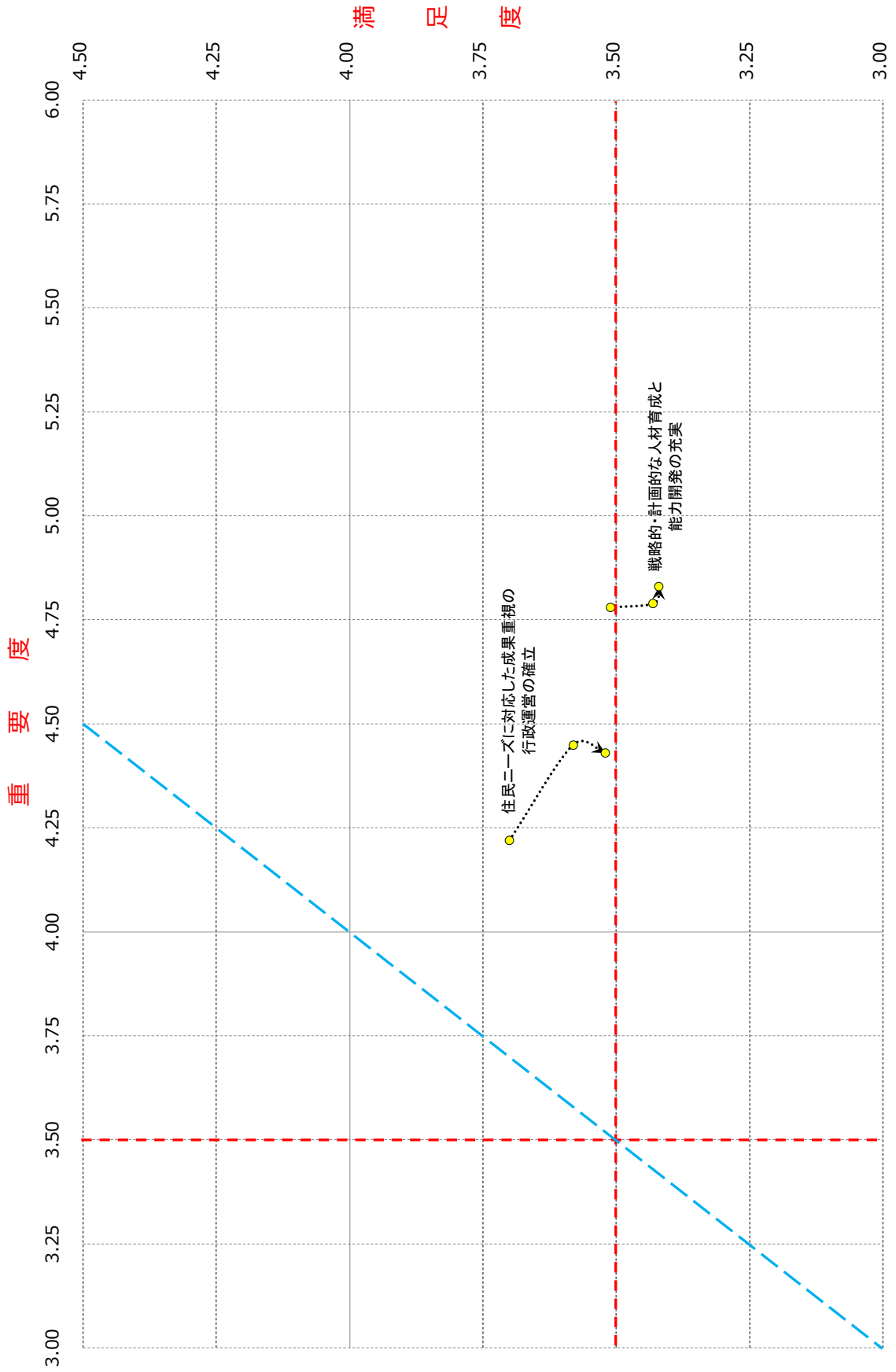
◆まちづくりアンケート結果の推移 (H28⇒H29⇒H30)

政策6：『やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます。』



◆まちづくりアンケート結果の推移 (H28⇒H29⇒H30)

政策7：『横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます。』



8 自由記載欄で寄せられたご意見等

325人の方から、延べ381件のご意見等を頂戴しました。第2次横手市総合計画の関連施策別に大まかに分類して、原文のまま記載しています。（ご意見のない施策分野もあります）

また、特定の個人や団体を誹謗中傷するものや判読が難しいもの、誤解を与える可能性があると思われるものなどについては公開を控えております。

（1-1 子育て支援の充実）

- 横手市の子育て支援はしっかりしていて、とても助かっています。これからも継続して行ってほしいです。

（女性、30歳代、平鹿）

- 子供が3人いますが横手市の出産祝金をもう少し上げてもらえたらいいなと思います。同じ秋田県の中でも由利本荘市は第2子10万円、第3子20万円と手厚く子供を産もうと思えるような取り組みをしていると聞きました。（他県ではオムツ支給等もあります）第1子も第2子3子を産んでも3万円と変わらない横手市は残念に思います。少子化対策として力を入れてもらいたいです。女性が生き生きと子育てしながら、仕事もしながら横手で生活したいと思えるようにお願いします。

（女性、30歳代、増田）

- 問19の1（児童福祉の充実）について ・学童について、無職または自営業でほぼ自宅に家族がいる、または学校近くに祖父母の家がある、または学校までの迎えが可能な状態でも学童を通年利用できている方が多い。そのために、5年生から学童を利用できないという状況が良くならない。 ・一緒に下校する友達が極端に少ない ・下校から帰宅まで15分以上（20分以上）かかる子供に関しては5年生でも学童利用を認めるべき。もしくは学校でのむかえの待機を可能にすべき。 ・ひとり親家族への支援について 届け出上はひとり親となっているが、同居をあえてせず、籍を抜き、手当をもらい、実際には頻繁に買い物、行事への参加（離婚しているとは思えない程の親密さ）明らかに手当ドロボウさんが多い。多方面で援助（減額や無料）を受けているおかげで、収入のほとんどを母の化粧品代、母と子の洋服代、子どものおもちゃ代など、自由に使える状態なのは納得できない。制度がゆるい。調査も適切か？

（女性、30歳代、横手）

- 子育てしやすい地域にしてもらいたい。保育料や病院保育等。3人目を持つには、少し足踏みしてしまう。

（男性、30歳代、平鹿）

- 第3子の保育料の無料化（同時入所の場合のみだけでなく「第3子以降」全て） ・学童保育支援員への教育強化

（女性、30歳代、横手）

- 子供が小さいので子育て支援を手厚くしてほしいです。特に、保育料が高く家計を圧迫しています。また、今通わせている保育園があと 2 年で民営化するのですが、通園バスが有料になってしまうようなのでとても残念です。今より負担が増えるのに何のために民営化するのか疑問です。子育て環境をよりよくしていただきたいです。

(女性、30 歳代、大雄)

- 高齢者に対してのサービスは充実していると思う。今は若者の県外流出の食い止めと、県内に残っている独身者が結婚し人口を増やすことを考えてもらいたい。そちらの活動に税金を使うべきである。アイデア出しが必要であれば協力したい。

(男性、40 歳代、平鹿)

- 子育て世代が移住・定住したくなる様な魅力が必要だと思う。例えば、空き家を自分でリフォームして一定期間住めば持ち家にできる。車の購入が難しい→市で購入した車を一定の人数でシェア等。娯楽がパチンコ店ばかりで良いと思えない。健全な遊び場が必要。公民館でやっている子ども食堂？を駅前で行ってはどうか？(朝食だけでなく居場所も提供 勉強の助力や悩み相談もできれば良いと思う)

(女性、40 歳代、横手)

- 子育て支援と、介護支援を望みます。

(女性、50 歳代、十文字)

- 子育て支援の強化それと若者が住んでいて楽しいと思える街づくりが重要だと思います。若者が県外に流出し出生率が低下してしまうと横手の未来が無くなります。未来に向けての市政街づくりに期待しています。

(男性、30 歳代、横手)

- 出産と保育園入所の用紙提出時期がかぶりバタバタしないように事前に確認しにいったのに誤った情報を伝えられ直前に結局バタバタすることになり、身重な体で走らされたこと不快だったし、生まれたあと夫が手続きにいった際にも不備があり、冬の中再度市役所に出向かなければならなくなりすごく迷惑だった。市役所側も「また～して来てください」という感じで、人に再び来させる＝時間を使わせるということに罪悪感がなく、不快だった。Time is money ということを考えるべき。子供手当 UP、保育園入所のための準備品減らす。育児休暇の延長等、日勤で 8:30~15:00 等子育て中のママへの勤務時間減を目指してほしい。

(女性、30 歳代、横手)

- 他の地域に比べて子育て支援がよくなってきたと思う。(中学卒業までマル福を延長したのはすごく良いと思う。)

それなのに、なかなか出生数が増えないのは生まれる前にこの制度の知名度を知らせる努力をしたほうが良いと思う。高齢者福祉よりも児童福祉にもっと予算をかけたほうが良いと思う。

(男性、40 歳代、横手)

- ふれあいカード→あまりメリットがない。もう少し改善されるとよい。

(女性、30 歳代、横手)

- 問 7.7) 小学生になってから Y2 ぷらざでファミサポを利用した際、遊具等は使用できないし、走り回るのは狭いしで一日退屈していたと聞きました。また 4 年生になってから私が仕事の日一人で利用させようと思うと今の Y2 ぷらざ 2F では食事が禁止なので 1F か 3F で一人で食

べる事になり不安を感じています。ワンダーキャッスルは駐車場からかなり歩かなければならない上、入場料も安くないので気軽に利用できるとは言い難いのが現実です。以上の事を解決してくれる、小学生以上が気軽に入れて食事スペースもある体育館のような公共施設があると助かります。図書館のようなものが一緒になっていると尚ありがたいです。・問 19 について、どのような事業なのか日常で触れる機会のないものは分からないとさせていただきます。

(女性、30 歳代、増田)

- Y2 プラザは、いつも利用しています。子供たちもすごく楽しそうでうれしいです。子供たちにとって、車を利用できないお年寄りにとって住みやすく平和な横手市になってもらいたいです。

(女性、30 歳代、十文字)

- 部落、近所に子供の数が少なく、子供達（我が家の孫も含む）の遊び場がなく、空き地、道路（農道）で遊んでいると大人達にじゃま者扱いみたいにされ、近所の茶飲み話になっています。子供（孫）等いる家が肩身の狭い思いをしている現状です。30 代、40 代、50 代の男女が独身で住みやすい環境の地域です。もう少しどうにかなりませんでしょうか？

(女性、70 歳代、平鹿)

(1-2 健康な心と体づくりの推進)

- 山内に住んでいます。廃校になった中学校の体育館や運動場を地域の住民が体力づくりをしたりレクリエーションに気軽に利用できるようにして頂きたいと思います。他の地域のようにグラウンドゴルフ場を常に気軽にできるように常設して頂けたら他の地域の方々も訪れて下さると思います！！よろしくお願い致します！！

(女性、60 歳代、山内)

- 近隣の病院が分からない。時間帯が合わず、行きたいのに行けない。

(女性、20 歳代、平鹿)

- 自転車専用道路をつくって健康につなげるようにお願いします。無理なら、せめてデコボコな路面を自転車かスムーズに走れる様整備してほしいです。通勤も自転車を推奨する様に取り組んでほしい。公園には大人が運動出来る様な用具を置いてほしい。(たとえば鉄棒)

(女性、70 歳代、十文字)

- 児童扶養手当を大学生まで伸ばして欲しい。市の給付型奨学金制度を作って欲しい。母子家庭の灯油券があれば嬉しい。

(女性、40 歳代、横手)

- 検診についてですが、高齢者の無料の件です。75 歳以上で癌が見つかったとしても緊急性はないと言われていています。現在若い人達の癌が増えている一方検診を受ける人は決して多いとは言えず、生活する為には検診よりも生活費にお金を使ってしまうと思われれます。高齢者の癌検診よりも若い人達にも癌検診を気軽に受けられ癌の早期発見・早期治療、若年死を防止するべきではないでしょうか。若者が元気に暮らせる横手市になれるよう願います。

(女性、50 歳代、山内)

- 県外出身なのであまり役に立たない意見ですみません。横手に来て一番いいなとおもったことは「健康の駅事業」です。高齢者の方も生き活きと活動していて、健康寿命の延伸につながると思った。
(女性、20歳代、横手)
- 若い人…家にいる方（ひきこもり）にも、ぜひ社会参加してほしい。働いて税金等納めて暮らしやすい社会に。
(女性、60歳代、大森)
- 秋田県は「自殺者ゼロ」を目指してなくて一人の命より「%」しか見てない。窓口や電話でのマニュアル通りだけの対応では救われない命がたくさんあります。一本の電話の勇気。多病息災の現代だから、病気や障害を持っている人でも無理せずできる事を情報提供、いろいろ試せる機会を定期的に継続。可能性をあきらめないよう。
(女性、50歳代、横手)

(1-3 健康でいきいきとした高齢社会の推進)

- 横手市で皆様が選んだ市議会議員様達は町のために何をやってくれているのでしょうか。私は自営業（理容）です。子供110番を持っていますが今は、老人の人達が左を歩いてフラフラです。自分の前で見ていると、緑の信号を渡ることが出来ず、赤信号を通る人が多い。老人が道路を通ることが出来ない人を守ってやりたいと思います。「自分もいつか、そうなるかなと思います」今の所お客様と会話出来ます。
(女性、70歳代、雄物川)
- 介護支援や、施設の整備には大いに不満があります。施設にショートステイをお願いすると、帰宅時には歩けないほど弱ってしまうこともよくあります。若い時はよく働き、老いると邪魔者もしくは、年金目当てのホームで過ごす。そんな寂しさを感じます。
(男性、50歳代、横手)
- 屋根の雪下ろし支援事業を利用しましたが一人暮でお金があると思った業者の方が（年金だけなのに）これなば残業しねば出来ないから午後から一人ふやすと言って（午前中4人午後1時から1人）屋根に登ったのが、8時20分 10時、3時に1時間休み、3時に30分休み3時40分に降りて来て外で立っていたので中に入れて、屋根の上は全体足で踏みつけてお終り。市の請求書を見てびっくり8時~4時まで4, 5人。市役所の人に話をしたんだけど「私達も名刺を持って頭を下に行っているのだから勘弁して下さい」と言われた。うちよりも大きい知人の家は1/2でした。
(女性、60歳代、横手)
- 高齢化社会に伴い、一人ぐらしあるいは老人だけの世帯などは増えている昨今、山間部や不便な地域に住む人たちが、まとまって高齢者住宅のようなものに住むようにできたらいいのではと将来の自分も含めて考えています。お年寄りはどうしても住みなれたところをはなれたくないといってその場に住み続ける人が多いと思います。災害時のことや、孤独死を考えると、何とかならないものかといつも思っています。
(女性、60歳代、平鹿)

- 高齢の一人暮らしの不安はすべてです。生活の身の回りの事、交通手段、所得の低さ等々安心して暮せる横手市、孫の将来の明るい横手市、市に対する希望（要望）はいっぱいです。
(女性、60歳代、十文字)
- 子育て支援と、介護支援を望みます。
(女性、50歳代、十文字)
- 夫婦二人、年金で病院の回数が増え、これから先がとても心配です。冬の道の雪なげ、体調が悪い時。
(女性、60歳代、横手)
- 介護保険料が他地域より高めなのが解消できるといいと思います。
(女性、60歳代、横手)
- 皆さまそれぞれに頑張られているのではないですか。農業などの人手不足と伺っています。中高年など元気な高齢者を使って下さい。賃金等手に出来ればもっと自宅から出て社会参加できるのではないのでしょうか。
(女性、60歳代、平鹿)
- 一人暮らしのお年寄りの人が孤立することのない様地域内でネットワークを作り見守るシステムが必要だと思います。
(女性、20歳代、十文字)

(1-4 障がい者（児）福祉の充実)

- 障害を持っている人が安心して笑顔で働けるようにしてもらいたい。一般と一緒に仕事する時は特に気をくばって、相談させる時、口言ではなく、相談しやすい環境をつくってもらいたい。なかなか本人では言いづらいと思うのが実態です。
(女性、10歳代、横手)
- 障害者雇用において、正社員になれるチャンスが欲しい。合併したことによって地域によっては忘れ去られた場所がたくさん増えたと思う。バス無し、除雪対策の充実をもっと考えてほしいです。除雪してくれる人が出勤した後で除雪車に来られた時には本当にこまり果てます。よせてくれる人がいません。又、雪の寄せ場ありません。買い物も車椅子では屋根付きの駐車場のショッピングセンターがほしいです。スーパーも同じです。
(男性、30歳代、平鹿)
- 精神障がい者が少しでも手に職をつけるような就労支援がうけられたらいいなあと。例えばリタイアした職人の方で優しく手ほどきして下さるような、ゆっくりでも一步一步進んでいけるような仕組みがあれば助かる人が多くいるのではないかと思います。どんなことが向いているか、試させてもらえるようなきめの細かな支援を望みます。リタイアした職人さんで理解して協力していただける方と行政とつながってほしいと強く願っています。
(女性、50歳代、横手)

(1-5 低所得者福祉の充実)

- 生活保護をもらってる人が、パチンコや飲食している者が沢山います。一生懸命全税金を払っている私等が馬鹿みたいです。
(女性、60歳代、十文字)
- 「生活保護者」「子育て支援」を支えてる他の人の税の負担で税金が高い。
(女性、40歳代、平鹿)
- 介護保険、国保など年金から天引きされていますが、それは国の決めた事です。でも高額医療負担や介護費用などの免除などはわかりにくいのがあります。どうか税金は国民の義務ですが、低収入者に対して、もっとわかりやすくお知らせください。
(女性、60歳代、横手)
- 低所得者福祉について気になる世帯があります。なかなか介入は難しいのかもしれませんが、一人の住民も制度のはざ間に落ちないように、支援が入ると安心です。
(女性、20歳代、横手)
- 低所得者で生活するだけでいっぱいです。子供を大学に入れる事を出来そうもありません。子供達の未来を考えて頂ければと思っております。
(男性、40歳代、平鹿)
- 生活保護制度を本当に必要な人が利用出来てない。タクシーに乗ってパチンコに行く人は必要ですか？働いている私より支給金額が多いのはなぜでしょう？働いているのがバカみたいです。
(男性、30歳代、横手)

(1-6 福祉を支える人材の確保と育成)

- 介護の人達にもっと支援してほしい。介護人の給料を上げてほしい！！横手市だけではなく国全体給料を上げてほしいと私の子供がいております(介護しています)。給料が13万ではアパート代、車検代で生活できません！！どうかよろしく願いいたします(乱筆ですみません！！)
(女性、50歳代、十文字)
- 介護士・保育士の人で不足とは言うが、給料が安い為、集まらないという事であろう。資格を取得して最低賃金すれすれで職に就くわけがない。働きたくても暮せないのでは職にならないのです。
(男性、40歳代、雄物川)

(2-1 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実)

- 小学校のスクールバスについて、夏はあるいて 40 分、冬も歩いて登校しなければいけません。晴れていればいいのですが、吹雪の時や歩道の除雪ができていない時は危険です。距離的にはバス通学にならないかもしれませんが、安全面を考えて、スクールバス利用を検討してほしいです。

(女性、30 歳代、平鹿)
- 学校の給食費を無料にしてほしい。

(女性、30 歳代、十文字)
- 老人が多くなって大変だと思いますが、これからは少子化対策を考えてほしい。子ども達への福祉や学校教育での個別に対応できる先生への指導をお願いしたい。若者が流出しないような横手のよさを教育していったら良いのではないのでしょうか。

(男性、20 歳代、雄物川)

(2-2 安全で安心して学べる教育環境の整備)

- 公共施設の建材物の質の悪さを感じます。床にも合板が使われ、ワックスで保持。水ぶきができない学校の床は実用性もなく、建築前は見取図を見ての確認のみ。公共施設の建設には、金もちの体質が潜んでいると P T A に行くと強く感じます。誠意のある対応とは名ばかりのところ人が人にはある。特に役所や公務員というのは残念です。

(男性、50 歳代、横手)
- 中学校の統合に伴い通学区が拡大し、スクールバスが運行されています。スクールバス対象地域から外れていても、距離的にかなり遠い。雪道を重いスクールバックを背負って歩くにはかなり大変という状況にあります。親が送迎できない日もあり、とても困っています。スクールバスとまではいかずとも、登下校時間帯にあわせた循環バスの運行があると助かります（主に中学校からの下校時間にあったバスがなくて困っています）

(女性、40 歳代、横手)
- 高校卒業後に学べる学校がほしい。

(女性、40 歳代、十文字)
- 中学・高校の屋外施設は新しい学校は非常に設備が整っているが古い学校のグラウンド、コートはじょうだんのような代物である。もう少し格差を是正してもらいたい。あと屋外スポーツでは冬季は雪のためハンデがあるが、屋根付きの練習場がない。雪国に住むのはそれだけでたいへんな生活をしいられているので、除雪費だけでなく、施設維持費も国に出してもらって屋根付きの屋外練習場を造ってもらいたい。あと、秋田自動車道の片側 2 車化、在来線を走るなんちゃって秋田新幹線ではなくて本当の新幹線の横手開通を横手市でも取り組んでもらいたい。あと横手駅の東口と西口をむすぶ連絡通路(車両通行できる)は絶対に必要です。

(男性、50 歳代、横手)
- 横手南中の駐車場が少な過ぎる。何とかならないものか。ぜひ考えていただきたい。人数（P T A 会員数）に対してあまりにも少ない。北中や明峰中の様なサブ体育館があっても良いと思

う。もっとのびのびと学校活動ができる手助けをお願いしたい。

(女性、40歳代、山内)

- 地域から学校がなくなると地域の元気がなくなる。学校建設にお金をかけすぎです。これ以上の小中学校の統合は必要ない！どうか止めてほしい。

(女性、50歳代、平鹿)

- 十文字町の小学校が統合になりますが、不審者も多いので距離に関係なくバス登校にしてもらいたいと思います。

(女性、30歳代、十文字)

- 子どもたちが公共交通で高校に通えない。

(男性、50歳代、十文字)

(2-3 元気なまちを築く生涯スポーツの促進)

- 子供達にスポーツを実施してもらおう環境づくり。(スキー場など子供達は無料にするなど)

(男性、40歳代、大雄)

- 高齢者も利用しやすい娯楽施設やスポーツ施設を作ってもらいたい。

(女性、50歳代、大森)

- 「かけ声だけのスポーツ立市」が不満 実際に活動している団体に対する補助金は減額されていくばかり。対外的なPRのみで内側は見えていない。外面だけに感じる。

(男性、60歳代、大雄)

- 山内スキー場の存続を検討してほしい。天下森のみになるとスキーやスノーボードすら出来ない子供が増えると思う。スポーツ市立と言いながら体育館内で行う競技を充実させるのは方寄っていると思うのですが…

(女性、40歳代、山内)

- スポーツ・レクリエーションの振興には関心がありますが、大鳥公園の市民プールが閉鎖されて久しくなっております。秋田県でも指折りの施設だったので残念です。できれば小学生から大人までが楽しめるプールの復活を願っています。

(男性、70歳代、横手)

- 市に意見、提案をだしてもかなうものではないのでやめますが、なぜアリーナをやめたのか、私には納得いきません。

(男性、60歳代、平鹿)

(2-4 活力ある地域と心豊かな人を創る生涯学習の推進)

- 本庁、かまくら館周辺の駐車場が少ないと思います。特にかまくら館での催事の際、駐車場に困るケースが多数。かまくら館、市民会館のホール客数の中間 500 程の音楽ホールがあったら有り難いのですが、他の要望もたくさんあると思いますから難しいでしょうか。多目的ホールではなく音楽ホールがあったら有り難いです。

(女性、50 歳代、雄物川)

- 笑顔が一番ということで県出身の映画監督の作品郡を漫画館で定期的に上映していただきたいと思います。斉藤寅次郎、佐々木康、石田民三(増田生れ)＝加戸野五郎、伊賀山正光等。斉藤だけでも 250 本あるそうです。(エノケン主演)

(男性、70 歳代、増田)

- 横手市立図書館を利用していますが、駐車場が狭く、隣接する銀行におかざるをえません。駐車場が広くとれる場所への移転は考えられないでしょうか。また冬場は館内が大変寒く、読書できる環境ではありません。係の人に聞いたら、「ボイラーが古くて」という返答でした。

(女性、60 歳代、増田)

- 駅前利用アンケートがありましたが、駐車場の問題もあるためできれば市街地から離れた場所に広い駐車場を備えた大規模な図書館があれば良いと思う。教養大の図書館の様な雰囲気であれば市外からもたくさんの方が集まると思う。そこにカフェも入れて小ホールなども併設されていたら毎日通いたい場所になると思う。休日に一人で行ってゆっくりできる場を求めている人はたくさんいるはずです。

(女性、50 歳代、平鹿)

- 横手市でもあちこちの公民館等で楽しい講座があるようですが、場所が不案内のため参加できません。大仙市の「ペアーレ大仙」のような各種講座が(3 か月くらいで参加者募集の企画)わいわいプラザを会場に企画されたら参加したいと思っています。ずーっと参加ではなく 3 か月くらいの区切りの口座はストレスなく気軽に参加できるし、バスターミナル近くの施設で、楽しい企画、参加しやすい企画があると、うれしいです。情報収集力が低くても公報は見るので公報と共に、様々な楽しい企画を告知していただくと助かります。バスターミナル近くで図書がたくさん手にとってみれるとうれしいです。役所機能もバスターミナルと共にあると助かります。回覧板や行政補助の配布係は高齢者のみの世帯だと大変です。行政の配布物の配布方法はこの方法の困難になるのでは？免許を返納しても、楽しく生活できるようなサポートをいろいろ考え、公告していただきたいです。

(女性、50 歳代、平鹿)

- 横手図書館の駐車場が狭く、不便を感じる人が多いです。近くに駐車場があればもっと利用しやすくなると思います。

(女性、40 歳代、横手)

- 市立図書館が小さい。駐車場を大きくしてほしい。

(女性、20 歳代、十文字)

- 安い料金でパソコン教室等を企画してほしいです。横手市ではパソコン教室がないので、湯沢市に通っています。周りにもパソコンを習っておぼえたという人がたくさんいます。市で企画してください。

(女性、40歳代、横手)

- 公共施設(図書館などは特に)はもっと利用する市民の立場になって設計して欲しかったです。

(女性、60歳代、増田)

- 現在ある市民会館は、高台にあるため高齢者にとって交通の便も悪く利用しにくいので考慮してほしいという意見がありました。

(女性、70歳代、横手)

- 図書館の再配置、市民会館の建て替え、横手体育館の建て替え、余暇を楽しめる街であってほしい。

(女性、50歳代、平鹿)

- 大きな図書館がほしい。地元の施設だが、十文字文化センターは建てかえ不要。きちんとしたホールを市内につくるべき。なくすものはなくす覚悟を。

(男性、50歳代、十文字)

(2-5 よこての伝統文化の継承と再発見)

- 本多正純公の終焉の地・石坂洋次郎・後三年の役等々、歴史の町であるのに文化面に重きをおかず、予算も少ない。

(女性、60歳代、横手)

- (地域文化の振興) 後三年合戦シンポジウムの際、ちょっとした託児スペースがあると個人的に助かり、ぜひ一度参加してみたいと思っています。沼の柵に関するような資料スペースなど、雄物川郷土資料館や図書館などに展示してみたいかでしょうか。後三年～平泉の歴史までつなげて平泉のような有名な観光地になるといいですね。

(女性、40歳代、大森)

(3-1 安心して暮らすことのできるまちづくりの推進)

- 空き家の対策が大事に思う。
(男性、70歳代、増田)
- (交通安全・防犯対策の推進について) 交通防犯活動が見えない何をやってるか不明。
(男性、60歳代、増田)
- 高齢化社会になり、全国的に問題となっている空家が多くなり冬の時期に雪おろし管理等が大変との声を多くききます。空家対策等が大きな課題のような・・・。
(女性、60歳代、十文字)
- 市内には空家と思える家が多くみえる冬などにはどうしたものかと思う。市内には、一人・二人暮らしの家族が多い。一人になり、孤独死も多々ある。後継者もなく、家をこわすのに面倒が多く、金額もずいぶんかかる。はっきりしているのならもっと簡単にとりこわしが出来る様にしたら市の空家もスムーズになるのではないのでしょうか。
(女性、60歳代、平鹿)
- 若い人や子育て世代の人が安心して暮らせる住み良い街作りを期待します。
(女性、20歳代、十文字)
- 駅前の夕方からのむく鳥なんとかして！！駅西口の駐車のマナーの悪さ
(男性、50歳代、雄物川)
- 消防団員の減少をなんとかしてほしい。(大森町)
(男性、50歳代、大森)
- 南小学校周辺の街灯が何ヶ所も切れたままになっていたことがありました。”街灯がきれいだったら連絡を”と広報にお願いをしてはどうでしょうか。何年か前までは灯がなくてもよかった所でも住宅が建ってくると必要と思われる箇所があると思います。みずほロードトンネルに続く城南町のあたりです。トンネルに近い方ですがとても暗いと思います。
(女性、50歳代、横手)
- 横手工業団地「アダマンド」の会社と駐車場の間に横断歩道の線がうすれていて運転者(乗用車)としてはとても確認しづらいです。早急に横断歩道の線を、引いてほしいです。
(女性、30歳代、十文字)
- 公共施設を考えるには、十分な駐車場の併設がなければ意味をなさないと考えます。自然災害が(地震、水害、風害など)頻繁におこりうる昨今、ある程度の市民を受け入れる施設の充実を計る事は必要と思われます。そういう点で、防災拠点や機能を含んだ各地域局の重要性を認識してほしいと思っています。公共交通がない地区からの病院や医院などへのアクセスは確保してほしい。住みよい横手をめざして市民として協力していきたいです。
(女性、60歳代、雄物川)
- 横手市で不審者情報が多いと聞きました。子供が小学校へ通っているため、とても不安です。学校や教育委員会から不審者情報メール等は送られて来ますが、実際、子供達は自分で身の安全を守らなければなりません。なので、子供向けの防犯対策教室のような取り組みを横手市で行っていただけたらありがたいです。
(女性、30歳代、増田)
- 崩壊している家屋が危険で何とか対応してほしい。
(女性、40歳代、十文字)

(3-2 美しい自然環境と快適な生活環境の保全)

- 条里地区、横手体育館、サンサン横手、消防署付近雑草だらけで非常に汚いと思います。
(女性、60歳代、横手)
- 一人暮らしですが（子供（県内在住）、（私は）60代後半）終活として自分一人のお墓をどうしようか考えています。横手市では何か計画募集がありますか。秋田市みたいな合同葬とか。子供に負担をかけたくない。予算的に自分で実現できるような。
(女性、60歳代、横手)
- 横手川の両岸に植栽した桜とアジサイを手入れして季節毎に楽しめる回廊を維持して行ってほしいと思います。若い人たちが定着できる仕事がたくさんあれば良いですね。
(女性、60歳代、横手)
- ビニール系のごみを毎月のように燃やしている家があり不快な思いをしている。他の人の健康にも影響することなので指導をしてほしい。高齢者は特に無関心な人が多い。燃やすごみを無料でだせれば少しは変わるかもしれないが…。
(男性、50歳代、十文字)
- 「ゴミ問題について分別ごみのプラスチックを出しているのは近所で私一人だけです。皆燃やしてます。環境汚染に対する認識不足が目立ってますので何とか考えてほしいです。
(女性、60歳代、大森)
- 他県の市町村に比べて道路側の季節の花壇や市役所周辺の花壇が非常に少なく活気のある町に見えない。町内会や個人でも興味ある方に協力していただいてもう少し花のある町づくりに力を入れてほしいです。
(女性、60歳代、横手)
- 公営の合葬墓計画について、近年の家制度の変革から急速にニーズが増えています。早急に計画してください。
(男性、70歳代、横手)
- 県内外の市とくらべて当市は路上が汚れている。清掃がなされていない。各家、各事業所等の道路を市民が自発的に清掃をするようにうながして、子供たちもそうすることが当たり前の市風になればいいと思う。
(男性、70歳代、横手)

(3-3 災害に強いまちづくりの推進)

- 問2について、自分たちの避難場所が横手北小学校なのか、横手北中学校なのか見ても分らなかった。各家庭に“あなたは〇〇が避難場所です”と配布して頂けると嬉しいです。
(女性、30歳代、横手)
- 防災マップ、地図の場所が明確でなく、みる気しなかった。防災マップは全く見づらくてせっかく作ったのに無駄だった。
(女性、70歳代、十文字)
- 避難名簿「精神障害者保健福祉手帳1級を持っている人」これはおかしいと思います。2級でも必要な場合があると思います。なぜCo2をだすものを可燃ごみとしているか。やや満で安心しないでほしい！このアンケートはこれ一回にしてほしいと思います。真面目に答えました。これにたよらなければ市民の気持ちを理解できないのであれば、大さんやめたほうがいいよ！市民にも所得のちがいがあり、意見のちがいがあります。それをバヤッと、アンケートの結果でこうなりましたでは市長の責任が感じられません。ワンマンでもいいので自分の気持ち、意思で動く市長であってほしいと思います。それが人の上に立つということです。
(男性、50歳代、平鹿)
- 災害マップが重すぎて(厚すぎて)使いづらいです。
(女性、50歳代、横手)
- 災害時の避難場所ですが、近所のどなたに聞いても知ってる人はいませんでした。今現在住んでいる自分の家付近が一番安全だと思っているようです。日頃の近所づきあいがありますのでおたがい声をかけ合っています。人数の確認などは、やはり近所だと思います。小さなまとまりが守ってくれるようです。
(女性、60歳代、横手)
- 防災マップは見ても意味がわからない。金のむだ使いとしか思えない。
(男性、70歳代、横手)
- (災害時の避難について) 町内では60才以下があまりいなくて高年齢が多い町内だと思います。災害時は大変な様に思います。近所付き合いも限られた人だけであまり話合いには出来ない様に思います。その家庭のプライバシーがあるため全員が参加する様には思いません。町内の避難場所も2, 3カ所の町内をこえた所なので高年齢は難しい様に思います。
(女性、60歳代、雄物川)
- 昨年7月水害にあい住む所がなくなりました。市営住宅に誰でも入れるようにしてくれませんか。お願いします。
(女性、70歳代、大森)

(3-4 循環型社会の一層の推進)

- クリーンプラザの働いている人びっくりするほど態度悪いです。委託なんだろうがあれはひどいですよ。
(女性、40歳代、横手)
- ごみぶくろのうすいのを改善してほしい。
(女性、40歳代、平鹿)
- 城南町4班に住宅が増えてもゴミ集積所が遠くて、みずほロードを渡った5班にお世話になっています。どこの家にも迷惑にならないような市のゴミ置き場設置できる小さなスペースがないでしょうか。高齢になったら大変だろうと心配しています。
(女性、50歳代、横手)

(4-1 魅力ある農林業の振興)

- 地産の売りこみがほしい (施設のコーナー)
(男性、70歳代、増田)
- 援農については、援農してもらいたい方なのであしからず!!
(男性、30歳代、大森)
- 市の一番の物作りは農業だと思います。果物、野菜、いろんな物が他県におとらないと思います。人手不足を解消するため会社組織化を考えていくべきでは? 働きたくおもっている老人もたくさんいます。ただ募集するだけでなく考えてほしいです。老人も子供も過保護だと思います。
(性別不明、年齢不明、地域不明)
- もっと兼業農家や若い女性の農業進出に対して支援してほしいと思っています。
(女性、40歳代、増田)
- 横手市は米くだものがとてもおいしい所です。しかしアピール不足で本当に残念です。いろんな所に国(内)、(国)外共に大きくアピールして盛り上げていったらいろんな所にうるおいが出てきてみなさん幸せになっていくと思います。
(性別不明、年齢不明、地域不明)

(4-2 活気ある商業の振興)

- 規模小さくていい店があってほしい（食料）（市で助成は・・・？）
(男性、70歳代、横手)
- 大型店は別として、店の営業時間がもう少し伸びると買い物に行きやすい。
(女性、20歳代、平鹿)
- 市町村融資制度について、創業者へはこれまでどおり、利子補給3年が望ましい。(ただし借換不可)増田地区を初め、創業者が増えているこの時期に制度を手厚くすることで、地域活性化に結びつくと思う。
(女性、40歳代、十文字)
- 市内で経済がまわるように。できるだけ市内で買い物することをすすめてほしい。循環の仕組みを市報で取り上げて欲しい。(経済波及効果など)
(女性、50歳代、平鹿)

(4-4 観光・物産資源の発掘と発信)

- 県内の市町村の取り組みの中で、一番印象に残っているのが、男鹿市。官民一体で、様々なイベントがある(ナマハゲロック、メロンマラソン、男鹿日本海花火、せどまつり等)継続して来た事により、その名も知られる様になり、若者を中心に、インパクトあるイベントを開催している。横手にも夏、冬、祭りはあるが、それ以外で盛り上げが足りない気がする。
(男性、50歳代、横手)
- 各イベントで出される横手の食べ物の味は、まったく美味しくなく、これでは二度と食べたいと思いません。その上湯沢などより値段も高いです。これではよそからのお客様は呼べません。それと、かまぐらの際の南小学校前の橋の上は毎年よくすべります。私もころんで腰を打ちました。
(男性、60歳代、横手)
- 横手のまちなかには観光客にきてもらいたい場所がたくさんあるが、それが点在している。横手駅を起点としたミニバスでまわられるバスがあればいいと思う。病院や買い物の為のバスは走っているが、それのように例えば石坂洋次郎記念館、日新館、内町の通り等を巡回するような。また、駅に降り立つ観光客のため(電車で来る人は少ないかもしれないが)の案内図等もっとわかりやすく。バスの充実により電車を利用する観光客がふえていくような努力。
(女性、60歳代、横手)
- 温泉施設の継続実施
(男性、40歳代、大雄)
- 他県の人々が来た時に案内するような場所も飲食店もない。「きりたんぼ」「なっとう汁」「つけもの」等おいしい物がたくさんあるはず。人口が少ない分、誘致できるよう、田舎らしい遊びに観光に来たいと思える町を作り、道の駅等も充実するべきと思う。日本庭園、昔風の家等のきれいな公園で他県の人々を呼び込める横手のいい所を前に出すべき。増田も、「アップルパ

イ」、「りんごあめ」等りんごを使ったおみやげを作ったらどうでしょう。

(女性、40歳代、平鹿)

- 横手市役所御中 いつもありがとうございます。地域の為の町づくり感謝しております。横手にはすてきな横手城、ふるさと村がございますが、周囲の観光に対する美意識がもう少し必要だと思えます。ふるさと村となりの田久保沼の散歩道はとてもステキなのに枯れた松の木があり美しさに欠けます。市の方で沼の周りに桜を植えることはできませんか？名所と言われてみたいと思いませんか？横手城の裏もライトアップするなど工夫は必要だと思えます。職員の方の斬新なアイデア・センスを期待しております。がんばって下さい！

(性別不明、年齢不明、地域不明)

- 先日久しぶりに石町方面から追廻方面に向かう途中、碓大橋を渡り終わる頃にど〜んと見えてきた城南高校と横手城に感動しました。ところが追廻方面に向かう途中どこにも横手城への行く道路標識がないのが残念でした。新緑の中に一際目を引く横手城なのに…。残念です。道路標識に書き入れていただくことはできませんか。国道13号線から富士見大橋通り入口の交差点を市内に入ろうと右折するときの信号をもう少し長くしてほしい。冬場は少し長くなっているようですが、今は直進車が途切れるのを待っていると3台位の右折で終わってしまい何回も信号を見送っています。冬場の時位の長さでもいいのでもう少し右折OKの時間を長くしていただきたい。

(女性、50歳代、横手)

- 観光施設や観光イベントをもっと充実させてほしい。

(女性、20歳代、山内)

- 横手市観光の窓口は横手駅が核になるが、いざ駅に降りたって途方に暮れる観光客を目にする。(ディステーションキャンペーンで降り立って「何だ、何もないのか」と次の時間まで困っているのを見た。今年も西口でウロウロしているトランクをひいた観光客を何度も見ている。)観光資源はあるが連携がとれていない点もあるように思う。歓迎の雰囲気駅前を作りそのうえでふるさと村、を中心にして各方面へつなげるような観光順路案を提案し、他には目的別にいくつも用意して観光ボランティアも育成してどんどん積極的に取り組まねばならないのではないかな。農業体験、除雪作業見学及び体験も誘客できると思う。

(男性、40歳代、横手)

- 人口が減る、外からの人(観光に来る人)をどのようにして呼ぶか 緑(農業の良さ、加工、民泊…)等で迎えてできるだけ横手市にお金を落としてもらいたい。食べ物がおいしい、発酵食品

(女性、60歳代、大森)

- かまくら祭り→せっかくの横手市ならではのイベントだが、あまり見どころがわからなかった。より集客をねらったパンフレットの充実やリピーターの確保が必要かと思う。

(女性、30歳代、横手)

- 温泉施設譲渡により質の低下が明らかになりました。観光誘客と言うわりに宿泊施設の質の低下がもたらす損害の事を考えなくても解るようにしてもらいたい。お客様目線。

(男性、30歳代、横手)

- 観光客を呼ぶための(表面だけの)町づくりに疑問を感じます。(女性、60歳代、増田)

(4-5 企業誘致の推進、企業留置と雇用対策)

- 資格が取得できる講座をたくさん開いてほしい。秋田市まで行かないと取れなかったりと、子育て中の人には通うことすら難しいので、地元の横手で勉強ができれば、すごく助かる。(介護職員初任者研修、医療事務など)
(女性、30歳代、増田)
- 横手市に住んで30年以上たちますが、よく整備されアイデアを実現している街だと思っています。若い人たちがこの自然豊かな住みよい街にもっと定住するためには、雇用が必要不可欠かと思えます。働き口をもっと増やすための取り組みがほしいです。市政に携わっていらっしゃる皆様のご尽力に期待しています。
(女性、50歳代、横手)
- 膨大なお金をかけて大学に入れても、県内・市内に就職する企業がなく県外在住になり、高齢者暮らしが多くなっている。企業誘致も徐々に進んでいるようだが…
(女性、60歳代、横手)
- 昼間人口が夜間より多く、すなわち他市町村からの就労者が多いということでもあります。今後さらに企業誘致・起業支援を推進し、就労者の市内移住を促進する事が望ましいと思われまます。他に、大卒者が戻ってその技能を生かせるような高度の技術を要する事業体が増えるように支援する必要があると思われまます。県南では最も施設が充実している自治体だと思っております。
(男性、30歳代、十文字)
- 若い人達の定住のために、農業だけでなく雇用の促進にもっと力を入れてほしい。活気ある横手になってほしい。
(女性、20歳代、大森)
- 県外に住んでいる子供を呼び戻そうにもこちらに就職先が見つからず、なかなか難しいと感じています。
(女性、50歳代、横手)
- 高齢者が増えている横手市で退職してからの生活が心配です。働けるうちは仕事につけて収入を少しでも得たい。高齢が子育てに協力したりできる限りで仕事を続けられる環境にしてほしい。年金が少なく退職金もない市民に何かしらの補助をしてほしい。
(性別不明、60歳代、横手)
- 子供達が働く場所を多くしてほしい。
(女性、70歳代、横手)
- 人口減少の施策の一つとして、企業誘致に力を入れてほしい。製造業に限らず、働く場の確保が最重要課題だと思う。人が働き、住む事でまちは維持できる。市職員の活躍に期待します。
(男性、60歳代、横手)
- インフラの整備が非常に遅れている。また福祉の施設に力を入れているのはわかるが、将来の税収確保に対しての取組がなされていない。将来の為に企業の誘致に力を入れるべきでないか。
(男性、40歳代、横手)
- 企業誘致→働く場、雇用増大
(男性、50歳代、横手)

- 県外、外国からの観光客誘致。この広い土地を利用する企業の誘致に力を入れてほしい。それが横手市の発展につながると思う。

(男性、40歳代、平鹿)

(5-1 雪国の快適な暮らしの実現)

- 朝日が丘在住の者ですが、自宅前の道路に冬雪がいくら積もっても一回もロータリー車が来てくれないので、冬場には一回ぐらいは雪を除雪してもらいたい。

(男性、60歳代、横手)

- 冬期、除雪大変ありがたいのですが、私の玄関前にだけ近所の人より2倍以上(車のバンパー付近)まで雪が置かれてここ20年以上続いています。来年もその様であれば写真をとって市役所に行こうかと思っている所です。

(男性、60歳代、横手)

- 横手市はまもなく人々が8万を切ろうとしている。厳しい雪国から、暖かいところに移住する人もいる。安心できる雪対策を考えてほしい。

(男性、60歳代、横手)

- 冬国、横手市の除雪は他の市町村より良く出来ていると思いますが、細い道、子供達の学校帰りの時間帯に雪が多く降る日など、夕方にも除雪してもらいたい。各家庭で除雪車が置いて行った雪の固まり、一人住まいの人などは(女性)大変な苦勞であり、融雪溝を増やしてほしい。

(女性、60歳代、十文字)

- (雪対策の充実について) 雪国なのに対策が後手すぎる。人口減少の原因となっている。

(男性、60歳代、増田)

- 昨年こちらに転居して、雪の多さにホトホト困りました。少しずつでも流雪溝ができれば希望がもてるのにと感じています。

(女性、50歳代、横手)

- 雪対策の充実を願います。冬の通学路の安全を考えて(旭小学区)

(女性、30歳代、横手)

- 除雪を充実してもらいたい。国道や県道に出る時、雪の壁で車が見えない。細かい所もお願いしたいです。

(女性、40歳代、横手)

- 西野地区と南巻地区の隣接してる住宅街の道路(通学路有り)の件で意見有ります。雪の時期住宅～雪捨て場まで往復約600m約10往復2時間以上かけて早朝にスノーダンプ押しながら歩くのですごく苦勞してます。他住民も同様で毎年近隣トラブル多いです。流雪溝ない事と早朝に除雪車来ると大きな雪の塊がたくさん住宅側に置いていかれる事です。住み良い町にしたいならば流雪溝つukれないでなく住民の為に考えてください。それが住み良いまちづくりになるのでは・・・。

(男性、70歳代、横手)

- 雪おろし不要タイプの屋根を普及させた方が良い。補助金を出すなど。住宅の小型化等を特に老夫婦世帯に提案し、補助してほしい。

(男性、40歳代、横手)

- 十文字曙街の元町道が合併により市道となりましたが、町内で1番早く(30年位前)融雪工事をされましたが水の出が悪く機能がなされていません。是非改良をお願いします。

(女性、70歳代、十文字)

- 冬季積雪時の排雪がほとんど来ません。毎年・大金をかけて雪降り、排雪をしていますが、このままではますます人口が流出するのやむを得ないと思います。横手市の最大のネックだと思いますが。

(女性、60歳代、横手)

- 十文字町の駅(ふみきり)仁井田の所道路がデコボコなのはいつ直りますか?+冬期の段差はどうなのですか?車で通行するときも、かなりの段差で怖い時があります。

(女性、50歳代、十文字)

- 毎年、冬の多い雪で除雪、屋根の雪下ろしで不便を感じます。高齢者、若い人に限らず屋根の雪下ろしでの事故は心が痛みます。仕事の日には雪寄せがちゃんとできない分、休日は殆ど雪の事で終わってしまいます。もっと安全に作業ができて暮らしやすい方法はないでしょうか?家では、安全ベルトを取りつけるものを屋根につけてもらい、登山用のベルト等も購入しました。できれば屋根にはあがりたくないです(正直)二人以上で作業を・・・と言われても現実皆さん時間見て一人でやっています。雪下ろし業者に頼んでもっと安い価格でできれば無理して高齢の方も屋根にあがることなく済むと思います。子供にも老人にも住みよい街にしたいです。暖房代も大変で少しでも補助があれば助かります。日中高齢の親が家にいますが、何か災害等あった時、心配です。若い人と同居だから・・・と、高齢世帯と区別されずに同じように支援してもらえたらよいと思います。横手市の会社は、他の県より給料が安く仕事も選べず若い人、年配の人も県外に出て行っています。給料が安く、結婚できない、子供を産めない人もたくさんいると思います。人手不足で困っている農家や企業に、給料が安くもっと働かなければならぬ人たちに、副業で働く場を与えてほしいと思います。それには職場のご理解も必要だと思います。これからは柔軟な働き方が出来るように、横手市にはお願いしたいと思います。

(男性、50歳代、横手)

- 横手市内の除雪は聞いていたほどひどいものではなく安心しました。今年の大雪は難儀だったと思います。ありがとうございました。

(女性、30歳代、横手)

(5-2 快適な移動空間の実現)

- 緊急車両の通れる道路の見直し（拡張）。イオン方面へ歩いて行ける道路（遠回りの為）。
(男性、70歳代、横手)
- (道路網の整備について) 国道 R13 や県道市道町道に限らず道路舗装が悪すぎると思います。素人でも出来る舗装修理、ひび割れ、穴ボコなどとにかくひどすぎると思います。雪国の特例として道路修理舗装は予算を4月末まで利用できるなんて無理ですかね。花見やGWに他県から来るマイカー、ツーリング族に気持ち良く走っていただける道路であつたらと走っていて思います。
(男性、60歳代、十文字)
- 小路の補修には行き届いておらないように思い大変困っています。
(女性、70歳代、十文字)
- 番匠田交差点の渋滞緩和をお願いします。(横手方面から安本方面へ右折する際、1~2台しか右折できないことが多いです。) ※特に午前7時~8時の出勤時です。
(男性、40歳代、横手)
- 道路を広げてほしい。
(女性、70歳代、平鹿)
- 十文字の方は、もう少し街路灯をふやしてください。私達の方は、孫達が暗くて大変です。
(女性、60歳代、十文字)
- 住み始めたばかりの為、よく分かりませんが道路整備や道路の路線が急に右折レーンになったりと走りにくい。雪が降った時に本当に大丈夫なのか不安です。
(男性、40歳代、横手)
- 交通の事ですが、駅の西口と東口が自転車も通れるとすごくたすかります。(中高生が回らなくてもよいからです)
(女性、60歳代、横手)
- 特にはないが、道路の整備をなるべく早く、対処してほしいです。
(女性、50歳代、十文字)
- 道に街灯がもう少しあると助かります。
(女性、20歳代、平鹿)
- 道路の拡幅、2車線化、自動車専用道路施設に特に力を入れてほしい。他県、他市への移動に時間がかかりすぎる。
(男性、40歳代、横手)
- 市民のために、いつもありがとうございます。国道13号線(特にラッシュ時)の混雑がひどいです。(十文字~横手間)道路を一部広げていただきましたがかいしょうされていません。国道側の信号の青の時間を長くすればいいと思います。ここを通る人々みんなの願いです。早急な解決をお願いします。(ここから地図)醍醐駅の信号、横手工業団地に行くローソンの信号を長くすれば渋滞解消できる。ローソン近くは矢印付きの信号にかわつたらかえって混むようになったので元に戻した方がいい。
(女性、40歳代、十文字)

- 湯沢市では4月から「まちもんゆざわ」という道路の破損などを市民がスマートフォンを使って投稿するシステムを試行運用しています。投稿内容は「Fix My Street Japan」のホームページから誰でも閲覧することができ、それを見ると道路の穴やカーブミラーの破損などが迅速に修復されていることがわかります。横手市でも同様のシステムの導入を希望します。
(男性、30歳代、増田)
- 山形新幹線そろそろ本気で考えませんか？
(男性、40歳代、十文字)
- 車の運転ができなくなるのでバスをお願いしたい。病院、医院に行く為総合政策部経営企画課の仕事に力をいれてくださる皆さん、本当に頭の下る思いです。どうか、今年も、高齢者の為に力をかけて下さるようよろしくお願いいたします。ただ甘えてばかりはいません。自分で、出来ることは頑張り、認知症にならないよう、町内の皆さんと月に1度のいきいきサロンで楽しく過ごしていきます。
(女性、70歳代、横手)
- 横手駅発、秋田空港行きのリムジンバスの運行をお願いしたいです。
(女性、30歳代、横手)
- 道の悪いところをあらたに舗装してほしいです。
(男性、20歳代、大森)
- 「道路について」穴が開いていたりヒビ割れが多く車のタイヤが傷む前に舗装をお願いします。
(女性、60歳代、大森)
- 秋田自動車道を全面2車線にしてほしい。他県から秋田へ遊びに来るとき遅い車の後につくとけっこうなストレスだと思う。「交通の便が悪いから秋田へは遊びにいかない」という人が一定数いるのではないかと思う。横手市にパチンコ屋以外の娯楽施設がないのでボーリング場や映画館などある程度子供たちと楽しめるものがあると良い。
(男性、30歳代、平鹿)
- 冬期間の除雪による道路のデコボコが6月、7月になっても目立ちます。補修工事をしてもらいたい。
(男性、40歳代、平鹿)
- 道路の舗装を徹底して直してほしい！！
(性別不明、50歳代、平鹿)

(5-3 市民が利用しやすい公共交通の充実)

- 横手市内の循環バスの逆回りが必要だと思う。
(男性、10歳代、大森)
- ふれあいバスのような無料のバスなどの路線を独居高齢社がその地域にどれだけいるか把握したうえで増やしてほしい。タクシー代もなく買い物や病院に行けない人いっぱいいます。
(女性、40歳代、横手)
- 現在体力に衰えが来ていますので近い将来公共交通等のお世話になると思っていますが、現在市内を走っている路線バスがいつまで運行しているか不安です。デマンド交通などの新たな取組も知っていますが持続可能な公共交通とは思えません。本来の公共交通事業に力を入れて安心して暮らせる横手市にしていきたい。
(男性、60歳代、横手)
- お年寄りの人の移動手段がなく苦勞している人が多くいます。気軽に利用できる何か良い方法があれば助かると思います。
(女性、20歳代、十文字)
- 免許を返納した高齢者がタクシーを利用しやすい制度を作してほしい。バスのなどの公共交通機関は足の悪い高齢者にとってはとても使いづらく、タクシーのように家まで迎えに来てくれるのはすごく助かるはず。現在、乗車運賃10%割引のサービスがあるそうだが、「横手市は半額で乗れます！！」くらいのことをしてもいいと思う。
(女性、40歳代、平鹿)
- JR横手駅周辺に公共の施設や病院など自動車の運転ができないお年寄りや学生が電車やバスなどを利用して集まる場所が出来ればいいなと思います。自分が年老いた時の事を考えると、公共の乗り物と公共施設の利便性が気になります。
(女性、60歳代、十文字)
- 私自身の今一番困っていることは、高齢者の一人暮らしなので受診や買い物の足がないことである。当事者の声を聞いて欲しい！（アンケートでも可）酒を飲んだりカラオケなどより社会と接触し、健康を保ち、少しでもよい人生を送りたいと考えるからである。（すぐに循環バスの見直しを）
(女性、70歳代、横手)
- 私はまだ車利用なので余り不便は感じておりませんが、よく聞く事で、市内は（よこまるくん）等が有り良いけれど、たとえば鶴巻、杉沢方面、静町方面、大屋方面（循環バス来ないもの！！）の声をよく聞きます。老令、免許返納時に受けられるサービス等、詳しく知らない方が多いように思います。当事者は知っていても家族が知らなかったり、家族は知っていても当事者は知らず高いタクシー代を支払っていたり。※免許返納の方以外の老齢の方が受けられるサービスが有るとよいと思います。バス料金の割引き、タクシー料金の割引等、助かると思います。
(女性、60歳代、横手)
- 高齢者が自動車免許を返納できるように循環バスの走る範囲の拡大していただきたい。買い物、通院等に使用できるように限られた本数でもありがたいと思います。
(女性、50歳代、横手)

- 循環バスのルート見直しの検討を願いたい。路線バスと重複している箇所が多くどちらも対象外となっている地域では利便性が得られていません。

(女性、50 歳代、横手)

- 専門の医療機関に通院していますが、公共交通の本数が少なく不便を感じています。そして、路線バスやタクシーの料金は年金生活者にとってはとても負担になります。立場の弱い生活者のことを考えて下さればありがたいです。

(女性、60 歳代、増田)

- ・運転免許証の自主返納サポート制度について、助成のバス・タクシーで使える 1 万 2 千円分の回数券は 1 回限りなんですかね？ ・運転経歴証明書の提示でタクシーの運賃やバス回数券の割引制度、県内 400 店以上の協賛店の様々なサービスが受けられるそうですが、どこの協賛店なのかは市役所の窓口に行けばわかりますか？ 実家の両親 80 代ですがデマンドタクシーを（病院に行く為に）たびたび利用するのですが、運転手さんによっては料金が 200～500 円ぐらい多く支払った事があります。他のタクシー会社さんによって料金が、5、600 円安い所もありました。私が仕事の合間に時間をもらって片道だけでも迎えに行く時もあります（少しでもお金を使わないようにと思って）※医療費より交通費がかなりかかります。

(女性、60 歳代、横手)

- 今後、自動車運転免許証を返納することを考えた場合、雄物川町からも各病院への循環バスが一日に 2 往復程度あると非常に助かると思う。今後検討してほしい!!

(男性、60 歳代、雄物川)

(5-4 地域拠点整備による市街地の活性化)

- 従来の役人主導の街造りはやめて、しっかり赤字にならない施設造りを民間と共に行っていく必要がある。「まちなか再生推進室」の今後の活動で今後の横手市の未来が決まるくらいの覚悟で臨み、メンバーに役人だけでなく民間人も入れるべきだと考える。駅前再開発は非常に重要で、ただ大きな施設を造るだけでなく人々が交流するために必要な配置などを考えるべき。例えば、札幌の大通公園のミニチュア版みたいに公園に商業地を配置したりなど。他地域の成功例を是非参考にしてほしい。(岩手県紫波町など)

(男性、30 歳代、横手)

- 駅前の活性化に力を入れてほしい。(女性、20 歳代、大森)
- 子どもが電車に乗ってみたいと言うので、横手駅で降り、昼食をとって帰ろうと思ったが、近くに子連れで食事をとれる店がほとんどなかった。親子で気軽に飲食できる店が駅前に出来てほしい。

(女性、40 歳代、十文字)

- 市中心部に固定せず特色により市内全域ととらえ分散させることで活性化されるのではと思います。おいしいお酒やつけものなど魅力がたくさんあるのに生かしていないのが残念。もっとアピールしたり、人を呼び込める工夫が必要と思います。

(女性、50 歳代、大森)

- 旧横手市の開発が主になっているように見受けられる。
(女性、60歳代、増田)
- 横手駅の近くに何か施設が出来るのはいいと思いますが、駐車場のスペースが確保できるのでしょうか。
(女性、30歳代、十文字)
- 横手駅前周辺は閑散としていて暗いイメージがあります。また、歩道が狭く、道が悪いので自転車を運転しずらいです。高齢者や若者が自転車で立ち寄れる様な店舗の充実。歩道を広くして、もっと街灯を明るくしてほしい。(増やしてほしい) そば、うどん屋さんや、たこ焼き屋さんなど軽食できる店舗があってもいいと思います。
(女性、30歳代、横手)
- 横手駅前のユニオンのビルが何に活用されている、店舗が入っているビルなのか？良く分からない。そのユニオンビルを活用した店舗が欲しいと思う。十文字駅前にも店舗(食品売り場、コンビニなど)があっても良いと思う。
(男性、40歳代、平鹿)
- あき家、あき地を有効に使って、地域を活性化してほしい。(特に旧市街地)
(男性、50歳代、横手)
- 既に商業施設が撤退した駅東口を再開発しても特に意味はないと思う。
(男性、20歳代、平鹿)
- 数年前に初めて横手に来た時の印象は「商店街もない、なんて寂しい駅前何だ…」でした。横手は秋田市に次いで県内2番目に大きい市とのことで期待した分、がっかりしました。大型店を誘致するだけでなく、横手駅周辺を中心とした、地元商店街のにぎわいづくりをしないことには、「横手らしい町の元気さ」を感じることはできないと思います。特に、駅前のホテルに泊まった時(まだ横手に定住していない時)夜にどこかに飲みに行こうと思っても、近くに魚民しか見つけられなくてちょっと残念だったので、飲食店が駅周辺にできればいいと思います。(市役所の方までだと、歩いて行くには遠い)横手の好きな所は、仙台にバス1本で行ける所、情報発信が活発なところ、子育て支援が充実している所です。「まちなか再生推進室」に心から期待しています。
(女性、20歳代、雄物川)
- どこが横手市の中心なのか不明。何十年も前の計画(都市計画)を時代の流れも考えずに延々と工事ばかり続き、住民に負担を強いている。西・東が分かれて(横手駅)地下道は暗く、夜間どころか日中も不安。駅を通ると自転車は通行不能。横手南小グラウンドは狭く、駐車場も無く、教職員の車は通学路のグラウンド横である。大変危険です。南中の通学の入口坂道冬場は滑るし、駐車場不足でPTA等には困る。合併して車でないとPTAにも行けない。まずは、目の前の現実から対応処してほしい。将来、横手に住みたいですか？と若者(学生)にきいてみたい。高齢者は住みたくないと答えます。
(女性、60歳代、横手)
- ・若い人が定住してくれるような取り組みを若者の意見を取り入れる形で実行してほしい。 ・コンパクトシティ化を進めてほしい。除雪の手間や費用削減にもなるはず。
(男性、20歳代、横手)

(5-5 安全で安心した水道水の供給と生活排水の適正処理)

- 水道料を安くできないかしら。

(女性、60歳代、雄物川)

- 昨年の水害後自宅(大森町田)の水道水に異臭がありお茶やみそ汁等が臭いで(消毒のような臭い)飲めません。どこに相談したら良いものかと考えております。

(男性、70歳代、大森)

(5-6 市民がくつろげる公共空間の整備)

- Y2 プラザの図書スペースが高校生の重要な勉強場所となっているのは分かるのだが、高校生に占領され、他の地域住民がゆっくり本を読んだり、静かに勉強しづらい状況にある。(高校生がおしゃべり、飲食している為)夜遅くまで勉強できる点で、利便性があるのだろうと思うが、だとすれば高校生の為の遅くまで勉強できる公共スペースとほかの地域住民の利用するスペースを別で設けていただけると、両者が過ごしやすくなると思う。(私も、何度か利用したくてもできないことがあって帰った経験があるため。)検討をお願いします。

(女性、20歳代、横手)

- 市内に大きい公園がほしいです。子どもが遊べるところが少ない気がします。特に雨の日に遊べるところがなくてこまっています。

(女性、30歳代、平鹿)

- 大雄阿気地区、公園がなくて子供たちの遊べるところがありません。遊具のある公園などがあると子供たちも外でたくさん遊べるのではないかと思います。

(女性、20歳代、大雄)

- 横手公園の回りをもう少し手を加えてほしいのですが、バラ園もなくなりました。管理する人がいないという事と予算がないのもわかります。春になると各町内で道路脇に花を植えたりしている所見受けられます。それと同時に市の方で公園の花壇作りを呼びかけていただき老人若い人子供達と一人1ヶ花のポット持参して参加する運動とかどうでしょうか?何か良い方法見つけて少しでも和めてきれいと感じよくながめられるよう、又散歩できる公園であってほしいです。※5月の連休にお客さんを連れて散歩(大鳥公園~横手公園歩き)殺風景な公園になったネの一言ショックでした。失礼しました。よろしく願い致します。

(女性、70歳代、横手)

- 公園→どこにあるのかマップがあると助かる。あわせて駐車場の有無も。

(女性、30歳代、横手)

- 駐車場→全体的に少ない気がする。もう少しあると助かる。

(女性、30歳代、横手)

(6-1 市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実)

- 横手市海外出身の交流会ほぼありませんでした。海外出身の日本国籍の方、永住の方、横手市住む外国人。交流会やふれあいが必要と思います。横手市に役立つことができると思います。ぜひ交流会開催してほしいと思います。

(女性、50歳代、横手)

- 市民の無関心が横手市が発展する事を妨げていると思いますので、市の方からどんどん問題を提起していただいて住民参加を呼びかけ元気な町づくりをして頂きたいです。住民が元気だと医療費削減にもなりましょうに。

(女性、60歳代、横手)

(6-2 男女が尊重し合う社会づくり)

- 女性の雇用対策の充実と賃金のアップや幼児小児への子育て女性に税金を使ってほしい。女性の活躍の場を多くして女性の管理職を増やし、知恵をしぼって社会へ再度復期してのびのび仕事を出来るようにしてほしいものです。

(女性、50歳代、横手)

- 遠い将来、母親が未来に明るい希望を持って、育児が完全にできる社会を構築していただきたいと思います。それは経済的に充実していることが大事なことは言うまでもありませんが、女性の社会的地位を尊重することが重要だと思います。育児中の母親を、生活の労働力ととらえられますと、育児に支障がでるからです。子供の両親は、子供のよき教育者でなければなりません。横手市全体で、未だ残っている男尊女卑の風潮を排する必要があると思います。女性の社会的地位にもう少し気配りをお願いしたいと思います。

(女性、60歳代、大森)

(6-3 情報を共有する環境の整備)

- 新しい市長さんになって以降、子育て世代にとってとても住みやすく支援も手厚くありがたいなと感じています。まだまだ知らない分野や事業など、勉強不足な部分もありますが若い世代にも横手市について興味を持ってもらえるような情報源がもっとあれば…とったりします。市報やHPがあってもなかなか正直言って見ません…月2回の市報よりも、月1回のTV放送やSNSの方が個人的にはうれしいです。

(女性、30歳代、横手)

- 1. 市報発行についてアンケートがあったが、一過性の情報にカラー印刷不要、月2回発行も多いと思う。1回で良い。

(男性、70歳代、山内)

- 情報や聞きたい事などは、今はみんなインターネットなどで、もっていないと使えない、聞けない、入らない手続きできない状態が不満を感じています。

(女性、60歳代、横手)

- 市報について イベントカレンダーに興味をもった催しものを「みでたんしえ」のページで内容を確認する。

(男性、70歳代、増田)

- 仕事の間が横手市外のため、市の情報を得る時間がなかなか取れない。時々ホームページなどを見ているが、時間がある時に目を通せるよう紙媒体の配布もある程度してもらいたい。アンケートの機会があると、市のことを少しでも知るきっかけにもなるので、職員の負担が増えると思うが是非多くの機会を作ってもらって参加したい。

(女性、40歳代、横手)

- 6月15日号(N0303)の市報8ページ催し市内各所を巡る。なかなか参加できませんので、市内の寺、神社等を紹介して下されば近所の方は知ることができると思います。私は他の地域より嫁いできているので知る機会がありません。市報にて知りえたらと思っています。

(女性、60歳代、平鹿)

(7-1 市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進)

- 役所本庁舎の受付機は本当に必要か。いつも空いているので、いらぬ気がする。役所に郵便物を出すとき、総合案内に持っていくと、嫌な顔をされることがある。県や国の機関のような夜間、時間外の銀色ポストを設置してほしい。道路状況が悪いので関係機関に連絡してほしい。→例えば、みずほの里ロード、トンネル内のデリネーターが汚すぎて光らないから定期的にトンネル内清掃を安全のためにしてほしい。路面表示を5月くらいにしてほしい。去年は初雪の1週間前に、道路に白線をひいていた。(雪でかくれるからムダ)車線が分からない。etc前郷元山の火葬場に行く道路が老朽化しているし、せまい。毎日のように多くの人が利用する所なので、事故があったらこわいので拡幅をお願いしたい。

(男性、50歳代、横手)
- 「33.成果重視の行政運営」と記されているが、何事にも1.2年で成果が出るものではない。成果を重視するあまり、上辺だけが立派な町づくりになるのではないかと思う。

(男性、60歳代、横手)
- 選挙投票がイオンでできることが気持ち楽になりました。指定投票場の監視員の方々の目力に疲れまして…。かまくら放送FMからJウェーブを聴くことができ朝から元気になれます。途中で切れてしまうと残念ですが…意見・提案でなくてごめんなさい。

(女性、60歳代、横手)
- 窓口業務は多種多様なので、大変かと思われませんが、仕事に関する知識はきちんと身に付け、手続きをスムーズに進めてほしい。窓口業務を休日も行ってもらいたい。

(女性、50歳代、十文字)
- 一つの庁舎に組織を集約してほしいです。建物が違うため、手間も時間もかかります。場合によっては駐車場が満車になり駐車できず待つこともあります。駐車場を広くし、一つの庁舎にすることで移動時間、ガソリンを軽減する事ができるのではないのでしょうか。

(女性、40歳代、横手)
- 県の事業との連携でしょうが。子どもが増えてゆく政策を実施してほしい。ご老人・福祉費・医療費・建設費など増えてゆく費用を抑制する事は難しいので、大曲市、湯沢市との合併により議員の削減・職員数の適正化などで捻出してほしいと思っております。企業誘致は5年から10年先を見すえてロボット産業・AI産業など。これから必要とされる企業を育成する為、専門高校・大学を作り、若者が定着する街づくりをしてほしい。秋田市に次ぐ人口、広大な土地・農業・商業の活性化未来にむけて頑張ってもらいたいと思っております。

(男性、60歳代、平鹿)
- 市役所→あまり混雑しているようではないが、手続きに時間がかかりすぎている。もう少し簡易的にできるとありがたい。

(女性、30歳代、横手)
- 市役所、庁舎での窓口の時間を長く(～19:00)又は土曜か日曜で休日の窓口を設けて欲しい。

(男性、20歳代、十文字)

(7-2 財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進)

- 住民税が高い。
(男性、40歳代、横手)
- 横手市の税金が高い。
(女性、40歳代、横手)
- 債権放置せず頑張ってほしい。
(男性、40歳代、横手)

(7-3 戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実)

- 職員の接遇を検討して下さい。無知の方々に対しての説明不足に憤りを感じます。「市民の立場で考えて」下さい。
(女性、30歳代、横手)
- 雄物川地域局の職員の対応が悪い。対応の良い人たちが異動になり新しい職員の態度や対応が気になる。“規定、規定”とばかり言って市民が困っているのに審査や書類のことばかり気にして(自分たちの事だけしか考えていない様に感じる)本当に市民サービス課なのかと思ってしまう。特に、何度も同じ話をこちらが言わなくてはならなくて不快な思いをした。来年度は話の分る別の方を担当してほしい。
(女性、30歳代、雄物川)
- 市職員の市民対応は良くなったが、一部幹部職員にぞんざいな言葉づかいの者もいるようだ。全体的には良くなっていると思う。
(男性、70歳代、山内)
- 市職員の資質向上は、昔に比べて大変宜しいと思います。皆さん、接客態度も前からすれば親せつで丁寧に教えて下さいます。私もサービス業に勤務しておりますので人との接し方には気くばりが必要と思います。職員の皆様も頑張って下さいね。
(女性、60歳代、十文字)
- 建設課?の電話対応が非常に悪い人がいる。
(男性、30歳代、横手)
- 女性職員に制服が無いので自由なようですが、華美な服装の方がたまにいて窓口等へ行った際、違和感を覚えます。もう少し意識改革が必要ではないでしょうか?
(女性、40歳代、雄物川)
- 市職員(公務員)でも仕事の生産性向上は必要と思います。一人、一人の仕事量、質を上げ市民に良い環境づくりをお願いします。
(男性、40歳代、大雄)
- 地域局の職員電話対応で名乗ること、また窓口対応もすぐ対応案内処理してくれるのでおおまる。
(男性、70歳代、雄物川)

- ご苦労様です。市職員の皆様の頑張りに期待しています。
(男性、60歳代、十文字)
- 自分も年をかさねて来て、頭が対応できず何回も聞きかえすと鼻で笑い、面倒くさそうに答えた時のサミシサ。これからは年配の人が多くなると思うのでいやな顔をしないで、対応してほしい。
(女性、70歳代、横手)
- 春と秋に実施するクリーンアップ時に市職員が参加することがない(集落に職員がおります。)
(男性、70歳代、大雄)
- 市職員は市民の気持ちをもっと尊重してほしい。自分勝手な職員が多すぎる。
(男性、50歳代、大森)
- 職員の中には、入り口を入っただけでチラッと見て何ですか？みたいな態度の人がいます。もう少し市民と近づいて下されば話もしやすくなるのになと感じる。市役所や地域局もある様で、よく耳にします。“おはよう” “いらっしやい”でも良いです。「あいさつ」はとても大切ですね。
(女性、60歳代、山内)
- 市職員の資質向上を願います。市民との対応等々もっと親切でいねいに、真摯な気持ちで向き合ってください。
(女性、60歳代、山内)
- 公務員としての意識を強く持つ。市民への態度対応、学生時代から勉強しか重ねていない為かマニュアル通りの対応になりがちになっている場面が見受けられる。相手の立場になり一緒に打開策をみつけてあげられるように現場職員に対して、多少の裁量をあたえてみてはどうか？人口が現状よりも年々減少しているという事実をしっかりと受けとめているのか？この現実に対して地方公共機関が打開できる一手はあるのだろうか？市で打開策を探るよりも企業誘致及び県内・市内での企業に対する支援を強め、経済的生産力をたかめることが重要。公共の箱ものはこれ以上作る必要がない。現実的な意見ではないが、議員数が多すぎる。又現状魅力的なものとして農業の活性化ではないだろうか？広大農地を利用して全国、世界へ。
(男性、30歳代、横手)
- ・市職員のイベント開催時の対応について。声かけをし誘導、案内、説明をし、目くばりしている職員がいる一方で、いすにもたれ足のぼし腕組みし・・・とかの職員がいます。息苦しく、腹立たしくなります。何しに来ているの？・障害者への理解について。障害者への理解を深め、偏見をなくす為に小学高学年か中学生に授業の一部として、養護学校の子供、生徒たちとの何らかの交流の場を設けることは出来ないのだろうか？
(女性、50歳代、雄物川)
- 市運営の横手病院の先生、看護師の対応がかなり悪い。
(男性、50歳代、雄物川)
- 市の職員に対して不満が多々あります。4月～6月まで気分を害した件多々あり解決いまだになし、何件か相談もしているが返答もなし(大森町です)現市役所職員はいろいろ対応してくれました。私事ですが、ありがたいと思っております。今後町で解決できないようなら市役所の方に行ってみたく思っております。乱筆で失礼しました。
(女性、50歳代、大森)

- 市職員が近隣自治体や友好都市、都市部に赴任して町づくり・市のサービスについて勉強して欲しい。（より住みやすい市になる為に）

（男性、20歳代、十文字）

- 数年前、市のある課から役所へ手続きに来るようにとの通知が届き、窓口に行くと、そこで「確認するので待って下さい」と言われ、担当の方が本庁かどこかに電話で確認を取っている間何十分も待つ事になり、結局自分は該当しないという事がわかり、仕事を休んで行ったのに無駄足になってしまった。翌年も全く同じ事が繰り返され、役所への不信感が強くなった。前の年に「次からこのような事のないように、上の方へ伝えます」と担当の方は言っていたのに、全く改善されていなかった。一方では「該当する」もう一方では「該当しない」というのはどういうことなのか？双方の担当部署で情報の共有ができていれば、事前にチェックもでき、該当しない人への通知を発送するミスも防げたのではないか。今後は市民の負担の軽減等、市民の立場に立ったサービスが提供される事を願うばかりである。

（女性、40歳代、平鹿）

- Y2プラザを夜に利用する事がありますが、年配の男性職員の対応が悪く、10時までの閉館なのに9時間頃には追い出したい様な態度をとられて不快です。少し対応を考えていただきたいです。

（女性、30歳代、横手）

- 役所や病院にはよくお世話になっております。ありがとうございます。以前からすると、とても職員の対応等でとてもよい変化、優しさに感謝しております。こちらのめんどうな事にも丁寧に答えてくれるので安心して出向くことができるので本当に本当にありがとうございます。ストレスをためない様に頑張ってくださいようお願いいたします。

（女性、60歳代、横手）

(横手市の取り組み全般について)

- 市民がお金持ちになるような取り組みが必要。

(男性、40歳代、雄物川)
- ・少子化対策→子供を育てやすい環境作り ・高齢者増加→健康寿命をのばす取り組み、医療の充実(地域医療がこれからとても大切) 入院者在宅へ帰れる取り組み、施設等の充実。若い世代が横手に残るまたは他県から来てくれるような取り組み。若い市長だからこそできることをきたいしています。今の時代にあった横手市を作って欲しいです。

(女性、30歳代、横手)
- 中々思うように表現できなくて申し訳ない事です。市の職員の方たちの心の持ち方(派手でなくても気持ちをきちんと持って何事にも対応してゆく姿勢が正直感じられないとか最も気になります。)それぞれ忙しいでしょうが次に担当する方の引渡しをきちんとしなくてはならないところが欠けているように思います。「人が集まらない町」の体質もそういうところから現れているような気がします。今、つくづく近代化、合理化、利便性重視で市内の貴重な蔵や建物等なくなってしまったものの何でも新しいものにする必要なし。価値はしみじみ感じます。もう戻れませんね。「普遍」大事だと思う。

(女性、60歳代、横手)
- 市民全体で取組めるようなビジョンをかかげて欲しい。今の横手市は何に重要点をおき、なにをしたいのかわからない。

(女性、50歳代、横手)
- 私は年を重ねていますので最後のページは自分の考えではなく一般的な気持ちで印をつけたような気がします。すみません。横手市は今はとても明るい希望の持てる様になっていると思います。若ければ色々な会合に参加したいと思っております。色々とお苦勞さまでございます。

(女性、70歳代、横手)
- 若者の減少…何とかしたいがこればかりは… 集客…何かの工夫が欲しい 定住…魅力が足りない? 横手市の良さを更にプレゼンする→目を引く何か欲しい。

(男性、50歳代、大森)
- 活気が出てきた気がします。頑張ってください。子供の住みやすい町にしてください。

(女性、30歳代、平鹿)
- アンケート結果は単なる統計目的であるので、内容が市政運営や計画に反映される事はなく、真剣に回答した側からすれば、実に無駄な労力かと思われる。駅前開発といっても電車などの根本的な要因が解決されない限り、結果として残らないと思われまます。労働力不足は農業分野だけではありません。公務員のように将来が約束されているようであれば農業労働者も増えると思いますが、元々の人口が減っている秋田県そのものではかなり厳しいです。労働力減だけでなく、人口減が原因です。横手市の除雪対策、空き家対策これはかなり悪いです。これでは、若者が住み続けたいと思わないし、老人は苦しむしかありません。市政の方向性が見えない。

(男性、40歳代、十文字)

- 他の市町村においては、地元以外の人（他県や外国人）が来て、地域のレポートや、外から見た地域の感想を述べている様です。これからの横手を発展させる為には、違った視点から見る、考える、行動する等、自己啓発必要かなと思います。

（男性、60歳代、大森）

- 行政経費削減に最大の努力を。具体的には議員定数の半減以上、議員への報酬は日当日払い、無駄な公共施設の廃止し、増やさない、循環バスの廃止（有効稼働してない）市保有の温泉施設全て民間払下げか委託し補助金、赤字穴埋めを大幅に削減する。市は市民サービスに全力を尽くし余計な事業は見直しするなどして補助金も大幅に減らすとき。民間企業目線に立って大胆な頭の柔らかい視点に立ってがんばってもらいたい。

（男性、70歳代、平鹿）

- 若者が地元に戻ってこれる横手市にしてほしい。教育では学力向上だけにこだわらず、どんな子どもでも大切にされる教育を。障害のある方々、悩める若者にもやさしく配慮のあるやさしい、まち、行政をお願いします。

（女性、50歳代、横手）

- 提案

1. 横手駅西口広場の緑化について 横手駅西口広場は殺風景な為、広場中央付近を緑化してはどうか？
2. 障害者の雇用の場創出について 現在障害者の雇用の場は所謂3Kの職が多いので、もっと障害者の雇用の場を増やしてはどうか？
3. ベーシック・インカム(最低収入保障制度)導入について 横手市では少子高齢化が顕著な事から、北欧の様なベーシック・インカムを導入してはどうか？(特区を利用して)

（男性、60歳代、横手）

- 他の市にくらべると、全ての面で大変頑張っていると思うし、市民のことを良く考えていると思う。横手市に住んでいる事を誇りに思います。これからも頑張ってもらいたいし、私たちも努力していかなければと思う。

（女性、30歳代、増田）

- 横手市の計画はとてもよくできていると思います。ですが、実際に計画にもとづいて、どのようなことを具体的に事業にしていくのかが、明確になっていないような気がします。地区会議を強化していくことも必要だと思いますが、地域づくり協議会が3月で終わった今、それにかかわる市民と市政の対話があったほうがよいと思います。

（女性、50歳代、横手）

- 高校を卒業した後、地元に残る人たちが様々な面で希望を持つ事のできるまちづくりを望みます。

（男性、40歳代、横手）

- 市民一人一人が、自分の事として考えて市への要望、改善活動を促すような仕組み作りが必要と考えます。持続可能な社会は、トップダウンでは、目的を達成することは難しく、ボトムアップで検討が適していると思います。自分たちの事は自分達でという意識を強く持てるような教育が望ましいと思います。自分も協力して、地域を住み良くできるようにしたいと考えます。

（男性、30歳代、横手）

- ・ハード面よりもソフト面にお金をかけてほしい。例えば市民会館などでは集客力の有るコンサート、演劇をよぶなど湯沢市の様に予算をかけた活動を望みます。・かまくら館の地下駐車場を一般に開放してほしい。市民ファーストでお願いします。
(男性、50歳代、横手)
- 横手駅前開発、増田の街作り等目先のことだけでなく、その他の一般地域の振興等に力をいれたい。
(男性、50歳代、平鹿)
- このアンケートは何を意図しているのか分かりません一部の権力者が支配するような政治はいかがなものでしょうか？増田の蔵にしてもそうですが、一部だけに集中するような事をしては、横手市全体が繁栄する事はないと思います。合併した横手市全体を輝せる施策を行う事が出来ない政治はいりません政治家もいません。
(女性、60歳代、大森)
- あくまでも市民目線で考える。
(男性、50歳代、大森)
- 日々の暮らしに追われて市の事業、活動に非協力的な自分を反省しております。しかしながら、横手市の納税者としましては平等な税金の使われ方。納税者が納得出来る市政運営を望みます。
(女性、60歳代、横手)
- より良く頑張ってください。
(男性、40歳代、十文字)
- 地域経済が低迷する中、農業が栄えない限り秋田県、横手市の未来はありません。しかし市議会議員、市長、市役所の職員の方々の意識は基幹産業以外に目を向けがちではないでしょうか？間違いなく基幹産業は農業なのです。JA との連携を含め、もっともっと農業を助け、応援して欲しいと思います。将来的に横手市が今よりも衰退していくようになれば、職員の退職金も返納すべしの覚悟をもって市の運営に責任感を出して取り組んで欲しい所存であります。
(男性、40歳代、平鹿)
- 流雪溝のない地域の除雪をていねいにしてほしい。役所の窓口対応が遅い(窓口に来てるのに気づかないフリしてる人多い)交差点の除雪をていねいに。(右左折の進行方向見えない) 下水道の整備早くしてほしい。ゴミのポイ捨てが多いのでその対策。よろしくお願い致します。
(女性、20歳代、平鹿)
- (商業の振興、観光の振興、市街地等各拠点地区の整備について) 補助金頼りで将来が見えない。単に補助金を消化しているだけに見える。
(男性、60歳代、増田)
- 横手市地域の活性化に期待します。
(女性、60歳代、雄物川)
- 若い市長が選出されたわりには思いきった改革がなされず非常に不満です。スポーツ、文化面において若い世代や子どもたちが楽しんだり活躍するチャンスすらないような現在の横手市の態勢にも不満を覚えています。
(女性、40歳代、横手)

- 横手市だけではなく雄物川町や大森町、大雄村など幅広くもうすこし考えてほしいと思います。
- (男性、40歳代、雄物川)
- 8市町村が合併してから手厚くなったサービスが多く(特に福祉)とても感謝しています。今後は”にぎわい!”をもっとつくっていただける様、横手市だけではなく「県南」としての取り組みを強化していただきたい。各点と点でとても良いものを持っているがアクセスが悪く点だけで終わってしまうのか残念。
- (女性、50歳代、大雄)
- もう少し住民の目線にたった対応をしてもらいたい。地域の状況がわかっているならば住民からどうしてそういった意見や要望が出てくるのかわかるはず。規則一点ばりの上から目線の物言いには反発を感じる。一考願いたい。
- (男性、70歳代、増田)
- どれも大切でどれも大事で、何から優先順位を付けるのか大変だと思いますが、頑張っていたきたい。
- (女性、50歳代、増田)
- 横手市が活性化するようにイベントごと、など増やしたり、優しい街になるように優しい人になれるように日々生活していきます。若い人から老人の方男女とあず町のイベントやお祭り、行事に参加していってもっともっと横手を広めていきたいです。私はもともと大仙市出身、生まれですが、今では横手の町が大好きです。これからも、いい町にしていけるようがんばります。
- (女性、20歳代、横手)
- 高橋横手市長は若いので議会と共に横手市の為にと私たちの孫が暮らしやすい仕事とか環境が良くなればと思います。私たちは年金暮らしの日々ですが、それなりに過しております。
- (男性、70歳代、山内)
- 若い人達が希望持てる社会福祉の充実、市民が安心して暮らして行ける社会になってほしいと思います。
- (女性、50歳代、雄物川)
- 他の市町村に比べると横手市は様々なイベント行事などに取り組んでいると思います。私の要望としては、福祉全体(高齢者、低所得者等)にもっと力を入れて欲しいと思います。
- (女性、50歳代、大雄)
- 横手市のさらなる発展を願います。子供も高齢者も笑顔で元気に過ごせる横手市であって頂きたいです。そのためにも様々な意見に耳を傾け挑戦して行っていただきたいです。市長様の市民の先頭に立つ姿に今後期待致します。よろしくお願い致します。
- (女性、30歳代、横手)
- 市職員の窓口対応が酷すぎます。(正職員です。)観光も、増田、旧横手市のみではなく、全部をPRする必要があると思います。市議会議員も多少多いかと思いますが。市長のせいなのか、観光も増田方面に力が入りすぎているのではないのでしょうか?市議会議員の対応もどうかと思っております。(用は口約束だけですね)何もやってくれませんから。
- (男性、40歳代、横手)

- 横手は豪雪地域なので冬の除雪対策が非常に大切。高齢者においては不安な毎日です。アンケートの内容はどれをとっても全て重要な事柄ですが、まずは雪対策、老人、若者が安心して暮らし、働ける街にして欲しい。子育ても安心していける援助を願っている。夏場の野菜はほとんどが「金沢朝市」と自宅で作った野菜を食べている。身近かな生産者との会話と安心な野菜・商品購入に満足している。災害時の避難場所もよくわからない。市役所・行政など土・日休みなので平日、働くものにとっては手続き等など大変不便を感じる。地域市民と一体化できる横手市役所であってほしい。(休日行務を行ってほしい。)
「現在の満足度」は全てを把握しがたいので無回答の所もある。市立図書館は冬期は暖房がいきわたらず寒い。私語も多いので利用者に注意をして欲しい。マンネリ予防。

(女性、60歳代、横手)

- 市長がこの横手市を何をどのように変えて発展性のある町にしようとしているのか見えてこない。大きな柱を立て市民が一丸となって頑張っていける方向性を見出してほしい！

(男性、70歳代、横手)

- ふるさと納税の内容充実による寄付金の増を目指していただきたい。人口流出防止のため思い切った対策を考えていただきたい。企業進出のための免税、土地代を下げるなど。人口増のための子育て対策をお願いしたい。新生児への補助、祝い金(入学、誕生、七五三などにお祝いを送る)課外保育の充実。乳幼児保育の充実など。全国対象にした、有料介護施設の設置。

(男性、60歳代、横手)

- 若者が根付く環境作り、娯楽施設他 横手駅周辺の活性化 働く若者を正社員で採用して長期勤務者にすること市民の皆さんが寛げる場所づくり(公園など)

(女性、60歳代、横手)

- 駅前の施設だけでなく市の中心からはずれた山あいの人々の生活にももっと配慮してほしい。
(例)横手第2工業団地に庭木のせん定枝、シバ等を「バイオコークス」にリサイクルする施設有と聞きました。しかし一般家庭は運ぶ専用トラックを所有していないのでこういう素材が大量に出る家に市の方で専用回収車を手配して環境問題リサイクルに力を入れてほしい。せっかくエコ・リサイクルに協力したいと思う市民たちがいても運ぶ手段がないために無駄になっているのが残念。

(女性、50歳代、山内)

- 少子化対策が全く意味がない。サポートが他の県より少ない。若者が少なくなるいっぽう。農業なども新しい担い手に広げるべき。新しくやる方、やる人に保障を。 活性化が見えない。秋田市のように駅辺りにも店をインター辺りばかりではなく。結婚、出産が不安でしたいと思えない。空家対策をしてほしい。

(女性、30歳代、横手)

- 高齢者がどんどん増えていっている為、市民がもっと住ごしやすい環境を思いきって考えてほしいです。同じ施設ではなく横手市(雪国)に合った町づくりなど。 子供(中学まで)医療が無料とか若い人達が住みやすくして欲しい家賃でも(アパートなど)高いです。補助だとかもっと考えて下さい。人が集まらないと!!(若者達)

(女性、50歳代、横手)

- 活気が出てきているように感じますが、沈滞している地域との格差が広がっているような。できるだけ均衡のとれた発展をお願いします。市長の2期目に多いに期待しています！！
(男性、50歳代、平鹿)
- 若い人達がたくさん働く会社が多くありそして、子供たちが増える町・市にしてほしいです。
(女性、60歳代、平鹿)
- 優しい市であればいい。
(女性、50歳代、横手)
- 現市政、姿勢を支持しますが、市議会の反対意見にうなづくこともあります。決断には各層、各界のご意見を…。(たわごと御免なさい)。期待しております。
(男性、70歳代、雄物川)
- 若い人が市、町に残るようにもっとももっととりくんでほしい。秋田がなくなる様お願いします。
(男性、10歳代、十文字)
- 少子高齢化の中、高齢者を大切にすることは当然の事ではありますが、若者が定住し、子供を産み育てられる環境の整備をしていただきたい。進学で他県へ行っても就職する時は秋田へ横手へ帰って来る！と思わせる市へ！！
(男性、40歳代、平鹿)
- 若者が集まる町でなければこのまま人口減少を止めることはできない。老若男女すべての人が喜ぶ町は難しいが、今とはとにかく人口を増やし、経済の発展、「仕事が楽しい街」を作る事が最優先となると思う。市職員が「自分を守るために仕事をする」ではこの先「横手市」は「横手村」となることを思って頂きたい。市民あつての市長、職員、両者がないと横手市は成り立たない事、公務員の「おごり」を捨てて下さい。
(男性、40歳代、横手)
- 市としての取り組みが、市民には伝わってこない。もっとわかるように例えば災害時の避難のパンフレットも非常にわかりにくく、何とするのか実際に動けない。各町内に出向いて実際のことを話してもらいたい。このように何か紙(パンフレット)をつくるとか、福祉関係は地域に係を置いて予算を出せば仕事をなしとげたと市では考えているのではないかと。
(女性、70歳代、横手)
- 自分の住んでいる町が、錆びれていくのは、とっても寂しいです。これが現実！近くにあった公共の場やつぶれた会社のつかわれなくなった姿を見るたびにその跡地をこわすのではなく再利用できないものかな？と思っている今日この頃です。大きな災害の時にあつまる場所とか、会社の長いレーンをつかってきのこや薬物作りにつかうとか？予算ですね！老いていく姿を見て、自分の姿とかさねてしまいます。
(女性、60歳代、横手)
- 市民一人一人が住み良い場所と感じられるそんな横手市であってほしいです。
(女性、40歳代、山内)
- 若い人に仕事がある子育てしやすいなど、若い人が定着しやすい町になることを望んでいます。横手市の行事や取り組みなどこれまでのがんばりはすごいと思います。アンケートごくろうさまです。
(女性、30歳代、横手)

- 行政、地域、家族等でまだまだ都会のあり方と比べると遅れているところがあると思います。早急に改善すべきことは個人の自立、男女のかくさ、社会のタテ、ヨコの柔軟性などです。職場家族の中で自由平等などを考えるとき、タテの関係があぐらをかいているような状態は市民の個人の自立、自由を妨げることです。もっともっと近代人の権利を獲得できるように行政の指導、運営を！

(女性、70 歳代、横手)

- ・横手市の今後の方向性が全く見えない。・今後市民が医療難民にならぬように総合病院の充実に市としても力を入れてほしい。・市職員の多くの方はそれぞれの部署で頑張っていると思いますが、その方々の働きが市民には見えにくく、その反面精神的に患っているのではと思われる職員の方が目につき、一般企業では考えられない事と思います。行政サービスに問題にならぬよう配置してほしい。・市職員には高度な情報を要求していますので、職員には勉強して行政サービスをしてほしいと思います。若い職員に期待します。

(女性、60 歳代、横手)

- 横手市のビジョンが見えない！

(女性、60 歳代、増田)

- 横手市の為の毎日のお仕事ご苦労さまです。安全で安心してくらせる横手市に感謝しております。今後もますます厳しい時代になると思いますので極力ムダを省いて有意義な事に税金を使ってほしいです。そして各公共機関のマネリ、油断をなくし常に検証しあうことも大事だと思ひます。

(女性、60 歳代、横手)

- 増田や横手市内だけでなく他の地区にも目をむけてほしい。高齢者がふえているので、安心して暮らしていける町にしてほしい。障がい者（児）福祉に対して他の町、市内学校に通わなくても良くなる様にしてほしい（私の孫は秋田のきらり（視覚支援学校）に行つて寄宿舎に入つてます）他の高齢者や障がい者の施設、学校を視察して良い所を取り入れてほしい。圏外に買い物に行かなくても良い様に、県外から買い物に来てもらえる様にコストコ、アウトレットの様な大手が来てほしい。若物も仕事があるし横手に人が来て活気につながると思う。そうなると思ひ色々なイベントをしても人が集まってくると思ひ。小規模じゃなく！人の税金をだいに使つてほしい。市長さんにもっと市民との交流をしてほしい！意見をきいてほしい。声をきいてほしい！市長さんは全部読んでくれますか？市長さんに私は期待します！

(女性、年齢不明、大森)

- 全ての問題を一度に解決するのは無理だと思いますので、優先順位を決めて着実に解決に向かつてほしいです。

(男性、30 歳代、十文字)

- ・県南の雄としての自覚と意識化が重要と考える。特に昼間就労実行の高密度の中で雇用・住宅地開発などの中期計画が必要であり、統合計画に対する PDCA の重要性が認識されていないように感じられる。透明性ある市運営を望む。また、子供施策は充実している点など費用は効果等も見据え、人口増に結びつけてほしい。～見える化施策の実施。

(男性、60 歳代、横手)

- 市民生活向上のためには税収を増やす必要があります。ただし、横手市民の人々から税を多く取る事で税収を増やすのでは意味がないと思います。他の地域から横手市に来るための「横手に来たい」方策（何度も来なくなる）や、人口を増やす方策（働く場所、遊ぶ場所、住みやすい環境としての道路や冬期間の雪対策や上下水費、子育てし易い保育から大学までの教育、そして老後に安心して少ないお金で暮らせる環境）簡単に言うと「横手に居たい」を合言葉に頑張っていたきたいと思っています。

（女性、50歳代、横手）

- 今はまだ仕事を持ち、車で移動できていますが、いつみなさんのお世話になるかわかりません。その時、安心、安全にくらせる町であってほしいと思っています。

（女性、60歳代、横手）

- 施策に関して、補助、助成ありきではなく、民間で自立して運営できるような方向性が必要。

（男性、40歳代、横手）

- 秋田県はハコ物が他県に比べて大変劣っている。又、低所得者の若者が増えて可哀そうに思う事がある。人生を雪国秋田横手で過ごす人生が幸せで楽しくあって欲しいと思っています。

（女性、50歳代、大雄）

- 1. ニートが増えて来ていて将来的には生活支援をし税金を使うのは納得できない。
2. 横手市内の道路の白線を引き直して欲しい。道路の舗装をしてほしい（十文字腕越）
3. カフェが少なく、月4回は大曲（スタバ）に行くので、横手ICなど人が行きやすい場所にドライブスルーがあるといい。
4. 秋田県女性は47都道府県でストレスが溜まりやすく、ゲームセンターや映画が少ないとTVでも言われている（月曜から夜更かし）のでなんとかしてほしい。
5. 親子、家族で利用できる場所を増やしてほしい。インスタ映えするものがあれば若者も利用できると思う。
6. これ以上パチンコ屋を増やさないでほしい。

（女性、20歳代、増田）

- 合併して10年以上になりましたが、山村に住む人間にとってはマイナスでした。例えば、水道料金は倍に（使用料が減ったのに）公民館活動などの地域コミュニティの費用削減ですべてカット（事業削減）学校統合で地域の絆は細くなり、隣の人は何する人か、知る機会も無い。除雪作業に対しても個人負担はかわらず、住みにくい。人口減を生み出しているのは、行政の怠慢から起きている事でどうしようもない。

（男性、50歳代、山内）

- 観光客や若者がたくさんいる活気あふれる市（町）、魅力的な市（町）、誇れる市（町）にしたいだけたらを思います。家（新築）を建てて35年ローンで子育て真っ最中家族もたくさんいます。なにかしらサポートをしていただけたら助かります。横手駅周辺も昔みたいに活気が戻ってくるよう願っています。例えば、老若男女問わず体力づくりや健康面に気を使っている人はかなり増加してきていますよね。気軽に行ける場所があればなあを日頃思っていました。

（女性、30歳代、十文字）

(アンケートについて)

- 年齢的なこともあるので、答えが出ない。アンケートが多くて不備のままで郵送すること申し訳なく思います。ごめんなさい。
(女性、70歳代、平鹿)
- 中・高生の若い人達に関心を持たせるため「横手市まちづくりアンケート」のような内容を授業に取り入れ、地域の現状を知ってもらう。
(男性、70歳代、平鹿)
- 問19の質問には、やや無理がある(問19-33)
(男性、60歳代、横手)
- アンケートはネットで回答出来るようにしてほしい。
(男性、40歳代、横手)
- 高齢の身である私にとってアンケート(問19の)「重要性」が理解できなかったです。たとえば常時車を運転して動いている私にとって公共交通機関の重要性は感じません。足や体に痛みがあっても障害認定を受けていない者にとってはアンケートに答えようがありません。市の発展に何か反映するものがあればと思っているのみです。
(女性、60歳代、横手)
- ほぼ関心のない事柄が多く、回答し辛かった。仕事やプライベート以外でかかわりのない事には関心を持ってない人のほうが多いと思う。
(男性、30歳代、横手)
- 「現在の満足度」については現状がどうなのかということがわからないので記入できませんでした。申し訳ございません。
(女性、60歳代、平鹿)
- 問19は今の自分とあまり関わりがなく、とても回答しづらいものでした。
(男性、70歳代、横手)
- 市民アンケートの統計を基に施策にいかすというが、具体的にどこに反映されているのかが不明ならば、意味がないように思う。こうした声を大切にして欲しい。見える形で示してほしいものだ。
(男性、50歳代、横手)
- 問19は殆どわからない事が多く○のつけようがない。
(男性、60歳代、平鹿)
- 知らない事、わからない事、かかわりを持っていない事が多く、満足か不満かと問われても答えようがありませんでした。
(女性、40歳代、横手)
- 質問が多く難儀でした。11ページ以降の回答欄に選択しが多くて微妙に迷いました。
(男性、60歳代、平鹿)
- アンケートが複雑で答えにくい 丸をつける箇所に数値表示は間違いやすいので止めた方がよい(例問12、問16) 意識調査はあいまいになりやすいので、なるべく具体的なアンケートにした方がよい。
(女性、70歳代、横手)

- 「満足度」が分からず、3と4になりました。（「分からない」という項が欲しかった）。
(男性、70歳代、雄物川)
- アンケートの「重要性」が低いと感じて項目に対して満足か不満足かを答えるのが難しい。「どちらでもない」「わからない」「関心が無い」等の解答欄があればよかった。
(男性、40歳代、横手)
- 将来を見据えてのアンケート意義あるものとして活用、参考にして頂きたいものです。
(女性、50歳代、横手)
- 施設入所中であり、内容を理解できないので悪しからず・・・です。
(性別不明、年齢不明、地域不明)
- 70才以上で一人暮らしをしている者に学校教育、教育環境の整備 or 農林業の振興、商業の振興、工業の振興、道路網の整備等はアンケートされても答えられません。設問を別にしてほしいですね。又、結果は横手市ホームページでとありますが、そのホームページを調べる手だてがありません。何か良い方法を見つけて下さい。お願いします。
(女性、70歳代、横手)
- 最後の方は一人で暮らしている者は良くわかりません。家族暮らしている人たちは良いと思います。
(性別不明、70歳代、横手)
- アンケートは若い人にお願いします。ホームページでご覧下さいと言われてもわかりません。
(女性、70歳代、横手)

(その他)

- ゆっぶるのイベント時のバス運転手と職員(?)の私語(運転中)が多く、運転もスピードが速めで不安を感じた。工作中ならもっと集中して欲しい。
(女性、50歳代、十文字)
- 老人議員(60以上)はいらない。固定観念を捨てて新しい事へのチャレンジが必要と感じる。
(男性、40歳代、増田)
- 夫婦二人共、高齢者の為、先の不安がいろいろあり、意見、提案などありません。ただ、おだやかに暮らしたいです。
(男性、70歳代、十文字)
- 市役所、教員、議員OBが大半 人材いないのか!ばかじゃないか。保護司、民生委員、児童委員も同様!
(男性、60歳代、横手)
- かなり前のアンケートにも書きましたが、相変わらずというよりまったく変わってないので書きます。横手市はパチンコ屋が多すぎる!くわえて夜になるとあのギラギラ、中にはディスプレイ画面が非常に目障り。私はパチンコを一切やりませんので横手市はつまらない。前はボーリングなど楽しかったが今は遊ぶところもなければ、働く会社もなさすぎ!!このままではダメ!!
(男性、40歳代、平鹿)
- 老朽化した公共施設を現状のまま維持するのか。1つにまとめて建替えをするのか、お金の工面をどうするのか不透明だと感じる。議会で話し合っても、横手市の未来は無く、議員たちのエゴが優先されているように感じる。得られる収入の割に物価や地価が不釣り合いだ。
(男性、30歳代、横手)
- 横手市にはパチンコ店が多く、スポーツ、運動できる施設がないことです。市民会館の利用率も少なく、文化講演業が少ないことです。わらび座業の公演などが近くにあると楽しめると思います。(女性、60歳代、横手)
- 「観光客が集まる」「地元に残りたい!」と思えるような市にするには…ということを考えていただきたい ホールや、体育館なども人が集まり利用出来る施設がほしい。
(女性、20歳代、平鹿)
- 若者が楽しめるアミューズメント施設や、ドーム建設など、横手には”アレ”があるから楽しい!行ってみようと思える場所が欲しい。駅前が残念すぎる寂しさ…暗い。
(女性、40歳代、平鹿)
- 通勤途中、出かける際、廃校になった学校を沢山みかけます。横手市の子供達がへるなか合併して新しい学校が建てられまだ使えるであろう学校が使われていないのがとてももったいない気がしてなりません。他の市では起業されている人に借したり、リノベーションをして子供達の遊び場を作るなど、色んな人に足を運んでもらう努力が伝わります。なんでも新しい物をという前に残っている物を再利用してお金をおさえ何かイベントをする、借し出して人に使ってもらうなどをして、まずは「横手市」という街を人を知って頂く努力をしていくことが大事であり今後の人口増加を目指すうえで必要ではないでしょうか。
(女性、20歳代、雄物川)

- 税収入が余っているので使い道がないんですか？

(男性、60歳代、横手)

- 応援しています。がんばってください。

(男性、40歳代、十文字)

- 温泉施設が多くあるのに利用数は少ないように感じます。お年寄りには半額の券があっても足がなく(車など往復)結局1,2回位しか利用しない年もありました。家族の人数も減り、せめて、家族券(誰でも使える)にしてみてもはどうでしょうか？そうすれば、皆で気軽に温泉ついでに食事、買い物と経済効果もアップするのではないのでしょうか。

(女性、50歳代、十文字)

- 今までそして現在もすっかりと高齢の町になっており、とてもじゃないが若者の住める町ではありません。仕事もないし若者の集まる場所など存在しない。そして横手になにかりっぱな建物ができると思えば全てパチンコ。これは人口の割合に対してのパチンコの数が全国で横手が一番多いみたいです。佐竹知事も仕事がないから若者が県外にでていくと言っておきながら今だに改善されず…。もうこれまでのやり方では地方は衰退していく一方です。そしてわたしは秋田県では仕事も娯楽もないので近々県外へ出る事にします。

(男性、30歳代、横手)

- 公務員に対する”寒冷地手当”は不要！！横手市に住む方、全員寒冷地です。

(女性、40歳代、横手)

- 地方に住んでおりますと収入に結びつかない煩雑な義務の生ずる事が多すぎるように感じます。これをできるだけ少なくして気苦労の無い生活が出来るようにしないと人口減少はとまらないと思います。

(男性、60歳代、十文字)

- 男鹿ではロックフェスティバルがあり若い人達が楽しめるフェスだが年代の高い人達も思いっきり盛り上がるようなフェスが横手にあればと…。たとえばフォークソングだったり(場所が問題に?)横手でも毎年恒例のフェスが実現できないかな?と思っています。横手市がすこしでもうるおうように…。

(女性、60歳代、山内)

- 横手市にもアリーナのような大きい施設があつていろいろなライブやイベントがあればいいな…と思うことがあります。災害時の避難場所にもなるかとも思います。農業の事ばかりではなく、そういった施設の事を1つでもふやしても良いのでは?と思う事もあります。

(女性、40歳代、雄物川)

- 子どもが他県で2歳まで過ごして来たが、横手市は子ども向けのイベントがものすごく少ない。また、旧横手市以外での実施はそもそも考えの外なわけ?と思うほどない。

(女性、40歳代、十文字)

- 魅力があるか、また行ってみたい街かと聞かれると自信を持って”はい”と言えないと思っています。地元の人が豊かに暮らせることも大事ですが、山と川のある街と言うのなら、それを活用したアウトドア施設を造るとか、雪が多いのならかまくらだけでなくそれを利用して立派なスキー場を造るとか外の人に来たくなるようなものがあればいいのにとおもいます。

(女性、40歳代、横手)

- 横手市は悪魔の住みかです。デリカシーのない、常に非情な残酷な街づくりをしています。保育所が足りない足りないといい、求人を出していますが、実は保育士なんか要らないのです。ただの保育所宣伝に過ぎないのです。面接に行っても無駄です。何せ面接の職員自体が道化師であるからです。嘲笑するその顔は悪魔の遣いです。市役所や町役場の保育所も民間の保育所もただの宣伝をしているだけです。高齢者にも障害者にも冷たい街です。中にはしかたなくここに居ざるを得ない方々もいらっしやるのです。バスも電車も激減しました。すれ違うバスの乗客を見ると高齢者がポツポツ。障害者に対しても非常に偏見的です。市は立場の弱者に手を差し伸のべているのでしょうか、いいえちがいます。さらに、若者が足りない、足りないと言っている割には何にもしようとしないですね。自動車免許を持ってない者がいること、理由あって困っている若者…。何故様々な視点から物事を見て判断しようとする力がないのでしょうか？市役所、職員は無能すぎます。就活のときも自動車免許の無い求人を探します。受けます。でも落ちます。何故でしょう？答えは簡単。求人が嘘をついているからです。必ず自動車免許が要るのです。求人のトラブルをハローワークや労働基準監督署に行ってもその職員がトラブルに関して逃げ腰の薄情者なので無駄。雇用主と結局はケンカします。そうした詐欺師どもを野放しにする市は信用できません。本当は厳重に罰するべきです。私はこの街に居たところで自動車でひとつとびのところを歩いて歩いてへトへトになるだけ。無職のまま。電車もバスもまともに通らないこの荒地で心も身体も喰い尽くされるわけにはいきません。なのであと少ししたら、この悪魔がうじゃうじゃはびこる苦しみから出ていこうと思います。こんな所で一生を終えるわけにはいきません。水もまずくて詐欺師やピエロさえ野放しにする街。このままでは滅びるでしょう。未来ある都会に行きます。電車もバスもあり人も多。給料も良く実は人も良いのです。役場も街づくりに積極的で実現させています。農家が足りないなら、荒家が多いなら市が直轄すればいいじゃん！これでまた一人、若者が訴えているのに…耳を傾けない、耳ありますか？だらだら菓子やコーヒーで時間潰し、しそーのーろーやメタボが気になりだす。笑っちゃいますね。仕事ないなら農家手伝うか犯罪者取り締まるか私はこんな横手市出ていく予定です。さようなら！

(女性、20歳代、増田)

- TBS を市全域でみられるようにしたほうがいい。遊べる所、休める所が全体的に少ないのが人が外に流れ出す原因だと思うので話題になるような所を作ったらいいと思う。

(女性、20歳代、平鹿)

- 私と主人は年金生活者なので住みやすいとは言えません。物価は高いし税金も高い年金を全部くれるわけでもないし取るものはきっちり取られるし貧乏はどこまでいっても貧乏ですね。もっと住みやすい環境にしてほしいです。

(女性、60歳代、雄物川)

- 市報等で市の活動をいろいろお知らせいただいておりますが、今一度無関心の自分がはずかしくなりますが地域活動には積極的に参加し、地域の「和」づくりに努力しております。住みやすい町づくりに頑張ってください！

(女性、60歳代、雄物川)

- 駅前にコンサート会場があれば駅前の発展、駅利用者が増える等、良い事が増えると思います
(帰りに近くに飲食店に立ち寄るとと思います)
(男性、40歳代、横手)
- 冬期間も自宅の車庫を使えるようになったらと痛感しています。年々体力・気力が低下し雪に殺されてしまいそうです。私のような市民がたくさんいるかと思えます。何か良策はないもの
でしょうか？
(女性、60歳代、平鹿)
- 年度初めになると色々な団体等から協力金募金(金額が決められている)が集落の担当者とい
われている人へ依頼され、集落の人が来ると払わざるえない状況です。毎年やっているからで
なく本当に必要であれば住民税、自動車税等に加えてはどうでしょうか。収支を見ると人件費
がほとんどだったりしていませんか。
(女性、50歳代、十文字)
- 青年や高齢者が集うイベントを開催し、活動的な市、町になってほしいです。
(女性、60歳代、横手)
- いつも大変御苦労様です。
(女性、30歳代、横手)
- 施設の有り様一つをとっていても市民サービスの提供に全く気づかひがないことがわかり非
常に残念至極
(男性、60歳代、増田)
- 年齢が高くなり一人生活となると、市全体の事よりも自分自身の事にだけ感心が大きくなり不
安が大きくなります。そんな自分が悲しくなります。囲りに大事にされていると思える事が多
くなりますが、自分自身が？しいと思ひ囲りに感心が持てる人になりたいです。
(女性、70歳代、横手)
- 毎日御苦労さまです。私の思った事を書いてみます。 ・最近の子供達はどのようにして外で遊ばな
くなったのでしょうか？ ・市内の変わり様には、本当に淋しくなりますね。 ・私達が横手
駅を利用していたころは、一番良かったのかも！ ・横手市民会館は今の所から、市民体育館
の辺りにあったらもっと利用価値があるのでは？今は車の社会、何か良い事があったり、ほし
い物があると大曲までにも出かけます。
(女性、60歳代、平鹿)
- 横手の若い人向けのイベントや昨年はキリンのホップ収穫ツアーにも参加できました。楽しか
ったので、この様なイベントを続けてほしいです。
(女性、30歳代、横手)
- ある公選(市)の選出について、私が選ぶ(市職員)(私はえらい)の態度には不満が募りま
した。もっと情報公開を市、全体で行う必要があります。苦言を言う人をもっと取り込む体制
を確立する必要があります。私の住んでいる地域(北小中)の学校の廻りを再調査し、何が不便で
何が不足で何が危険であるか検討に公開してほしい。市長自己の宣伝ではなく、市民のレベル
での会議集会にしてほしい。時間制限無し。年間を通しての使用できる施設がほしい。
(男性、70歳代、横手)

- 集落に老人だけしかいない。子供の声が聞きたい。若い新婚さんがいない。45 才以上の独身男性がいっぱいいる。行政でなんとかしてほしい。
(男性、60 歳代、平鹿)
- 若者離れ対策。県外出身者誘致。人口減少をくいとめて欲しい。
(女性、10 歳代、増田)
- 人口減少は立ち向かうのではなく、現実を受け止めて対応するもの。
(男性、50 歳代、十文字)

Ⅲ 巻末資料

1 アンケート調査票

2018（平成30）年度

横手市まちづくりアンケート

～ ご協力をお願いします ～

返信用封筒に入れ **7月1日（日）までポストに投函**（切手不要）

日頃より、市政の運営にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
横手市では、まちづくりの指針を定めた「第2次横手市総合計画」に基づき様々な施策を実施しております。

このアンケートは、市の取り組みや課題に対するみなさまのご意見を総合計画の事後点検や個別計画等に反映させるべく毎年実施しているものです。

設問数も多く大変お手数をおかけしますが、今後のまちづくりの方向性を検討するための大切な調査となりますので、ご協力をお願いいたします。

平成30年6月

横手市長 高橋 大

アンケートのご記入にあたって

- ① この調査票は、横手市にお住いの18歳以上の方から無作為に抽出した3,000人にお送りしています。
- ② 封筒のあて名にあるご本人についてお答えください。（代筆も可）
- ③ このアンケートは無記名で、回答は統計的な数値として処理いたします。

アンケートに関するお問い合わせ

横手市総合政策部 **経営企画課**

電話番号：**0182-35-2164**

受付日時：月～金 8：30～17：15
（土・日・祝日を除く）

はじめに、性別や年齢等をお尋ねします

次の質問項目ごとに、該当する番号を1つ選んで○をつけてください。

(ただし、質問項目「ク」は3つまで)

質問項目	選択肢
ア. 性別	1. 男性 2. 女性
イ. 年齢	1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代以上
ウ. お住まいの地域	1. 横手 2. 増田 3. 平鹿 4. 雄物川 5. 大森 6. 十文字 7. 山内 8. 大雄
エ. 職業	1. 農林業 2. 自営業（商工業、サービス業など） 3. 会社員（常勤） 4. 会社員（パート・アルバイトなど） 5. 専業主婦（夫） 6. 公務員、団体職員 7. 学生 8. 無職 9. その他（ ）
オ. 家族構成 ※子の年齢は問いません	1. 一人暮らし 2. 夫婦のみ 3. 二世帯同居（親と同居） 4. 二世帯同居（子と同居） 5. 三世帯同居 6. その他（ ）
カ. 同居家族に高校生以下の子どもは	1. いる 2. いない
キ. 同居家族（自身を含む）に65歳以上の方は	1. いる 2. いない
ク. 市の情報を主にどこから得ていますか (主なもの3つまで)	1. 市報よこて 2. 市のホームページ 3. 市議会議員や市職員など市政運営に関わりのある人 4. 市発行のチラシ（お知らせ）や回覧 5. 横手かまくらFM（ラジオ） 6. 市のフェイスブック 7. その他（ ）

市の施策に関連した意識や行動などについて

【災害時の避難について】

問1 横手市では今年3月に「防災マップ」を改訂しました。市報とあわせて全世帯に配布しましたが、その活用状況についておたずねします。(〇は1つ)

1. 詳しく見た
2. 簡単に目を通した
3. 手元にはあるが、まだ見ていない
4. 配布されていることを知らない

◆問合せ／市総務部危機管理課
TEL 35-2195



市報5月1日号では改訂した防災マップの活用についての特集記事を掲載しています

問2 災害時にどこに避難すれば良いか知っていますか。(〇は1つ)

1. 知っている
2. 知らない

問3 避難する場所や方法について、ご近所や町内会等で話し合っていますか。(〇は1つ)

1. 話し合っている
2. 話し合っていない

問4 災害時の避難について、近いものを選んでください。(〇は1つ)

1. 自力で避難できるので、今のところ支援は必要ない
2. 自力での避難に不安があるが、支援してくれる人がいる
3. 自力での避難に不安があるうえ、支援してくれる人もいない

問5 横手市ではご本人の申し出により、災害時の避難に支援が必要な方の名簿を作成し、円滑な支援に役立てる仕組みがありますが、ご存知ですか。(〇は1つ)

1. 仕組みを知っていて、すでに名簿に登録している
2. 名簿に登録はしていないが、仕組みは知っている
3. 知らない

【対象となる人】… 在宅で次のいずれかに該当し、名簿への登録を希望する人。

- 65歳以上の要介護認定者やひとり暮らしの高齢者
- 身体障害者手帳1級または2級を持っている人
- 療育手帳Aを持っている人
- 精神障害者保健福祉手帳1級を持っている人
- 秋田県特定疾患医療給付受給者で重症認定を受けている人
- その他、上記に準ずる人（ご相談ください）

【名簿を共有する機関等】

- 横手市の関係機関
- 横手警察署
- 横手市社会福祉協議会
- 担当区域の民生委員
- 担当区域の消防団
- 地域の自主防災組織または町内会等の自治会

◆問合せ／市健康福祉部社会福祉課 Tel 35-2132

【男女共同参画について】

問6 ご自身の実感として、横手市が性別に関係なくみんなが活躍できる「男女共同参画社会」になってきていると思いますか。(〇は1つ)

1. 思う
2. やや思う
3. あまり思わない
4. 思わない

「3」または「4」と回答された方にお聞きします。

どのような場面でそう思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|---------|-----------|
| 1. 家庭生活 | 2. 職場 |
| 3. 地域活動 | 4. その他() |

【公共施設やまちのにぎわいについて】

横手市では、地域住民の皆様とともにJR横手駅東口周辺の市街地再開発事業の実施に向けた調査や検討を行うため、今年4月に「まちなか再生推進室」という専門部署を設置しています。

今後、様々な角度から検討を行うにあたり、皆様におたずねします。

問7 JR横手駅周辺において、利用しやすい、利用したくなる公共機能として、どのような施設やスペースがあれば良いですか。(〇は3つまで)

※横手駅周辺をよく利用する高校生向けのアンケートを別に実施しています。

1. 市役所の総合窓口
2. 生涯学習センター
3. 博物館（美術館・資料館・植物園）
4. 図書館
5. コンサート・演劇用の大ホール
6. 公園（児童遊園、緑地）・広場
7. 気軽に利用できる屋内運動スペース
8. 静かに勉強ができるスペース
9. 雑談・飲食などができる休憩スペース
10. 就職・進学の情報スペース
11. 公共施設は設置しなくて良い
12. その他（_____）



横手駅東口から見た周辺の様子

問8 公共施設以外にJR横手駅周辺にはどのような機能やサービスがあれば良いですか。(〇は3つまで)

1. 病院・診療所機能
2. 喫茶・飲食店機能
3. ファッション等小売機能
4. 観光客向け小売機能
5. 書店機能
6. コンビニエンスストア機能
7. 映画館機能
8. スポーツ・運動機能
9. 遊戯〔ゲームセンター等〕機能
10. 介護・デイサービス・託児機能
11. 事務所〔オフィス〕機能
12. その他（ ）

問9 市内にある商店街（もしくは商店）をどれくらいの頻度で利用していますか。近いものを選んでください。地域は問いません。(〇は1つ)

1. ほぼ毎日
2. 週に2～3回
3. 週に1回
4. 月に1回
5. 商店街のイベントなどがあったときのみ
6. ほとんど利用していない

※商店 … 個人商店や小規模な専門店をさします

【地産地消に関する意識について】

問10 普段から「地産地消（※）」を意識した生活を送っていますか。（○は1つ）

1. かなり意識している
2. やや意識している
3. あまり意識していない
4. まったく意識していない

※地産地消 … 地元で生産された農林水産物を
地元で消費する取り組み

問11 普段、野菜などの農産物は、どこで手に入れることが多いですか。
（○はいくつでも）

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. スーパーマーケット | 2. 一般の小売店（八百屋、魚屋） |
| 3. 農産物直売所 | 4. コンビニエンスストア |
| 5. 通信販売や宅配サービス | 6. 自分で生産（栽培）している |
| 7. 知人や親戚からもらう | 8. その他 |

問12 農産物を購入する際、産地をどの程度気にしていますか。
（○はそれぞれ1つ）

項 目	かなり 気にしている	やや 気にしている	あまり 気にしていない
ア. 有名な産地のものであること	3	2	1
イ. 横手市産のものであること	3	2	1
ウ. 秋田県内産のものであること	3	2	1
エ. 外国産でなく国内産のものであること	3	2	1

【農業の振興について】

横手市は野菜や果物、花き^かなどの大産地ですが、労働力不足が深刻となっています。その労働力不足を解消し、産地の維持・発展を図るため、農繁期等の短期間に農作業の手助け（援農）をする仕組みをつくることを検討しています。

問13 援農に参加したいと思いますか。現在、農業やその他の職業に携わっている方も含めてお答えください。（○は1つ）

1. ぜひ参加したい
2. 条件が合えば参加したい
3. 参加したいと思わない

→ 「1」または「2」と回答された方にお聞きします。（全部で4問）

（問13-1）参加する条件で重視するものはありますか。（○は3つまで）

- | | |
|---------------|--------------------------------|
| 1. 自分に合った時間 | 2. 自分に合った作業 |
| 3. 友人・知人と一緒 | 4. 居住地の近くまたは送迎付き |
| 5. 賃金や謝礼等の待遇面 | 6. 現在の職場の理解 |
| 7. 自分の農作業の合間 | 8. その他（ ） |

（問13-2）興味がある作業の種類は何ですか。（○はいくつでも）

1. りんご・ぶどうなどの果樹作業
2. 水稲・野菜などの露地作業
3. ほうれん草・菌床しいたけ・花きなどのハウス内作業
4. 出荷・選別などの屋内作業

（問13-3）どんなタイミングなら参加可能ですか。（○は1つ）

- | | |
|-----------|--------------------------------|
| 1. 平日 | 2. 土日・祝日 |
| 3. どちらでも可 | 4. その他（ ） |

（問13-4）1日にどれくらいの時間、作業ができますか。（○は1つ）

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 8時間（1日）程度 | 2. 4時間（半日）程度 |
| 3. 2～3時間程度 | 4. 1～2時間程度 |

【移動・公共交通について】

問14 日常生活を送る上で、移動に不便を感じていますか。(〇は1つ)

1. かなり不便を感じている
2. やや不便を感じている
3. あまり不便を感じていない
4. まったく不便を感じていない

問15 自動車の運転免許を持っていますか。(〇は1つ)

1. 持っている
2. 持っていたが更新をしなかった
3. 持っていたが自主返納した
4. もともと持っていない

→ 「2」または「3」と回答された方にお聞きします。

「免許の更新をやめよう」または「自主返納しよう」と思ったのはどんなときですか。(〇はいくつでも)

1. 交通事故をおこしたとき
2. 運転していてヒヤリとしたことなどがあったとき
3. 運転に自信がなくなったように感じたとき
4. 家族等に勧められたとき
5. 講習予備検査(※)等で記憶力や判断力の低下が認められたとき
(※75歳以上の方が免許更新等の際に受ける認知機能の検査)
6. その他()

【運転免許証 自主返納サポート制度】



運転免許証を自主返納された方に、市内の公共交通で利用できる回数券を支給しています。

- ◆ 対象 平成30年4月1日以降に自主返納した方(年齢不問)
- ◆ 助成 バスやタクシーで使える1万2千円分の回数券(1回限り)
- ◆ 問合せ 横手市地域公共交通活性化協議会事務局
市総合政策部経営企画課 Tel 35-2164

◇また「運転経歴証明書」を提示すると県内タクシーの乗車運賃や、羽後交通等のバス回数券の割引制度のほか、県内400店以上の協賛店で様々なサービスが受けられます。

問16 買い物や通院等にどのくらいの頻度で外出しますか。近いものを数字で選んでください。外出先までの距離や交通手段は問いません。(〇はそれぞれ1つ)

項目	ほぼ毎日	週に 2~3回	週に1回	月に 1~2回	その他
ア. 買い物	1	2	3	4	5
イ. 通院	1	2	3	4	5
ウ. その他	1	2	3	4	5

問17 自宅から駅やバス停、または目的地まで歩く場合、どの程度の時間なら許容できますか。(〇は1つ)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 5分未満 | 2. 5分以上10分未満 |
| 3. 10分以上15分未満 | 4. 15分以上30分未満 |
| 5. 30分以上1時間未満 | 6. 1時間以上 |

問18 ここ1年間、市内の移動で利用した交通手段(徒歩を除く)について、あてはまるものをすべて選んでください。頻度は問いません。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 自転車 | 2. 原付・バイク |
| 3. 自分が運転する自家用車 | 4. 自分以外の人が運転する自家用車 |
| 5. 鉄道(JR奥羽本線) | 6. 鉄道(JR北上線) |
| 7. タクシー | 8. デマンド交通 |
| 9. 路線バス・代替交通 | 10. コミュニティバス・循環バス |
| 11. その他(_____) | |

※デマンド交通：予約に応じて運行する乗合タクシー(のりあいくん)
 代替交通：廃止されたバス路線上を走るバス等
 コミュニティバス：平鹿・山内・大森(冬季のみ)地域で市が運行するバス
 循環バス：横手地域で市街地を循環しているバス(よこまるくん)

問19 まちづくりの各分野への「重要度」と「満足度」をお聞きします。
 (「重要度」と「満足度」それぞれに〇を1つずつ)

それぞれに
 〇を1つずつ
 (数字に〇)

項 目	重要度						現在の満足度					
	非常に重要	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	全く重要でない	非常に満足	満足	やや満足	やや不満	不満	非常に不満
1 児童福祉（子育て支援）の充実 保育所等の運営や支援、学童保育、相談窓口、ひとり親家庭への支援、医療費助成制度（マル福）、母子保健事業	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
2 保健活動・健康づくりの推進 健康診断、「健康の駅」事業、生活習慣病の予防活動（栄養指導等）、心の健康保持と自殺予防、公立病院の運営	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
3 高齢者福祉の充実 雪下ろしや雪寄せなどの生活支援、老人クラブ活動への支援、介護サービスや介護予防活動	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
4 障がい者（児）福祉の充実 義足などの補装具の支給、就労支援、医療費助成制度（マル福）、障がい者関係施設の運営	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
5 低所得者福祉の充実 生活保護制度の運用と自立のための相談援助、生活困窮者への相談・指導、市営住宅の運営と管理（維持修繕）	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
6 地域福祉の向上 社会福祉協議会・民生児童委員・ボランティア団体等の活動支援、災害時を含めた地域の支えあい体制の構築	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
7 学校教育の充実 特色ある学校教育・食育・情報モラル教育の推進、不登校等のスクールカウンセラー配置、教育扶助や奨学金貸付	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
8 教育環境の整備 適正な規模による学校教育環境の整備（学校統合）、学校施設の長寿命化対策、スクールバスの更新と安全な運行確保	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
9 スポーツ・レクリエーションの振興 生涯スポーツの推進（チャレンジデーなど）、体育施設の運営管理、各種スポーツ大会やイベントの開催	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1

それぞれに
○を1つずつ
(数字に○)

項 目	重要度						現在の満足度					
	非常に重要	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	全く重要でない	非常に満足	満足	やや満足	やや不満	不満	非常に不満
10 生涯学習の推進	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
生涯学習施設を中心とした講座等による学習機会の提供、社会教育団体の活動支援、公立図書館の運営と施設管理												
11 地域文化の振興	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
後三年合戦関連史跡など文化財の保存・活用、シンポジウムの開催、埋蔵文化財の発掘調査、各資料館の運営・管理												
12 交通安全・防犯対策の推進	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
交通指導隊や防犯指導隊の活動、交通安全施設等の整備、「よこて安全・安心メール」の運用、無料法律相談等												
13 自然環境と快適な生活環境の保全	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
森林環境整備、動植物の生態系に配慮した水辺空間の保全と水質調査、ごみの不法投棄監視、公害防止等の取り組み												
14 消防・防災体制の充実	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
消防車両の更新、防火水槽・消火栓設置、消防団活動と機材の配備、防災訓練、救急救命士養成、各種防災計画の策定												
15 環境保全政策の充実	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
クリーンプラザよこての運営（ごみ収集事業）、堆肥センター運営、分別によるごみの減量化と資源化の徹底												
16 省エネ・地球温暖化防止活動の推進	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
公共施設へ再生可能エネルギーの導入、街路灯のLED化、クールビス・ウォームビス等の啓発活動												
17 農林業の振興	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
新規就農者や担い手の育成支援、基盤整備、農産物の6次産業化支援、地産地消や食育への取り組み、間伐の実施												
18 商業の振興	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
地域商店街への支援（賑わいや販売促進イベント、空き店舗活用）、起業や創業のための事務スペース提供等の支援												
19 工業の振興	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
地元企業が行う技術力向上や販路拡大への取り組みに対する支援												

それぞれに
○を1つずつ
(数字に○)

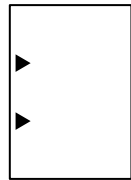
項 目	重要度						現在の満足度					
	非常に重要	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	全く重要でない	非常に満足	満足	やや満足	やや不満	不満	非常に不満
20 観光の振興	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
観光協会等観光推進団体との連携・支援、誘客増加に向けた観光施策の企画と実施、地元産品の物産振興												
21 企業誘致の推進と雇用対策	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
県等と連携した企業訪問、進出済企業へのきめ細かな支援、市内企業への人材育成支援を通じた若者定着												
22 雪対策の充実	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
歩車道の除排雪、地域の除排雪設備等への支援、大雪時等の情報提供の充実												
23 道路網の整備	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
市道の新設や拡幅、市道や橋の維持管理、スマートインターチェンジ設置、国道や県道に関する要望活動												
24 公共交通機関の利便性の向上	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
高齢者等の移動手手段の確保（不採算バス路線への支援、デマンド交通・コミュニティバス・循環バス等）												
25 市街地等各拠点地区の整備	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
増田地区の伝統的町並みの保存、横手駅周辺地区の整備、適正な土地利用のための規制と誘導、景観保全												
26 上水道の整備	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
老朽化した管路の更新や耐震化、安全でおいしい水供給のための水源水質管理												
27 下水道等の整備	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
下水道施設や農業集落排水施設の整備、浄化槽設置に対する助成、下水道への加入促進												
28 公園・緑地の整備	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
公園・緑地等（トイレ・遊具等含む）の維持管理、墓地公園の整備、市民との協働による施設管理の推進												
29 市民との協働・活動支援	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
地区会議や地域づくり協議会の設置、地域活動への支援、町内会館や集会施設の整備に対する補助												

それぞれに
○を1つずつ
(数字に○)

項 目	重要度						現在の満足度					
	非常に重要	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	全く重要でない	非常に満足	満足	やや満足	やや不満	不満	非常に不満
30 男女共同参画社会づくりの推進	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
啓発活動（優良事業所・事例紹介）、DV（ドメスティックバイオレンス）防止キャンペーンの実施												
31 広報・広聴の推進	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
多様な媒体を活用した市政情報や市の魅力の発信、市民からの意見募集、公文書等情報公開												
32 他自治体等との連携・交流の推進	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
近隣自治体（北上市等）や友好都市（厚木市・那珂市）との交流、地域のふるさと会、国際交流												
33 成果重視の行政運営の確立	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
行政改革の推進、行政評価制度の導入、組織機構の見直し、行政サービスの向上とコスト削減												
34 市職員の資質向上	6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1
「市民の立場で考え、変革しつづける職員」の育成を目指し、職員の研修の充実等を実施												
35 横手市の取り組み全般の満足度							6	5	4	3	2	1
横手市の取り組みの総合的な満足度について、あなたのお考えに近いものを選んでください												

◆最後に、市に対するご意見・ご提案などがございましたらご記入ください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。
この用紙を三つ折りにし、返信用封筒に入れてご返送願います。
(左端に折り目の目安となる印があります)



横手市

アンケート
報告書



過去の結果は、横手市のホームページで
ご覧いただくことができます。

アドレス <http://www.city.yokote.lg.jp>

※トップページ上部中央の検索バーにページ番号を入力すると、
該当ページが検索されます。(ページ番号：000006085)



市長をはじめ市全体で共有し計画の評価等に活用しています
※第2次横手市総合計画(ページ番号：000020922)